

Hanwha

拡張型太陽光発電システム (ハイブリッド蓄電システム、V2H連携)

パワーコンディショナ	:	QREADY-R59-1/QREADY-R59-2
蓄電池ユニット(7.7kWh)	:	QREADY-B77-1
蓄電池ユニット(9.7kWh)	:	QREADY-B97-1
自動切替開閉器	:	ES-B8E
室内リモコン	:	QREADY-RM-1
V2Hシステム	:	VSG3-666CN7

システム機種名

パワーコンディショナ	:	QREADY-NB-P1/QREADY-NB-P2
パワーコンディショナ+蓄電池ユニット(7.7kWh)	:	QREADY-77-P1/QREADY-77-P2
パワーコンディショナ+蓄電池ユニット(9.7kWh)	:	QREADY-97-P1/QREADY-97-P2

このたびは、拡張型太陽光発電システム(ハイブリッド蓄電システム、V2H連携)をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。

パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書 V2H システム取扱説明書

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになられた後もいつでも参照できるようにしてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。

ここに示した事項は、△警告 △注意に区分しています。

 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される事項。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う危険が想定される事項、および物的損害のみの発生が想定される事項。

絵表示については次のような意味があります。

	*必ずアース線を接続 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続して接地をとるように指示する表示		*感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告
	*一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告		*分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	*一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示		*高温注意 特定条件においてやけどに対する注意を促す通告

警告

	取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売会社に依頼する 適切な施工・処置がなされない場合、感電や火災のおそれがあります。		本製品には、灯油やガスを用いた暖房機器、電熱機器など、火災を引き起こす可能性のあるものは接続しない 災害時に火災の原因になることがあります。やむなく接続している場合は、停電時の出力を「手動」に設定し、安全を確認しながらご利用ください。本設定にはオプション（別売品）の室内リモコンを設置する必要があります。
	本製品（オプション品含む）を分解・改造しない 感電や傷害を負うおそれがあります。		本製品には、途中で電源が切れると困る家電製品は接続しない 夜間や曇りなどで太陽光発電電力または蓄電池ユニットの電力が不足すると蓄電システムは停止し、家電製品の電源が切れますので、パソコンなどのデータが破損するおそれがあります。また、不安定な電源なので生命にかかわる機器（医療機器など）には絶対に使用しないでください。
	子供を近づけない 感電や傷害を負うおそれがあります。		蹴ったりして強い衝撃を与えない 変形により短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります。
	災害などにより本蓄電システムが浸水、水没、変形、破損、転倒などした場合、本蓄電システムに近づかない 感電、有害ガスの発生、発熱、発煙、発火、蓄電池からの電解液が漏れるなどの危険がありますので、「蓄電システムを停止させる場合」（97ページ）に従って蓄電システムを停止させ、すみやかにお買い上げの販売会社にご連絡ください。		放熱口などに物（金属、紙、水など）を差し込んだり中に入れたりしない 火災・感電・故障の原因となります。
	コンセントに金属、紙、水などを差し込んだり、中に入れたりしない 火災・感電・故障のおそれがあります。		パワーコンディショナ、蓄電池ユニット、V2Hシステムのフロントパネルなど機器を開けない 内部に電圧の高い部分があります。感電のおそれがあります。

警告



子供に操作させない
感電、やけど、火災のおそれがあります。



パワーコンディショナ、蓄電池ユニット、V2Hシステムなど本製品（オプション品含む）の上に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物を置かない
機器が変形・脱落し、けが・感電・故障のおそれがあります。



分電盤等各機器の端子台に触れない
感電のおそれがあります。



蓄電池ユニットの「高温部火傷注意」と記載されたラベルが貼ってある天面とその周囲には触れない
やけどのおそれがあります。



パワーコンディショナ、蓄電池ユニット、V2Hシステムの近くに可燃性ガスや引火物を置かない（60 cm 以内）
電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火するおそれがあります。



煙が出る、変なにおいがする場合は、本製品には近づかず、蓄電システムの運転を停止し、蓄電システム用ブレーカおよびV2H用ブレーカを「OFF」にする
そのまま使用すると、火災の原因となります。すみやかに買い上げの販売会社にご連絡ください。



蓄電池に高圧、大容量の電気が蓄えられているので、取り扱いに注意する
蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしても感電や傷害を負うおそれがあります。十分注意してください。



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、充電中、給電中の本製品に近づかない
機器本体からの電磁波が、ペースメーカーおよびICDの動作に一時的な影響を与える場合があります。



V2Hシステムの充放電ケーブルを踏む、上に物を置く、ひきずるなどしない
ケーブルが損傷し、火災や感電のおそれがあります。



充放電コネクタやケーブルの割れ、欠けなどを発見した場合や異常が発生した場合は、直ちにV2Hシステムの使用を中止する



V2Hシステムの充放電コネクタを車両に接続する場合は、ぬれないようにする
感電・故障のおそれがあります。



V2Hシステムの充放電コネクタをぬれた手で触らない
感電のおそれがあります。



充放電ケーブルに付着した雨水などが凍結している場合は、ドライヤーまたはぬるま湯で解凍してから使用する
充放電コネクタの電極部にお湯がかからないように注意してください。



充放電コネクタの金属接点に触れない
高い電圧が加わり感電のおそれがあります。

注意



本製品では、負荷によって使用できないものがある
ポンプやモーターなど起動時に大きな電力を必要とするものは使用しないでください。



アース工事を行う（C種接地工事 接地抵抗500Ω以内）
アースが不完全な場合、感電のおそれがあります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アース工事については必ず買い上げの販売会社にご相談ください。



シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない
製品の変色原因となります。



製品に殺虫剤・除草剤をかけない
製品の変色、破損の原因となることがあります。



製品を高圧洗浄機で洗浄しない
故障、変形、破損の原因となることがあります。



パワーコンディショナ、蓄電池ユニット、V2Hシステムの放熱口を塞いだり放熱口付近に荷物を置いたりしない
温度上昇により蓄電システムが自動停止する可能性があります。



パワーコンディショナ、蓄電池ユニット、V2Hシステムの近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない
引火し、やけど・火災の原因となることがあります。



本システムの近くでテレビやラジオ、無線などを使用しない
テレビの画面が乱れる、ラジオ、無線に雑音が入ることがあります。受信している電波が弱い場所では、電磁障害を受けるおそれがあります。



取扱説明書を熟読する
ご使用される前には取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。



本システムや太陽電池モジュールの配線などから発生する電氣的雑音、近隣のアマチュア無線通信やラジオなどの受信に影響を与えることがあります。

⚠ 注意



点検コードが連続的に表示されている状態のまま放置しない
蓄電池が充電されないため使用できなくなり、電池交換（有償）となる可能性があります。



ソフトウェアの更新が専用アプリ画面に表示されたら、必ずすぐに更新する
ソフトウェアの更新にはインターネットへの接続が必要です。



降雪などでパワーコンディショナ放熱口が塞がらないよう設置状況により防雪・雪囲いなどの処置を行う
温度上昇により蓄電システムが自動停止する可能性があります。



蓄電池ユニット、V2H システムの周りに毛布など置かないようにし、離隔距離を確保する
蓄電池が高温になり、動作が停止する、または寿命が短くなる可能性があります。



日差しの強い日や氷点下の日は、充放電コネクタおよび本体を素手でさわらない
やけどや凍傷の原因となります。



車両に接続しない場合、充放電コネクタは V2H システムのコネクタホルダに正しく格納する
破損のおそれがあります。



廃棄処理・リサイクルについて
使用後、すみやかに廃棄してください。廃棄する場合は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。廃棄費用はお客様負担となります。



充放電コネクタケーブル、12V 電源ケーブルに引っ掛からないようにする
転倒やけが、機器故障の原因となるおそれがあります。



植物などが製品の放熱口から内部に侵入しないように、日常点検を行う
温度上昇により蓄電システムが自動停止、または破損の可能性があります。



動物の排泄物等が付着することがないように、日常点検を行う
錆などの腐食が促進され、製品倒壊の原因となることがあります。



製品地際部に植栽などの土がかからないようにする
錆などの腐食が促進され、製品倒壊の原因となることがあります。



室内リモコン（オプション）をぬれた手でさわると、ぬれた布でふくなどしない
感電の原因となることがあります。



操作パネルのボタンに異物を挟み込まない
故障の原因となります。

使用上のご注意

無線 LAN 使用上のご注意

本システムをスマートフォン専用のアプリケーションで操作する場合は、パワーコンディショナを有線 LAN で接続し、スマートフォンを無線 LAN に接続するための無線 LAN ルーター（市販品）をご用意ください。

- 通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定（暗号化設定）を行ってください。アクセスポイントの認証・暗号化設定は、暗号化なし以外の設定を推奨します。詳しくはアクセスポイントの説明書を参照してください。
 - セキュリティ設定は、お客様ご自身の判断で行ってください。
 - 無線 LAN ルーターやアクセスポイントのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 無線 LAN ルーターの設定や使用方法などに関するお問い合わせについては、当社ではお答えできません。無線 LAN 製品のメーカーにお問い合わせください。
 - ネットワークセキュリティに関する技術情報については、当社ではお答えできません。
 - 当社は DDoS 攻撃（分散型 DoS 攻撃）、コンピューターウイルスその他技術的な有害プログラム、不正アクセスにより、当社商品、インストールされたソフトウェア、またはすべてのコンピュータ機器、コンピュータプログラム、ネットワーク、データベースが感染したとしても、そのことにより直接または間接的に生じた損失、損害その他費用について一切責任を負わないものとします。
- お客様ご自身にて (1) アンチウイルス保護、(2) データ入出力、(3) 紛失データの復元、(4) 当社商品またはインストールされたソフトウェアに対するコンピューターウイルス感染予防、(5) 当社製品に対する不正アクセス防止についての十分な措置を講じてください。

無線 LAN セキュリティに関するご注意

無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のようなセキュリティ問題が発生する可能性があります。セキュリティ問題が発生する可能性を少なくするためには、お客様が無線 LAN 製品をご使用になる前に、必ず無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を無線 LAN 製品の説明書に従って行ってください。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID、パスワード、通信画像や E メールなどの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）、などの行為をされてしまう可能性があります。
本件のために生じた損害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書について

本書で用いる用語は以下のとおりです。

拡張型太陽光発電システム：パワーコンディショナ、蓄電池ユニット、太陽光発電、V2H 連携^{*1,*3} のシステム

太陽光発電：ハイブリッド蓄電システムと外付け太陽光発電を合わせた、住宅に設置された太陽光発電

外付け太陽光発電：ハイブリッド蓄電システムのパワーコンディショナに直接接続していない太陽光発電^{*2}

系統：電力会社から購入する商用電力

自動運転モード：設定された時間帯の中で、家庭内への電力供給および蓄電池や車両への充電を自動で行う動作

手動運転モード：時間帯に関係なく、設定された時点で行う動作

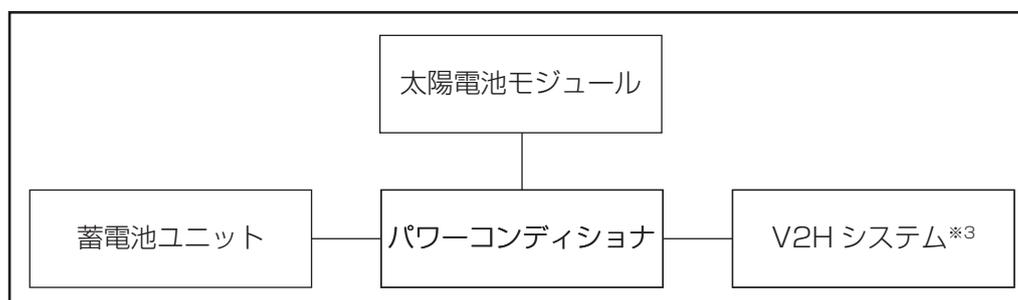
充電：太陽光発電または系統の電力を蓄電池や車両に蓄える動作

放電：蓄電池や車両に蓄えている電力を供給する動作

給電：太陽光発電や蓄電池、車両に蓄えられた電力をご家庭に供給する動作

専用アプリ：拡張型太陽光発電システムを操作するためのスマートフォン専用アプリケーション

プッシュ通知：本システム停止状態のときにスマートフォンで情報を受信する機能



※ 1：ニチコン社製の V2H も制御できるため、EV 電池も自家消費に活用できます。

※ 2：外付け太陽光発電は、ハイブリッド蓄電システムとは別の太陽光パワーコンディショナが必要です。

※ 3：V2H システムは、ニチコン社製 (EV パワー・ステーション[®] [VSG3-666CN7]) に限ります。

拡張型太陽光発電システム (ハイブリッド蓄電システム・V2H 連携) は、本書に従い操作してください。

• 拡張型太陽光発電システム専用のスマートフォンアプリ「QREADY」や室内リモコン (QREADY-RM-1) を使用してください。

EV パワー・ステーションのスマートフォン専用アプリ「EVPS controller」や室内リモコン (VSG3-RREMO1) は使用できません。

もくじ

安全上のご注意	2
使用上のご注意	4
本書について	5
電気の「自家消費」、もしもの「災害対策」	11
構成例	12
取り扱い上のお願い	13
設置場所について	13
最低離隔距離について	14
パワーコンディショナ (QREADY-R59-1/QREADY-R59-2)	14
蓄電池ユニット (QREADY-B77-1/QREADY-B97-1)	14
V2H システム (VSG3-666CN7)	15
外形寸法図 / 各部名称	16
パワーコンディショナ (QREADY-R59-1/QREADY-R59-2)	16
蓄電池ユニット (QREADY-B77-1/QREADY-B97-1)	16
自動切替開閉器 (ES-B8E)	17
室内リモコン (QREADY-RM-1)	17
V2H システム (VSG3-666CN7)	18
パワーユニット	18
プラグホルダ	19
充放電コネクタ	20
12 V 電源ケーブル	20
充放電コネクタ緊急離脱工具 (取扱説明書付)	20
スマートフォン専用アプリについて	21
専用アプリの設定について	21
専用アプリの表示・画面構成について	23
室内リモコン各部の名称とはたらき	26
室内リモコンの本体について	26
室内リモコンの表示・画面構成について	27

車両との接続方法	30
専用アプリで車両と接続する場合	30
室内リモコンで車両と接続する場合	31
V2H システムの操作パネルで車両と接続する場合	33
車両との切断方法	35
専用アプリで車両と接続を切断する場合	35
室内リモコンで車両と接続を切断する場合	36
V2H システムの操作パネルで車両と接続を切断する場合	37
通常時の使い方	38
システムの各種運転モードについて	38
自動運転モード	39
手動運転モード	40
外部制御のみの運転モード	41
放電中の動作について	41
システムの運転モードを選ぶ（連系時）	42
専用アプリでシステムの運転モードを選ぶ場合	42
室内リモコンでシステムの運転モードを選ぶ場合	43
V2H システムの操作パネルでシステムの運転モードを選ぶ場合	44
システムの充放電時刻を設定する	45
専用アプリで充放電時刻を設定する場合	45
室内リモコンで充放電時刻を設定する場合	46
蓄電池ユニットの充電上限値・放電下限値について	49
蓄電池充電上限値	49
蓄電池放電下限値（非常時安心設定）	49
蓄電池ユニットの充電上限値・放電下限値を設定する	50
専用アプリで充電上限値・放電下限値を設定する場合	50
室内リモコンで充電上限値・放電下限値を設定する場合	51
各グラフについて	52
発電 / 売買電グラフ・数値	52
蓄電池充放電グラフ・数値	52
車両充放電グラフ・数値	52
専用アプリの各グラフについて	53
室内リモコンの各グラフについて	54
グラフを表示する	55
専用アプリでグラフを表示する場合	55
室内リモコンでグラフを表示する場合	57

発電抑制の履歴を表示する	58
専用アプリで発電抑制の履歴を表示する場合.....	58
室内リモコンで発電抑制の履歴を表示する場合.....	59
機器情報について	61
専用アプリの機器情報について.....	61
室内リモコンの機器情報について.....	63
機器情報を確認する	65
専用アプリで機器情報を確認・各種設定項目を選ぶ場合.....	65
室内リモコンで「登録情報」を確認する場合.....	66
室内リモコンで「設定情報」の各種設定項目を選ぶ場合.....	68
室内リモコンで「日時」の設定を行う場合.....	69
太陽光発電設定を確認する	70
専用アプリで太陽光発電設定を確認する場合.....	70
室内リモコンで太陽光発電設定を確認する場合.....	72
V2H システムの詳細設定について	73
専用アプリの V2H システム設定について.....	73
室内リモコンの V2H システム設定について.....	75
V2H システムの詳細設定を設定する	78
専用アプリで V2H システムの詳細設定を設定する場合.....	78
室内リモコンで V2H システムの詳細設定を設定する場合.....	79
オーナーズ倶楽部に接続する【専用アプリのみ】	80
停電時の使い方（自立運転）	81
蓄電システムの停電時運転モードについて.....	81
停電時運転.....	81
停電時運転中の動作について.....	82
V2H システムの操作パネルでコネクタロック・コネクタロック解除を行う場合.....	83
停電時に車両を利用した起動方法.....	83
車両の電源ソケットを利用した起動方法.....	83
充放電コネクタを利用した起動方法.....	84
復電時の操作.....	85
停電時の家電製品の使用について.....	85
停電時にご利用できる家電製品の目安.....	86
ネットワークの接続状態を確認する	87
専用アプリでネットワーク接続状態を確認する場合.....	87
室内リモコンでネットワーク接続状態を確認する場合.....	88
ネットワークサービス	90

こんなときは 91

ブザー音や異音について 91

動作がおかしいと感じたとき 91

ブレーカが頻繁に落ちる場合 91

契約電力を変更する場合 91

停電時に家電製品が使用できない場合 91

蓄電池ユニットや車両が 100% まで充電できない場合 91

太陽光発電電力が充電できない場合 92

夏季に充放電・発電動作が停止した場合 92

蓄電池ユニットが充放電できない場合 92

車両が充放電できない場合 92

車両の充放電の動作切り替え時に数秒時間がかかる場合 92

車両が満充電後、すぐに放電できない場合 92

停電時に充電できない場合 92

停電時に蓄電池残量がゼロ・下限値を下回った場合 93

停電時、安全を確認してから家電製品をご利用になりたい場合 93

室内リモコンの画面が表示されない場合 93

専用アプリに「タイムアウト」の画面が表示された場合 93

コネクタがロックできない場合 93

充放電コネクタが取り出せなくなった場合 94

充放電コネクタを落としてしまった場合 94

充放電コネクタが濡れてしまった場合 94

充放電コネクタが凍結してしまった場合 94

その他ご使用に関する操作方法等 94

停電時、安全を確認してから家電製品をご利用になりたい場合 94

長期不在の場合 96

蓄電システムを停止させる場合 97

蓄電システムを起動させる場合 101

V2H システムを非常停止する場合 104

V2H システムを非常停止から復帰する場合 104

蓄電システムを廃棄する場合 105

風水害または地震などの対応 105

低温時の動作について 105

点検コード (BExxx、BFxxx、Blxxx) が表示されたとき 105

プッシュ通知で点検コードを受信したとき 106

点検コードのメッセージと処置 106

点検コード「BF405」について 108

点検コード「BF404」について 109

点検コード「BF306」について 109

点検コード「BI690」について.....	110
V2Hシステムに関する点検コードが表示されたとき.....	111
V2Hシステムを再起動する場合.....	113
点検コードを表示する.....	114
専用アプリで点検コードを表示する場合.....	114
室内リモコンで点検コードを表示する場合.....	115
お知らせメッセージと内容など.....	116
点検コード「BC651」について.....	117
点検コード「BC662」について.....	118
室内リモコンが動かなくなったとき.....	119
充放電コネクタが取り外せなくなったとき.....	119
蓄電池のメンテナンスモードについて.....	121
ソフトウェアの更新と更新方法.....	123
保証とアフターサービス.....	124
保証について.....	124
アフターサービスについて.....	124
補助金に関するご注意.....	125
購入時に補助金を申請する場合.....	125
遠隔出力制御ルールに関するご注意.....	125
仕様.....	126
パワーコンディショナ.....	126
蓄電池ユニット.....	127
自動切替開閉器.....	127
室内リモコン.....	127
V2Hシステム.....	128
接続対応車両.....	128
車両についての注意事項.....	129
蓄電システムの使用温度範囲について.....	129
増設設置の可能期間.....	129
ソフトウェアライセンスについて.....	129

電気の「自家消費」、もしもの「災害対策」

本製品は、太陽光発電システムとしてだけでも利用でき、蓄電池があれば太陽光発電で蓄えた電気をいつでも家で使うことができます。

また V2H システム^{*1}も制御できるため、EV 電池も自家消費に活用できる「拡張型太陽光発電システム (ハイブリッド蓄電システム、V2H 連携)」です。

蓄電池と EV 電池を活用して、太陽光発電を最大限活用

拡張型パワーコンディショナは太陽光発電用パワーコンディショナ機能を搭載しており、すべてのハンファジャパン製太陽電池モジュールを接続できます。

蓄電池があればハイブリッド蓄電システムとしてもお使いいただけますので、太陽光発電を直流蓄電池に充電^{*2}でき、高効率で電気の自家消費ができます。さらに、V2H システム^{*1}も充放電制御できるため、EV 電池も自家消費に活用できます。

全負荷 200V 標準搭載、蓄電池 + EV 電池で家まるごとバックアップ

停電時にはエアコンや IH 調理器など 200V 機器が使用可能で、蓄電池、EV 電池があれば約 1 週間以上いつもの暮らしが実現できます^{*3}。さらに、太陽光発電も使えるので、長期間の停電でも安心です。

EV を使うシーンに合わせて最適な設定が可能

スマホアプリおよび室内リモコン (オプション) で蓄電池および V2H システムの制御が可能のため、EV をご利用いただくシーンに合わせて、運転設定や蓄電池および EV 電池の充放電の優先度が設定できます。

スマホ対応 & 室内リモコン (オプション)^{*4}

専用のスマホアプリに対応しており、太陽光の発電電力、蓄電池や V2H の充放電電力など一目で確認することができ、運転設定や設定値の変更なども簡単に操作できます。インターネットをご利用されていない方は、オプション (別売品) の室内リモコンが必須となります。

充実のネットワークサービス^{*5, *6}

見守りサービス、気象警報自動制御、早期注意情報自動制御、AI 自動制御などのネットワークサービスにも対応しています。すべてニチコンオーナーズ倶楽部から web で簡単申し込み可能です。

ご利用の際は事前に下記 URL から会員登録およびネットワークサービス説明資料をご確認の上お申込みをお願いします。

- ニチコンのネットワークサービスについて

https://www.nichicon.co.jp/products/ess/pdf/network_service_manual.pdf

安心の 15 年無償保証 (条件あり^{*7, *8})

安心の 15 年長期保証^{*7, *8}です。詳しくは、保証内容をよくお読みください。

※ 1: 制御できる V2H システムは、ニチコン社製 (EV パワー・ステーション[®] [VSG3-666CN7]) に限ります。V2H システムの対応車種については、ニチコンホームページの対応車種一覧を参照してください。

<https://www.nichicon.co.jp/products/v2h/vsg3/model/>

※ 2: 太陽光の発電電力およびご家庭の消費電力によっては、蓄電池への充電電力が確保できない場合があります。

※ 3: 停電時には、電力供給が一瞬途切れます。本製品に接続している家電製品の仕様によっては電源が切れますので、その時は電源を入れ直してください。電源が切れると支障がある場合は、本製品に接続しないでください。なお、蓄電池ユニットがない場合は、太陽光が発電している場合に限り本製品をご利用いただけます。

※ 4: パワーコンディショナ、蓄電池ユニットのソフトウェアを最新にするために、自動的にソフトウェアの更新を行うことがあります。

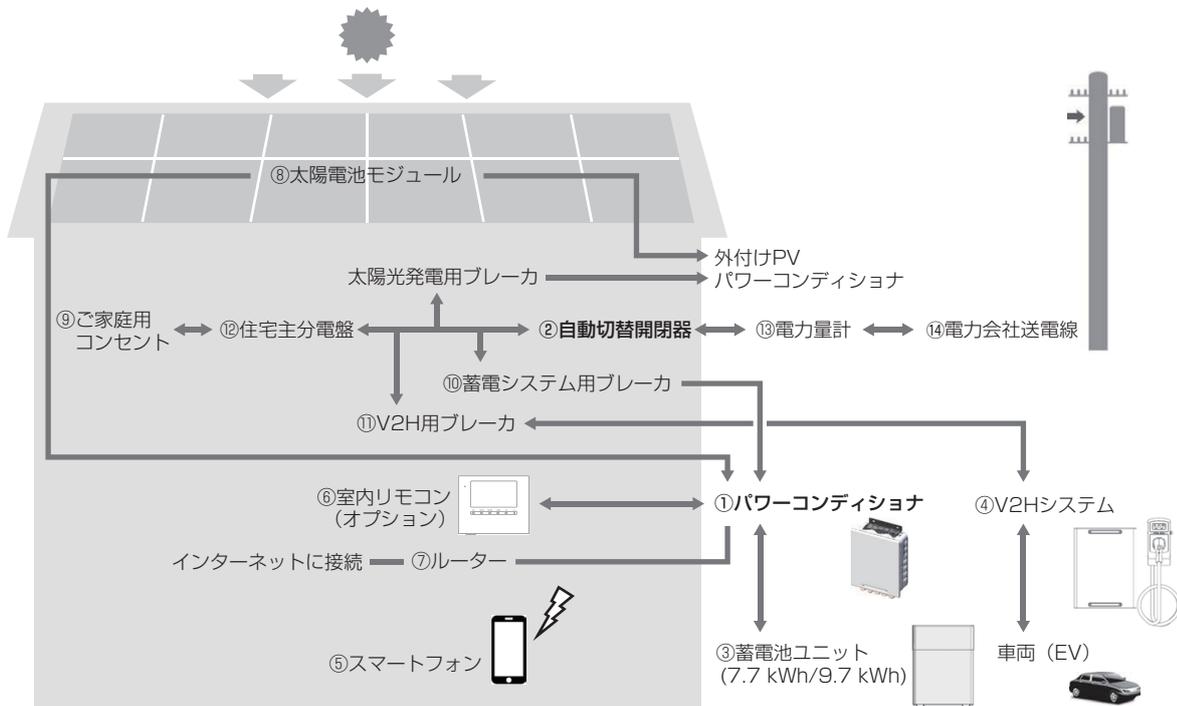
※ 5: インターネットに接続すると、ニチコン見守りサービスのサーバーに自動的に接続します。インターネットへの接続はお客様のネットワーク環境を利用します。インターネット回線契約・利用に伴う費用はお客様のご負担となります。

※ 6: 本製品の保証期間中は見守りサービスの提供を保証します。保証期間以降のサービスの提供については改めてお知らせいたします。

※ 7: 保証書については、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

※ 8: 室内リモコン (オプション別売品) は 5 年保証、V2H システムは 10 年保証となります。

構成例



① パワーコンディショナ

太陽光パネルの直接接続を可能にする太陽光発電用パワーコンディショナ・蓄電池ユニット用パワーコンディショナ機能を内蔵しています。最大3系統の太陽光発電回路を直接接続できます。太陽光発電または系統の電力を蓄電池ユニットに充電できます。必要に応じて蓄えた電力を放電します。太陽光発電による余剰電力を電力会社へ送ります。(売電)

② 自動切替開閉器

パワーコンディショナと連携し、系統の状態(通電/停電)に応じて自動的に開閉動作を行います。通電時: 閉(ON) / 停電時: 開(OFFして電路を遮断しパワーコンディショナが自立運転します。)

③ 蓄電池ユニット

リチウムイオン蓄電池とそれを監視コントロールするバッテリーマネジメントシステムで構成されています。パワーコンディショナを介して電力を蓄える、または蓄えた電力を放電します。

④ V2Hシステム

車両への充電、車両からの放電を行うための接続機器です。

⑤ スマートフォン

専用アプリで充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。専用アプリのご利用には、パワーコンディショナと通信するために、無線LANルーターをパワーコンディショナに有線LANで接続する必要があります。

⑥ 室内リモコン(オプション)

表示画面を備えた操作パネルです。充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。

⑦ ルーター

パワーコンディショナをスマートフォンやインターネットと接続するための機器です。

⑧ 太陽電池モジュール

太陽光を受けて発電する方法は、パワーコンディショナに直接接続する場合(内部PV)や、別の太陽光パワーコンディショナに接続する場合(外付けPV)があります。

⑨ ご家庭用コンセント

家庭負荷用の電源コンセントです。通常時だけでなく、停電時でも本システムから電力を供給できます。

⑩ 蓄電システム用ブレーカ

パワーコンディショナに過電流・漏電が発生した場合、自動的に電路を遮断し、二次被害を防ぎます。また、入切スイッチを使って蓄電システムの起動および停止を行います。

⑪ V2H用ブレーカ

V2Hシステムに過電流・漏電が発生した場合、自動的に電路を遮断し、二次被害を防ぎます。また、入切スイッチを使ってV2Hシステムの起動および停止を行います。

⑫ 住宅主分電盤

契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカおよび分岐ブレーカを内蔵しています。

⑬ 電力量計

買電用と売電用の2種類があり、電力会社から購入した電力(買電)と、電力会社に売る余剰電力(売電)を計量します。

⑭ 電力会社送電線

不足電力を電力会社から購入し(買電)、太陽光発電による余剰電力を電力会社へ送ります(売電)。

- 充電: 太陽光発電または系統の電力を蓄電池や車両に蓄えること。
- 放電: 蓄電池や車両に蓄えている電力を供給すること。
- 給電: 太陽光発電や蓄電池、車両に蓄えられた電力をご家庭に供給すること。

取り扱い上のお願い

設置場所について

共通

■下記のような場所には設置しない

パワーコンディショナ・蓄電池ユニット

- 屋内
- 標高 2000 m より高いところ
- 岩礁隣接地域
- 重塩害地域
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 油蒸気のあるところ
- 浸水のおそれがあるところ
- 電界の影響が大きいところ
- 車両と接触するおそれや、排ガスが直接あたるところ
- 風通しが悪いところ（物置、倉庫、シャッター付きの車庫を含む）
- 販売会社で決められていないところ
- 日射が長時間当たるところ※¹
- 結露および氷結のあるところ
- パワーコンディショナ設置時に上面が地上から 1800 mm 超えるところ※²
（豪雪地帯※³では 2500 mm 超えるところ※²）
- 下記の温度範囲以外のあるところ
設置環境温度： - 30℃～+45℃（パワーコンディショナ）
 - 20℃～+40℃（蓄電池ユニット）
動作温度※⁴： - 20℃～+40℃（パワーコンディショナ）
 - 10℃～+40℃（蓄電池ユニット）

室内リモコン

- 屋外
- 温度変化が激しいところ
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 水蒸気、油蒸気、雨水、結露、氷結のあるところ
- 電界の影響が大きいところ
- 直射日光が当たるところ
- 下記の温度範囲以外の場所
設置環境温度： 0℃～+40℃
動作温度※⁴： 0℃～+40℃

V2H システム

- 標高 2000 m より高いところ
 - 岩礁隣接地域
 - 重塩害地域
 - 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
 - 振動、衝撃の影響が大きいところ
 - 油蒸気のあるところ
 - 浸水のおそれがあるところ
 - 電界の影響が大きいところ
 - 風通しが悪いところ
 - 結露および氷結のあるところ
 - 直射日光が長時間当たるところ
 - 系統電力のないところ
 - 次の温度範囲以外のあるところでは、動作を停止することがあります。
設置環境温度： - 20℃～+ 50℃
動作温度※⁵： - 20℃～+ 50℃
 - 建物の屋根などから雪庇、つららなどが落下するところ
 - 積雪がある地域
- 下記の対策をすることで、取り付けが可能となります。
- 雪囲いや、雪が積もったり、吹き込んだりしない場所への設置など、積雪への対応をしてください。
 - 雪囲いを設置する場合は、本体の周りにスペースを確保してください。特に、パワーユニットの放熱口を塞がないようにしてください。

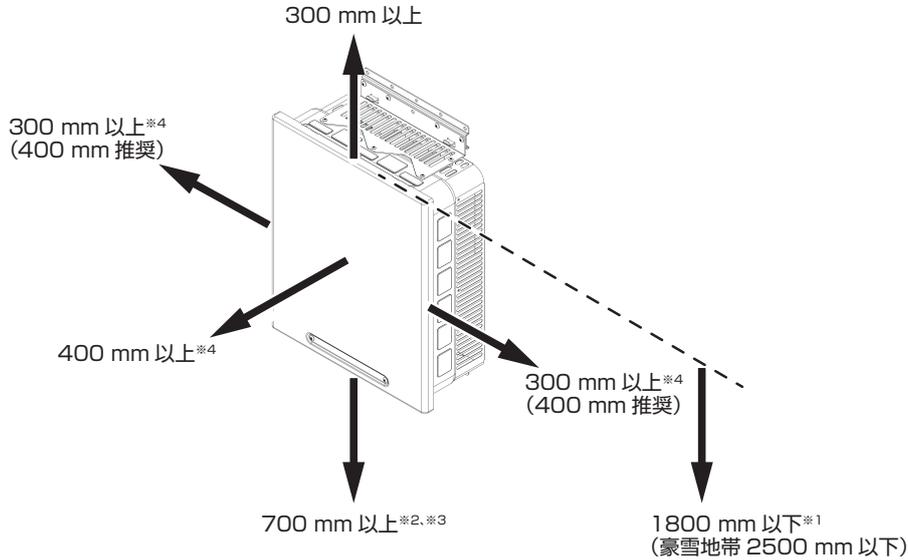


- ※ 1: パワーコンディショナを直接日光が当たる場所へ設置する場合は、オプションの日除け板 (ES-E1H1) が必要です。蓄電池ユニットは、原則、直射日光が当たる場所への設置はできません。
- ※ 2: 設置条件を満たしていない場合、点検・修理等を行う際に足場の設置費用を請求する場合があります。
- ※ 3: 累年平均積雪積算値が 5000 cm 日以上の地域（豪雪地帯）の存する道府県または市町村を指します。
- ※ 4: 動作温度範囲を超えると動作が停止したり出力が低下しますが範囲内に戻ると自動復帰します。また、動作温度範囲内であっても充放電電力が低下する場合があります。
- ※ 5: 製品背面の放熱口に異常があるときや気温が高いとき、直射日光が当たっているときは、出力を抑制する可能性があります。直射日光が当たりにくい場所に設置してください。

最低離隔距離について

パワーコンディショナ・蓄電池ユニット・V2H システムの周囲は、排熱とメンテナンスのために、以下の寸法以上の距離を確保してください。
また、それらの妨げにならないよう、最低離隔距離範囲内には物を置かないでください。

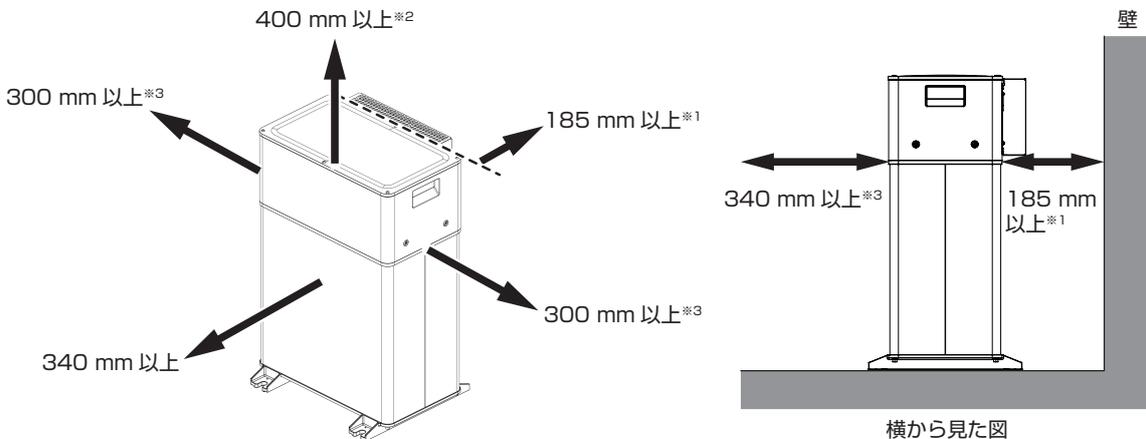
パワーコンディショナ (QREADY-R59-1/QREADY-R59-2)



左右 : 300 mm 以上^{※4}(400 mm 推奨)
 上 : 300 mm 以上
 前 : 400 mm 以上^{※4}
 上面 : 1800 mm 以下^{※1}
 下 : 700 mm 以上^{※2, ※3}

- ※ 1: パワーコンディショナの上面が地上から 1800 mm を超えるところには設置できません。(ただし、豪雪地帯では 2500 mm を超えるところ) 設置条件を満たしていない場合、点検・修理等を行う際に足場の設置費用を請求する場合があります。
- ※ 2: 蓄電池ユニットをパワーコンディショナの真下に設置する場合も、パワーコンディショナの離隔距離を確保してください。
- ※ 3: 蓄電池ユニットをパワーコンディショナの真下に設置する場合、外気温が 40℃ 以下でも出力抑制が起こる可能性があります。
- ※ 4: 「左右」がそれぞれ 600 mm 以上、および設置場所までの搬入経路を確保 (経路に障害物があっても移動できること) できる場合は、「前」は最短 350 mm となります。

蓄電池ユニット (QREADY-B77-1/QREADY-B97-1)



左右 : 300 mm 以上^{※3}
 上 : 400 mm 以上^{※2}
 前 : 340 mm 以上^{※3}
 背面 : 185 mm 以上^{※1}

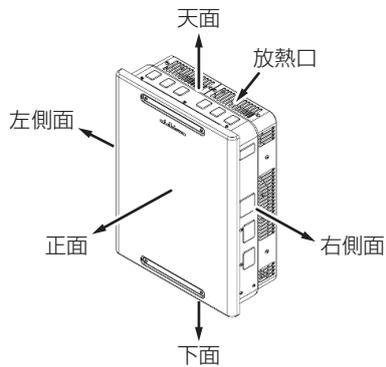
- ※ 1: 放熱口突起を除く筐体背面からの距離
- ※ 2: 蓄電池ユニットをパワーコンディショナの真下に設置する場合も、蓄電池ユニットの離隔距離を確保してください。
- ※ 3: 「左右」がそれぞれ 600 mm 以上、および設置場所までの搬入経路を確保 (経路に障害物があっても移動できること) できる場合は、「前」は最短 97 mm となります。

V2H システム (VSG3-666CN7)

壁掛設置

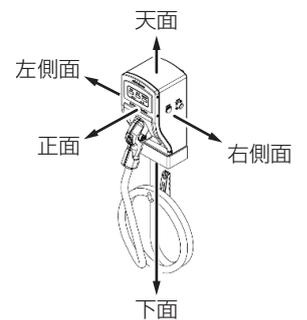
パワーユニット

正面 : 500 mm
左側面 : 300 mm
右側面 : 300 mm
天面 : 300 mm
下面 : 700 mm



プラグホルダ

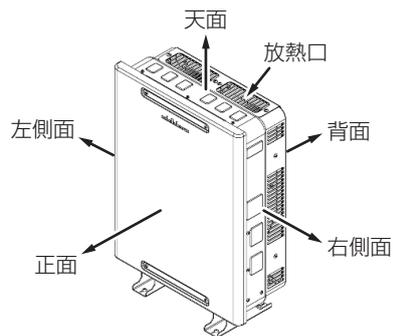
正面 : 500 mm
左側面 : 300 mm
右側面 : 300 mm
天面 : 200 mm
下面 : 900 mm



据置設置

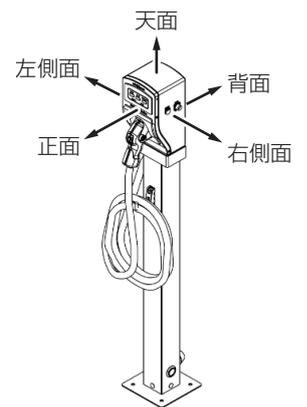
パワーユニット

正面 : 500 mm
背面 : 200 mm
左側面 : 300 mm
右側面 : 300 mm
天面 : 300 mm



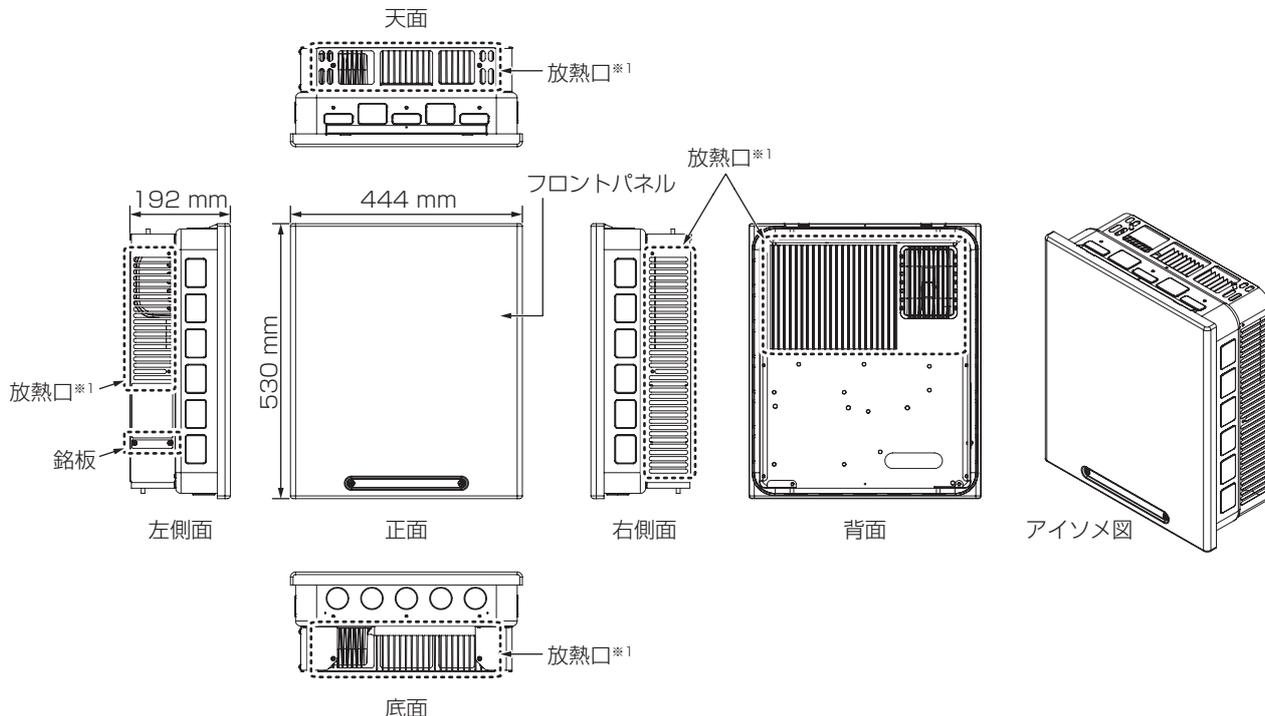
プラグホルダ

正面 : 500 mm
背面 : 50 mm^{*}
左側面 : 300 mm
右側面 : 300 mm
天面 : 200 mm



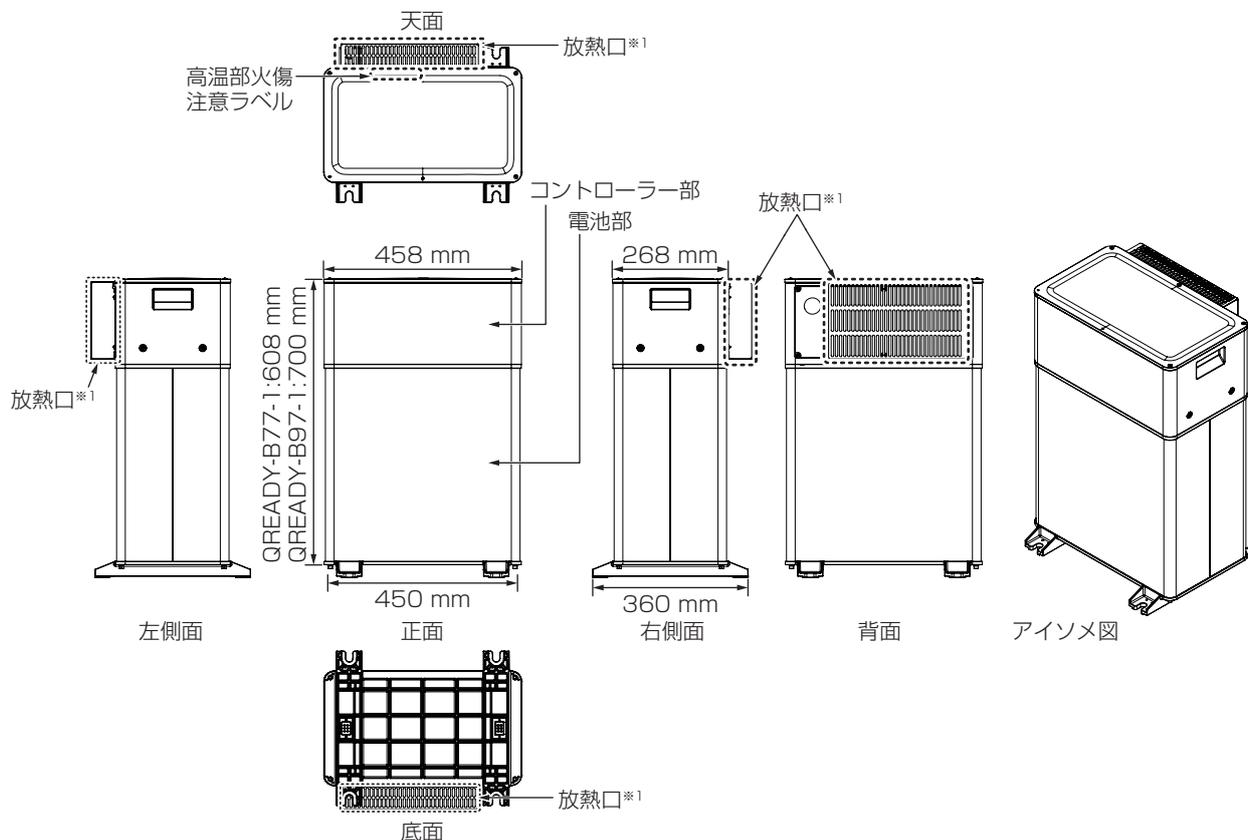
外形寸法図 / 各部名称

パワーコンディショナ (QREADY-R59-1/QREADY-R59-2)



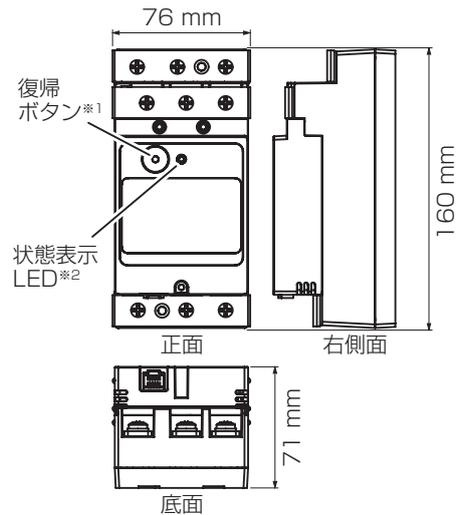
※ 1: 放熱口が塞がると温度上昇により蓄電システムが自動停止する場合があります。放熱口を塞がないようご注意ください。

蓄電池ユニット (QREADY-B77-1/QREADY-B97-1)



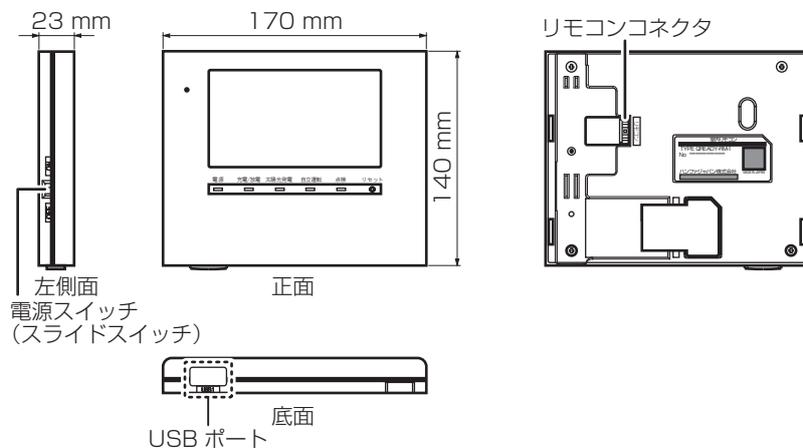
※ 1: 放熱口が塞がると温度上昇により蓄電システムが自動停止する場合があります。放熱口を塞がないようご注意ください。

自動切替開閉器 (ES-B8E)



- ※ 1: 復帰ボタンを押す場合は 1 回のみ短押ししてください。なお、停電時以外に本ボタンを短押しすると、2 秒程度電気の供給が瞬断します。途中で電源が途切れると不具合を生じる家電製品や機器 (医療機器等) は接続しないでください。
- ※ 2: LED で自動切替開閉器の状態を示します。
 - 緑点灯：系統運転
 - 赤点灯：自立運転
 - 緑赤点滅 (0.2 秒間隔)：故障
 - 緑赤点滅 (2 秒間隔)：診断中

室内リモコン (QREADY-RM-1)



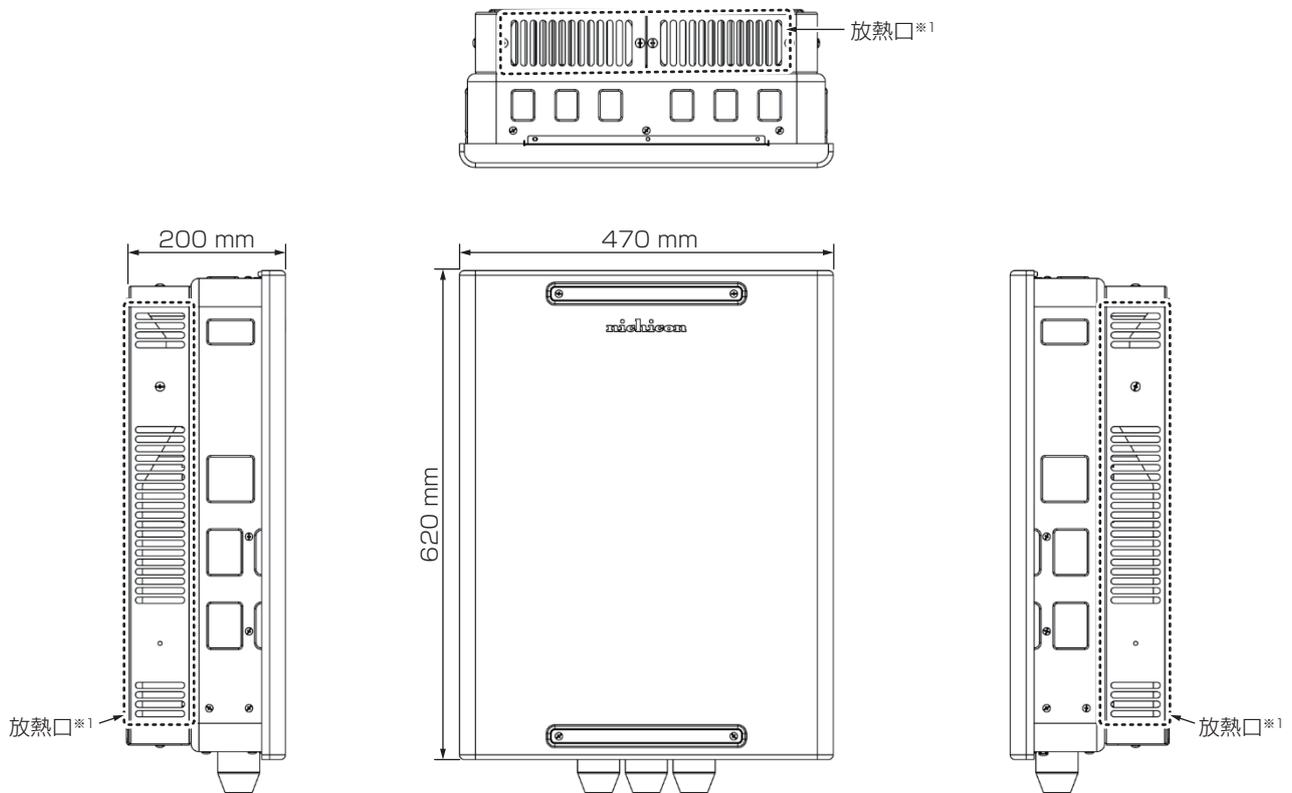
メモ

- 室内リモコンはオプション (別売品) です。
- 室内リモコンの各部の名称とはたらきについては、「室内リモコン各部の名称とはたらき」(26 ページ) を参照してください。

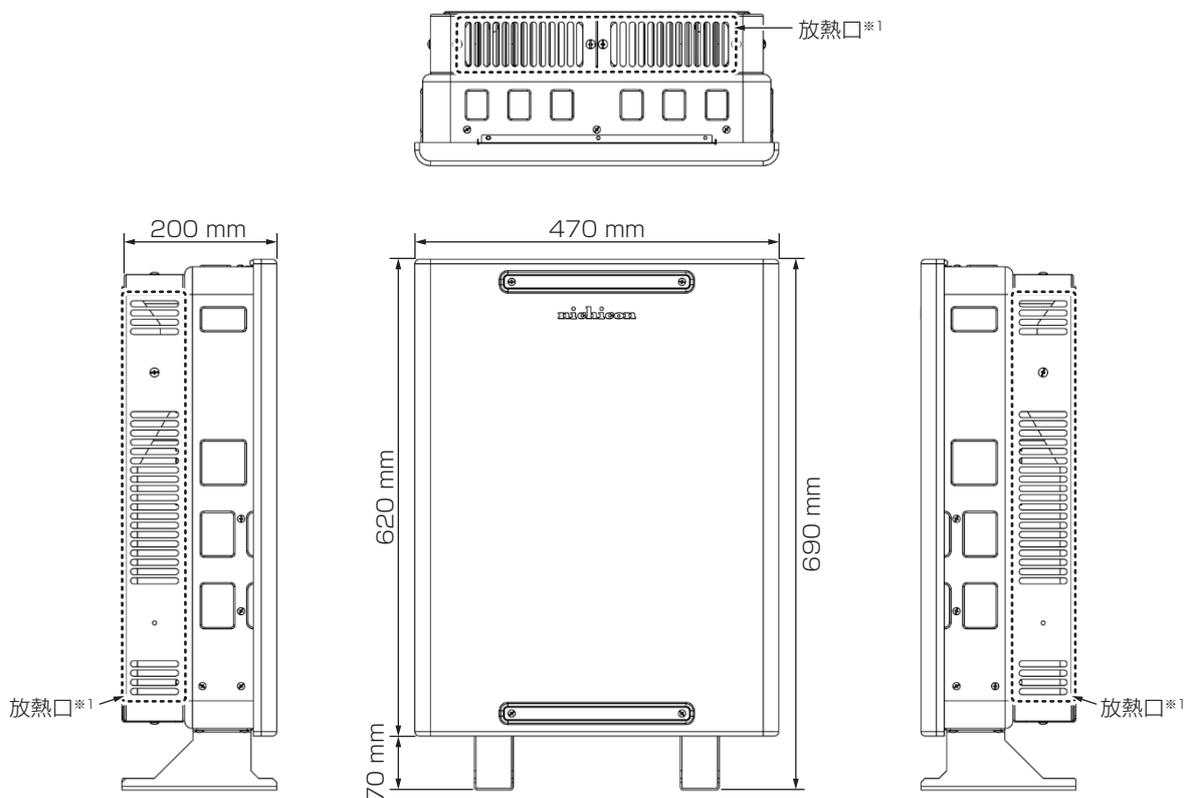
V2H システム (VSG3-666CN7)

パワーユニット

■ 壁掛設置



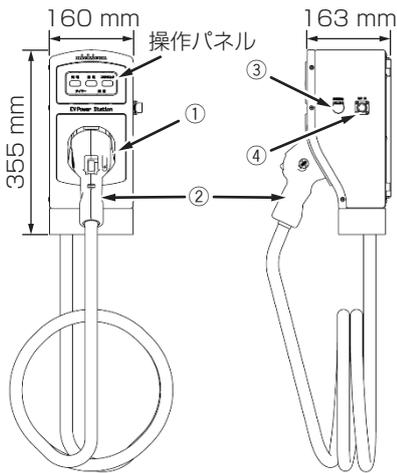
■ 据置設置



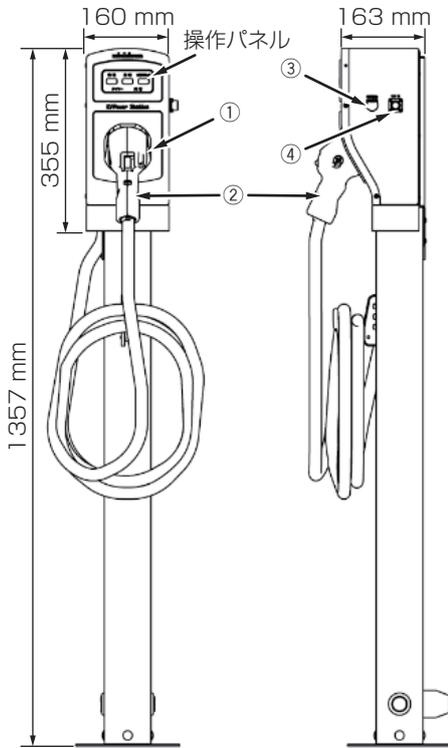
※ 1: 放熱口が塞がると温度上昇により V2H システムが自動停止する場合があります。放熱口を塞がないようご注意ください。

プラグホルダ

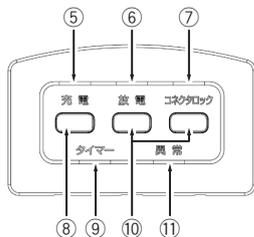
■ プラグホルダ (壁掛設置)



■ プラグホルダ (据置設置)



■ 操作パネル

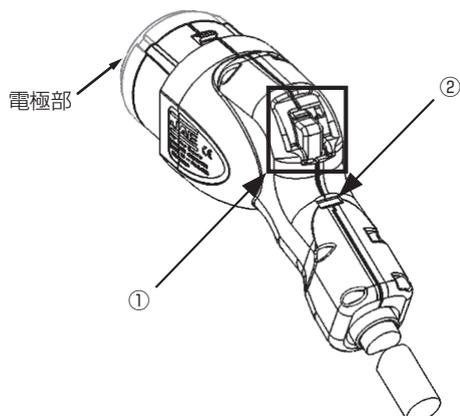


- ① **コネクタホルダ**
充放電コネクタを収納します。
- ② **充放電コネクタ**
車両の急速充電口に接続するコネクタです。
- ③ **非常停止ボタン**
動作を非常停止します。
- ④ **12V_IN**
停電時に車両から蓄電システムを起動するときに必要な 12V 電源ケーブルの接続口です。
• 12 V 電源ケーブルの接続が不要な車両もあります。
- ⑤ **充電 LED**
V2H システムが充電動作しているときに点灯します。
- ⑥ **放電 LED**
V2H システムが放電動作しているときに点灯します。
- ⑦ **コネクタロック LED**
充放電コネクタがロックしているときに点灯します。
- ⑧ **充電ボタン**
車両充電モードで運転します。
再度押すと、最後に設定された自動運転モードに戻ります。
- ⑨ **タイマー LED**
自動運転モードが選択されているときに点灯します。
- ⑩ **放電ボタン / コネクタロックボタン**
充放電コネクタをロックします。再度押すと、ロック解除します。
- ⑪ **異常 LED**
V2H システムに異常が発生しているときに点灯します。

充放電コネクタ

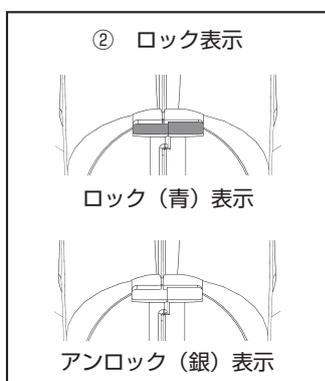
車両の急速充電口に接続するコネクタです。このコネクタを通して車両と電力をやり取り（充電 / 放電）します。電極部には触れないでください。

■ 充放電コネクタ



- ① リリースボタン
充放電コネクタを引き抜くときに押します。
- ② ロック表示
コネクタロックされているかを表示します。

■ ロック（青）/ アンロック（銀）状態



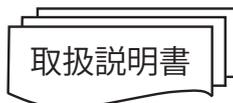
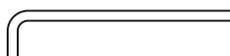
12 V 電源ケーブル

停電時に自立運転をするために、車両とプラグホルダを接続するケーブルです。使用しない車種もあります。



充放電コネクタ緊急離脱工具（取扱説明書付）

充放電コネクタが取り外せなくなった緊急時に使用します。



スマートフォン専用アプリについて

専用アプリの設定について

- お手持ちのスマートフォンの端末にスマートフォン専用アプリケーションをインストールすると、専用アプリから蓄電システムの操作や稼働状態、履歴を確認することができます。
- 専用アプリで本システムを操作するためには、スマートフォンを LAN に接続するための無線 LAN ルーター（市販品）をご用意いただき、パワーコンディショナと有線 LAN にて接続いただく必要があります。無線 LAN ルーターを設置しない場合は、専用アプリを使用できないため、別途室内リモコン（オプション）が必要です。

メモ

- 無線 LAN ルーター（市販品）は、パワーコンディショナと有線 LAN で接続し、かつスマートフォンと Wi-Fi 接続できるものをご用意ください。
- 専用アプリは、パワーコンディショナに接続された無線 LAN ルーターの Wi-Fi 接続可能エリア外からは操作できません。（例えば自宅の外は、Wi-Fi 接続圏外のため専用アプリの操作はできません。）
- 専用アプリはスマートフォンの端末から Wi-Fi 接続によりルーターを経由して本システムと通信を行います。
- 専用アプリは、Android™ 端末は Android 9 以降、iPhone は iOS 15 以降の OS に対応しています。スマートフォンの OS に更新があった場合は、専用アプリが正常に動作しない可能性があります。その場合、対応版専用アプリの準備までお待ちいただく場合があります。なお、他の OS や PC 等には対応していません。
- 専用アプリは、すべてのスマートフォン、すべてのお客様のご利用環境での動作を保証するものではありません。
- 専用アプリは、同一のパワーコンディショナにスマートフォン複数台の専用アプリを同時に 4 台まで接続できます。5 台以上を同時に接続すると、専用アプリが正常に動作しないおそれがあります。
- 専用アプリは、必ず最新バージョンに更新してご利用ください。バージョンが古い場合は正常に動作しないおそれがあります。アプリ更新の方法については、スマートフォン端末の操作方法をご確認ください。
- サービス対応時や施工業者による操作中は、お客様の専用アプリは使用できません。

1 専用アプリをインストールする

■ ダウンロード画面例



スマートフォンの専用アプリ（無料）を、Google Play もしくは App Store からインストールしてください。（ダウンロードには通信費用が発生することがあります）

① QR コードを読み取る。

● Android の場合



<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.qready.batterycontroller>

● iOS (iPhone) の場合



<https://apps.apple.com/jp/app/id6474379003>

② 画面に従ってインストールする。

メモ

- 専用アプリのインストールは、パワーコンディショナ設置後に実施してください。専用アプリを設置前にインストールをした場合は、必ず最新バージョンに更新してからご利用ください。

2 パワーコンディショナとの接続を準備する

- 「契約ブレーカ」、「主幹漏電ブレーカ」、「V2H 用ブレーカ」、「蓄電システム用ブレーカ」を「ON」にしてください。
- 「無線 LAN ルーター」を「ON」にしてください。
- 専用アプリの機能を使うために、お使いのスマートフォン本体の Wi-Fi 設定を行ってください。
 - ① パワーコンディショナが有線接続されているルーターの SSID を確認してください。
 - ② スマートフォンの Wi-Fi 設定を開き、①で確認した SSID に接続してください。

メモ

- 専用アプリは、パワーコンディショナとの接続が必要です。「契約ブレーカ」、「主幹漏電ブレーカ」、「V2H 用ブレーカ」、「蓄電システム用ブレーカ」が「OFF」の場合、パワーコンディショナと通信できないため接続できません。

3 専用アプリを起動する

専用アプリの初回起動時にダイアログ^{*1}が表示された場合は、各設定を行ってください。

- ① “ローカルネットワーク上のデバイスの検索および接続を求めています” のダイアログは、必ず「許可」を選択してください。「許可しない」場合、パワーコンディショナを検出できないため接続できません。
- ② “通知を送信します” のダイアログは、「許可」を選択してください。「許可しない」場合、蓄電システムが何らかの原因で一時的に停止（または停止状態）のときに、その通知を受信できません。

※ 1：スマートフォン本体の設定から、“ローカルネットワーク接続” や “通知” の設定を行う場合は、スマートフォン端末の操作方法をご参照ください。

重要

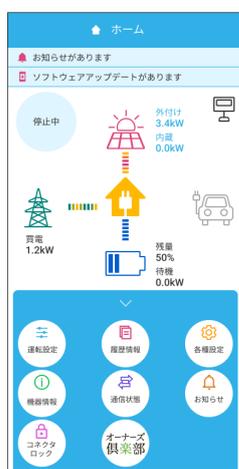
専用アプリはローカルネットワーク通信を使用します。

- “ローカルネットワーク” の接続が許可されていない場合、専用アプリはご利用いただけません。
- “通知” 機能が許可されていない場合、本システムが何らかの原因で一時的に停止（または停止中の状態）のときに、その通知を受信できません。

メモ

- “通知” 機能は、パワーコンディショナと接続している無線 LAN ルーターがインターネットに接続している場合のみ、ご利用いただけます。（106 ページ参照）

4 パワーコンディショナに接続する



スマートフォンを LAN に接続するための無線 LAN ルーターと接続しているパワーコンディショナを、自動的に検出して接続します。

専用アプリとパワーコンディショナの接続が成功すると、「ホーム」画面を表示します。

専用アプリの詳細は、次ページ以降をご覧ください。

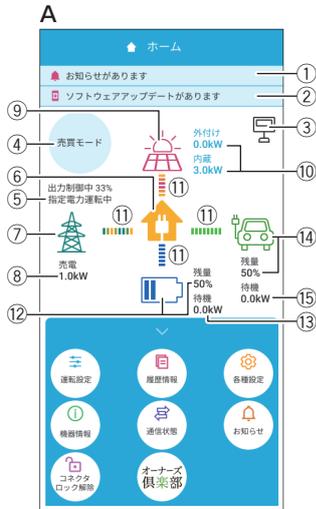
メモ

- 「ローカルネットワーク権限」が許可されていない場合は、パワーコンディショナを検出できないため接続できません。
- 専用アプリは、ルーターの通信圏内で操作してください。通信圏外ではパワーコンディショナとの接続はできません。
- 施工時に本システムの試運転が実施されていない場合は、専用アプリによる操作はできません。専用アプリを終了し、お買い上げの販売会社へご連絡ください。
- 点検コード「BC662」が表示された場合、本システムをインターネットに接続しないでご利用される場合はそのまま「OK」をタッチすると「ホーム」画面に切り替わります。そのままご利用ください。（118 ページ）
- スマートフォンのプッシュ通知が「OFF」の場合は、プッシュ通知「ON」を推奨する画面が表示されます。「通知設定」ボタンをタッチしてスマートフォン端末の設定を変更してください。

専用アプリの表示・画面構成について

専用アプリに表示される電力値や残量は目安としてご利用ください。

■ ホーム画面例 1



A 専用アプリのホーム画面表示例を示します。

- ① **お知らせ**^{*}
お知らせリストに未読のメッセージ^{*}があるとき表示します。タッチするとお知らせに関する画面を表示します。
- ② **ファームウェア更新**
ファームウェアに更新があるとき表示します。
- ③ **ネットワーク状態アイコン**
パワーコンディショナとルーターの接続状態^{*}を表示します。

	ルーターを経由して専用アプリとパワーコンディショナが接続している場合
	パワーコンディショナとルーター、ルーターと専用アプリいずれかが接続していない場合

- ④ **運転モード**
蓄電システムの現在の運転モードを表示します。
外部からの制御により運転しているときは、見守りサーバー（見守り）、ECHONET Lite^{*}対応のHEMS^{*}（ECL）、AI自動制御（AI）、気象警報制御（気象）など、運転モードと併せて表示します。
- ⑤ **制御状態表示**
 - 電力会社による発電抑制（出力制御、電圧上昇抑制）やHEMS^{*}による発電抑制が行われているときに表示されます。表示中は売電量が減る場合があります。
 - 外部制御による運転モード（38ページ）、かつ放電電力を指定されて運転するときに表示されます。

- ⑥ **住宅アイコン**
ご家庭内を意味します。

- ⑦ **電柱アイコン**
系統（電力会社）を意味します。

- ⑧ **売買電電力 [kW]**
売電、買電の状態および売買電電力^{*}を表示します。

売電	100 W 以上電力を売電している場合
買電	100 W 以上電力を買電している場合
非表示	売買電電力が 100 W 未満の場合

- ⑨ **太陽光発電アイコン**
太陽光発電の状態を意味します。太陽光発電の電力量は、外付け太陽光発電を併設している場合、「外付け太陽光発電の電力表示」の設定により異なります。（70ページ）

	太陽光発電の電力が 100 W 以上の状態
	太陽光発電の電力が 100 W より小さい、または発電していない場合

- ⑩ **太陽光発電電力 [kW]**
太陽光発電電力を表示します。太陽光発電の電力量は、外付け太陽光発電を併設している場合、「外付け太陽光発電の電力表示」の設定により異なります。（70ページ）

内蔵	本システムに直接接続している太陽光発電電力
外付け	本システムに併設している外付け太陽光発電電力

- ⑪ **電力の流れ**
各機器間の電力の流れをアニメーションで表示します。

流れなし	100 W 未満 [*]
遅い流れ	100 W 以上 1.0 kW 未満
速い流れ	1.0 kW 以上

- ⑫ **蓄電池アイコン [%]**
蓄電池の残量をアイコンと数値で表示します^{*}。^{*}^{*}

⑬ 蓄電池状態および充放電電力 [kW]

蓄電池状態および蓄電池充放電電力を表示します*5.*7.*9.*11。

放電	100 W 以上電力を放電している場合
充電	100 W 以上電力を充電している場合
待機	充放電を行っていない場合 充放電電力が 100 W 未満の場合

⑭ 車両アイコン [%]

車両の電池残量をアイコンと数値で表示します*10.*11。

	コネクタロック状態 車両がコネクタロックされている場合の表示です。車両は緑で表示されます。
	コネクタロック解除状態 車両がコネクタロックされていない場合の表示です。車両はグレイアウト表示されます。

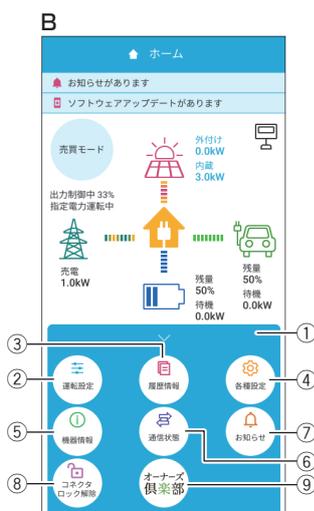
⑮ 車両状態および充放電電力 [kW]

車両の接続状態および電池充放電電力を表示します*5.*10.*11。

放電	100 W 以上電力を放電している場合
充電	100 W 以上電力を充電している場合
待機	充放電を行っていない場合 充放電電力が 100 W 未満の場合

- ※ 1: お知らせは未読のままにしないでください。万が一の機器故障時に早期発見、早期対処するためにも日頃から「 お知らせがあります」表示が出た場合はすぐにご確認ください。
- ※ 2: インターネット接続状態とは異なります。ネットワーク接続状態は、「ネットワークの接続状態を確認する」(87 ページ)を参照してください。
- ※ 3: 「HEMS」は、Home Energy Management System の略です。家庭で使うエネルギーを賢く管理するシステムです。HEMS のコントローラが蓄電システムと通信するためには ECHONET Lite*4 の通信規格が必要です。
- ※ 4: 「ECHONET Lite」(エコネットライト)は、エコネットコンソーシアムの登録商標です。
- ※ 5: 他の機器 (HEMS など) の値とは異なる場合があります。目安としてご利用ください。
- ※ 6: 電力が小さい (100 W 未満) 場合でも、センサーの誤差などにより、電力の流れが表示される場合があります。
- ※ 7: 蓄電池ユニットを併設していない場合は、表示されません。
- ※ 8: 一度使い切った電池がしばらくすると使える場合があるように、蓄電池特性により、しばらくすると表示が変わることがあります。目安としてご利用ください。
- ※ 9: 蓄電池の充放電電力は、家庭内の消費電力や本システムに直接接続している太陽光発電電力が非常に小さい場合は、表示誤差 (0.1 kW 程度) が発生する場合があります。目安としてご利用ください。
- ※ 10: V2H システムを併設していない場合は、表示されません。
- ※ 11: 100 W 未満の場合は、0.0 kW と表示します。

■ ホーム画面例 2



B 専用アプリの画面構成を示します。

① ドロワーメニュー

タッチまたはスワイプすると各ボタンを表示します。各ボタンからさまざまな設定・操作を行います。

② 運転設定

運転開始や運転停止、運転モードの選択や充放電時間に関するメニューを開きます。

運転モード設定	42 ページ
充放電時刻設定	45 ページ
運転停止 / 運転開始	97、101 ページ

③ 履歴情報

各制御の履歴情報や各種グラフに関するメニューを開きます。

出力制御履歴	58 ページ
出力制御スケジュール	
電圧上昇抑制履歴	
HEMS 発電抑制履歴	53 ページ
発電 / 売買電グラフ	
蓄電池充放電グラフ*1	
車両充放電グラフ*1	

④ 各種設定

構成機器の各種設定に関するメニューを開きます。

太陽光発電設定	70 ページ
蓄電池設定 ^{※ 1}	49 ページ
V2H システム設定 ^{※ 1}	73 ページ

⑤ 機器情報

機器情報の各情報に関するメニューを開きます。

登録情報	61 ページ
設定情報	
パワコン時刻	

⑥ 通信状態

蓄電システムのネットワーク接続の通信状態を表示します。(87 ページ)

⑦ お知らせ

蓄電システムで発生した動作や障害に関する点検コードの一覧を表示します。(114 ページ)

⑧ コネクタロック^{※ 1}/コネクタロック解除^{※ 1}

車両との接続(コネクタロック)および解除(コネクタロック解除)を行います。(30、35 ページ)

⑨ オーナーズ倶楽部^{※ 2, ※ 3, ※ 4}/おでかけ接続^{※ 2, ※ 3, ※ 4}

専用アプリの WebView でニチコンオーナーズ倶楽部を表示します。ログインすると、蓄電システムの状態を WebView で表示します。(80 ページ)

- 専用アプリの更新状況により表示されない場合は、専用アプリを更新^{※ 5}してください。

※ 1: 併設している機器構成により画面構成が異なります。

※ 2: 専用アプリは、パワーコンディショナに接続された無線 LAN ルーターとの Wi-Fi 接続状況により、ボタン表示が異なります。

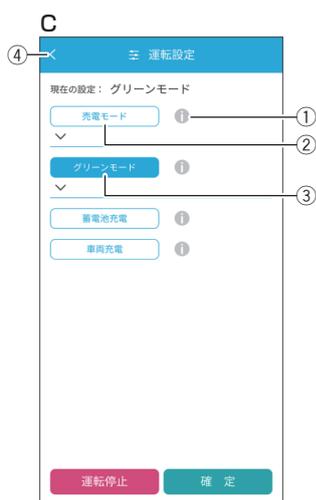
- 専用アプリが Wi-Fi 接続できる場合:「オーナーズ倶楽部」を表示
- 専用アプリが Wi-Fi 接続できない場合:「おでかけ接続」を表示

※ 3: ニチコンオーナーズ倶楽部の会員登録(無料)およびニチコン見守りサービスの加入(無料)が必要です。

※ 4: 専用アプリの WebView 表示は、インターネット接続が必要です。インターネットへの接続は、お客様スマートフォンのネットワーク環境を利用します。インターネット回線契約・利用に伴う費用はお客様のご負担となります。

※ 5: スマートフォン端末により、Android もしくは iPhone のアプリ更新方法をご確認ください。(アプリ更新には通信費用が発生することがあります。)

■ 画面ボタン例(運転設定画面)



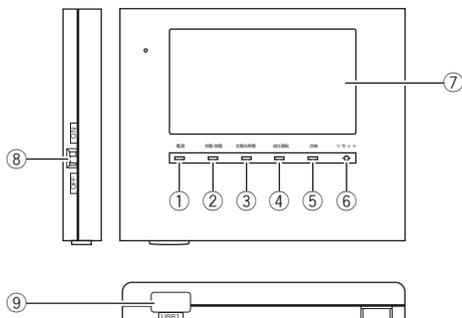
C 画面ボタン例を示します。

- ① タッチすると機能の説明を表示します。
- ② 非選択状態のボタンを意味します。
- ③ 選択状態のボタンを意味します。
- ④ 戻るボタンを意味します。
タッチすると前画面に戻ります。
設定を変更した状態でタッチするとキャンセル画面に切り替わります。

室内リモコン各部の名称とはたらき

室内リモコンの本体について

室内リモコンをオプションで設置した場合、室内リモコンでさまざまな設定・操作を行います。製品の構成や外付け太陽光パワーコンディショナの接続状況により、画面構成が異なります。



- ① **電源ランプ**
室内リモコン ON 時に点灯します。
 - ② **充電 / 放電ランプ**
運転状態を表示します。
- | | |
|-----|-----------------------------|
| 緑点灯 | 蓄電池の充電または放電時
車両の充電または放電時 |
| 消灯 | 待機または停止時 |
- ③ **太陽光発電ランプ**
太陽光発電時中に点灯します。
 - ④ **自立運転ランプ**
自立運転中に点灯します。
 - ⑤ **点検ランプ**
点検コード (BExxx/BFxxx) 発生中に緑点滅します。
 - ⑥ **リセットボタン**
室内リモコンのマイコンをリセットします。(119 ページ)
 - ⑦ **画面**^{※ 1}
表示画面を兼ねたタッチパネルです。充電・放電状態の表示や各運転モードを設定できます。
 - ⑧ **電源スイッチ (スライドスイッチ)**
室内リモコンの電源を ON/OFF します。
 - ⑨ **USB**
通常は使用しません。サービス対応時に使用します。

※ 1: 画面構成は、併設している機器構成により表示が異なります。

画面例	パワーコンディショナ	太陽光発電	蓄電池ユニット	V2H システム
例 1	○	○	—	—
例 2	○	○	○	—
例 3	○	○	—	○
例 4	○	○	○	○



メモ

- 充電 / 放電ランプは、蓄電池ユニットおよび車両がなく、太陽光発電しか接続されていない場合は、常に消灯となります。
- 点検ランプが点滅しているときは、室内リモコンの画面に点検コードが表示されます。「点検コード (BExxx、BFxxx、Blxxx) が表示されたとき」(105 ページ) に従って処置してください。
- 蓄電システム運転中に、電源スイッチを「OFF」にしないでください。蓄電システムを停止したい場合は、「室内リモコンで蓄電システムを停止させる場合」(99 ページ) の操作を行ってください。

室内リモコンの表示・画面構成について

室内リモコンに表示される電力値や残量は目安としてご利用ください。

■ ホーム画面例 1



A ホーム画面の表示例を示します。

① 運転モード

蓄電システムの現在の運転状態を表示します。
外部からの制御により運転しているときは、見守りサーバー（見守り）、ECHONET Lite^{※2} 対応の HEMS^{※1} (ECL)、AI 自動制御 (AI)、気象警報制御（気象）、指定電力運転^{※3}（指定電力運転中）など、運転モード^{※4} と併せて表示します。

② 電圧上昇抑制アイコン

環境起因により電力会社側の電圧が上昇し、抑制が働いているときに表示されます。抑制されているため、買電する場合があります。

③ ネットワーク状態アイコン

パワーコンディショナとルーターの接続状態^{※5} を表示します。

	パワーコンディショナとルーターが接続している状態
	パワーコンディショナとルーターが接続していない状態

④ 現在日時

現在の日時を表示します^{※7}。

⑤ 画面オフボタン

ボタンをタッチすると、画面をオフにします。画面オフ時は、液晶画面のどこかをタッチすると、画面を再表示します。

⑥ モードボタン^{※8}

タッチすると、運転モードに関する設定画面が開きます。

⑦ お知らせボタン^{※9}

タッチすると、お知らせに関する設定画面が表示されます。

	未読がある場合には、右上に未読マーク「」が表示されます。
--	------------------------------

- ※ 1: 「HEMS」は、Home Energy Management System の略です。家庭で使うエネルギーを賢く管理するシステムです。HEMS のコントローラが蓄電システムと通信するためには ECHONET Lite^{※2} の通信規格が必要です。
- ※ 2: 「ECHONET Lite」（エコーネットライト）は、エコーネットコンソーシアムの登録商標です。
- ※ 3: 指定電力運転は、外部制御による運転モード（38 ページ）、かつ、放電電力を指定されて運転していることを示します。
- ※ 4: システム機種名が「QREADY-77-P2」、「QREADY-97-P2」の場合、外部制御による運転モードが「蓄電池負荷追従放電」もしくは「蓄電池逆潮流放電」のときは、室内リモコンでは、「ECL 蓄電池放電運転中」や「指定電力運転中 蓄電池放電運転中」と表示します。
- ※ 5: インターネット接続状態とは異なります。ネットワーク接続状態は、「室内リモコンでネットワーク接続状態を確認する場合」（88 ページ）を参照してください。
- ※ 6: パワーコンディショナに無線 LAN ルーターを接続しない場合は、ルーターと接続していないアイコン状態「」が常に表示されます。
- ※ 7: ネットワーク接続していない場合は、ご利用中に少しずつずれが発生しますので、定期的に時刻の設定を行ってください。
- ※ 8: 蓄電池ユニットおよび V2H システムを併設していない場合は、表示されません。
- ※ 9: お知らせは未読のままにしないでください。万が一の機器故障時に早期発見、早期対処するためにも日頃から「お知らせ」に未読マーク「」の表示が出た場合はすぐにご確認ください。

■ ホーム画面例 2



B ホーム画面の表示例を示します。

① 太陽光発電アイコン

タッチすると、太陽光に関する設定画面が表示されます。
太陽光発電の電力量は、外付け太陽光発電を併設している場合、「外付け太陽光発電の電力表示」の設定により異なります。（72 ページ）

● 太陽アイコン

	太陽光発電の電力が 100 W 以上の場合に、太陽光パネルアイコンに太陽アイコンを表示します。
--	---

● 太陽光発電電力 [kW]

太陽光発電電力を表示します。



② 車両アイコン^{※1}

タッチすると、V2H システムに関する設定画面が開きます。

● 車両アイコン^{※1}

	コネクタロック状態 車両がコネクタロックされている場合の表示です。車両は赤で表示されます。
	コネクタロック解除状態 車両がコネクタロックされていない場合の表示です。車両はグレーアウト表示されます。

● 車両蓄電池残量 [%]^{※4, ※5}

車両の蓄電池残量を表示します。

● 車両状態および蓄電池充放電電力 [kW]^{※2, ※3, ※4}

放電	100 W 以上電力を車両から放電している場合
充電	100 W 以上電力を車両から充電している場合
待機	充放電を行っていない場合や充放電電力が 100 W 未満の場合
表示なし	停止中やコネクタロック解除中の場合

③ 電力の流れ

各機器間の電力の流れをアニメーションで表示します。

流れなし	100 W 未満 ^{※6}
遅い流れ	100 W 以上 1.0 kW 未満
速い流れ	1.0 kW 以上

④ 蓄電池アイコン^{※7}

タッチすると、蓄電池に関する設定画面が開きます。

● 蓄電池アイコン^{※7}

放電中は緑色に、充電中は橙色に表示します。待機中および停止中、または充放電電力が 100 W より低い場合は、直前の色を表示します。

● 蓄電池残量 [%]

蓄電池の残量を表示します^{※8}。

● 蓄電池状態および蓄電池充放電電力 [kW]

放電	100 W 以上電力を放電している場合
充電	100 W 以上電力を充電している場合
待機	充放電を行っていない場合や充放電電力が 100 W 未満の場合
表示なし	停止中

⑤ 家アイコン

ご家庭内を意味します。タッチすると、各種設定 / グラフに関する設定画面が開きます。

⑥ 電柱アイコン

系統 (電力会社) を意味します。

● 売電・買電の状態および売買電電力 [kW]^{※2, ※3}

売電	100 W 以上電力を売電している場合
買電	100 W 以上電力を買電している場合
表示なし	売買電電力が 100 W 未満の場合

⑦ 制御状態表示

● 電力会社による発電抑制 (出力制御) や HEMS による発電抑制が行われているときに表示されます。表示中は売電量が減る場合があります。

● 外部制御による運転モード (38 ページ)、かつ放電電力を指定されて運転するときに表示されます。

※ 1: V2H システムを併設していない場合は、表示されません。

※ 2: 他の機器 (HEMS など) の値とは異なる場合があります。目安としてご利用ください。

※ 3: 100 W 未満の場合は、0.0 kW と表示します。

※ 4: 車両の値とずれることがあります。異常ではありません。目安としてご利用ください。なお、車種によっては、残量表示が 0% にならない車両があります。

※ 5: コネクタロックされていない場合は、表示しません。

※ 6: 電力が小さい (100 W 未満) 場合でも、センサーの誤差などにより、電力の流れが表示される場合があります。

※ 7: 蓄電池ユニットを併設していない場合は、表示されません。

※ 8: 一度使い切った電池がしばらくすると使える場合があるように、蓄電池特性により、しばらくすると表示が変わることがあります。目安としてご利用ください。

■ ホーム画面例 3



C 室内リモコンの画面構成を示します。
専用アプリで操作や設定をする場合は、室内リモコンでの操作や設定は必要ありません^{※1}。

① 家アイコン

機器情報やグラフの各情報に関するメニューを表示します。

登録情報	63 ページ
設定情報	
通信状態	88 ページ
グラフ ^{※2}	54 ページ
運転停止 / 運転開始	99、103 ページ

② 太陽光パネルアイコン

太陽光発電のメニューを表示します。

太陽光発電設定	72 ページ
---------	--------

③ 現在日時

現在日時の設定画面を表示します。(69 ページ)

④ 車両アイコン^{※2}

V2H システムの設定メニューを表示します。

V2H システム設定	75 ページ
------------	--------

⑤ 蓄電池アイコン^{※2}

蓄電池の設定メニューを表示します。

蓄電池設定	49 ページ
-------	--------

⑥ モードボタン^{※2}

運転開始や運転停止、運転モードに関するメニューを表示します。

運転モード設定 ^{※2}	43 ページ
コネクタロック ^{※2} / コネクタロック解除 ^{※2}	31、36 ページ
充放電時間帯設定	46 ページ

⑦ お知らせボタン

蓄電システムで発生した動作や障害に関する点検コードの履歴や各制御の履歴情報を表示します。

お知らせリスト	115 ページ
抑制履歴	59 ページ
電圧上昇抑制履歴	
出力制御抑制履歴	
HEMS 発電抑制履歴	

※ 1: 停電時に安全を確認してから電気を利用したい場合は、室内リモコンを設置している場合のみ、室内リモコンで設定 (64 ページ) できます。

※ 2: 併設している機器構成により画面構成が異なります。

■ 画面例 (運転モード設定)



D 画面ボタン例を示します。

①

タッチすると機能の説明を表示します。

②

非選択状態のボタンを意味します。

③

選択状態のボタンを意味します。

車両との接続方法

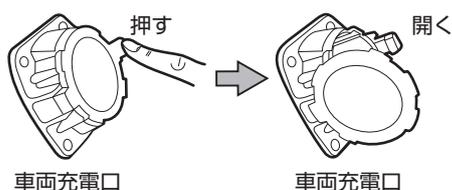
V2Hシステムを併設している場合、車両との接続（コネクタロック）は、車両が停止した状態で行います。車両はパーキング状態で、メーターパネルが消えた状態（POWER OFF）にします。車両との接続（コネクタロック）は、専用アプリ、室内リモコンまたはV2Hシステムのプラグホルダ側操作パネルで操作することができます。

メモ

- POWER OFF の名称は、車種により異なる場合があります。車両の取扱説明書をご参照ください。
- 車両の取扱説明書を確認してから、下記操作を行ってください。

専用アプリで車両と接続する場合

1 車両を準備する

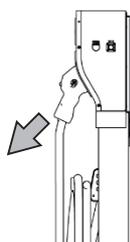


車両のシフトをパーキング（P位置）にします。車両をPOWER OFFにして、車両の充電口を開きます。

メモ

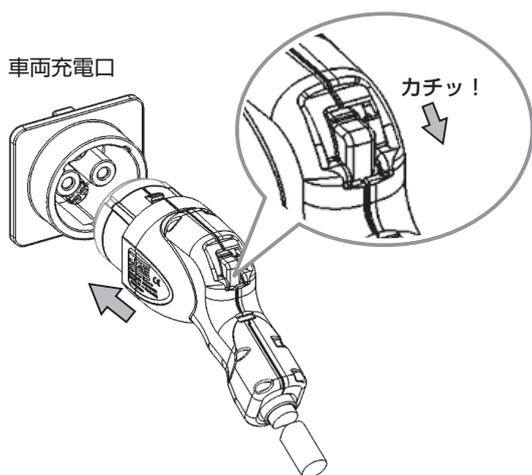
- 車両ごとに操作が異なるため、車両の取扱説明書をご確認ください。

2 プラグホルダから充放電コネクタを取り外す



充放電コネクタのリリースボタンを押しながら、コネクタを引き抜きます。

3 充放電コネクタを車両に接続する

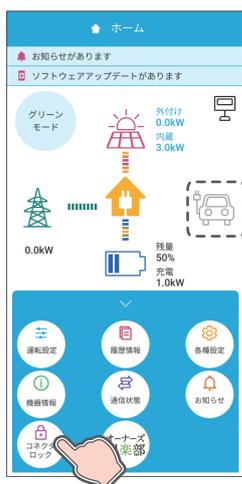


充放電コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

メモ

- コネクタが車両に接続されていない状態では、コネクタロックできません。

4 ホーム画面の「車両アイコン」を確認し、ドロワーメニューの「コネクタロック」をタッチする



車両アイコンがグレイアウト表示されていることを確認し、「コネクタロック」をタッチすると、コネクタロックの確認画面に切り替わります。

「はい」をタッチすると、コネクタロックを行います。コネクタロックに成功すると、「ホーム」画面に戻ります。

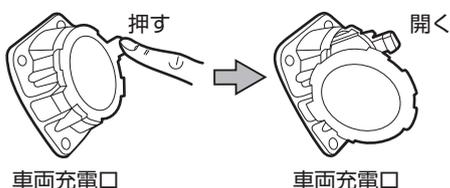
「いいえ」をタッチすると「ホーム」画面に戻ります。

メモ

- コネクタロックは1分程度かかることがあります。
- コネクタロックをした場合は、選択されている運転モードで動作します。別の運転モードで動作させたい場合は、運転モードを変更してください。
- コネクタロック中は、無理にコネクタを取り外さないでください。
- コネクタロックに失敗した場合は、以下を確認してください。
 - V2Hシステムの充放電コネクタが車両に正しく接続されていない場合があります。充放電コネクタの接続を確認してください。
 - プラグホルダのコネクタホルダにはロックできません。車両に正しく接続してください。(19ページ)
 - コネクタロック解除の直後にコネクタロックを行った場合、コネクタロックが失敗することがあります。20秒程度経過後、再度「コネクタロック」をタッチしてください。
- 専用アプリを操作するときは、室内リモコンやV2Hシステムのプラグホルダ側操作パネルでの操作はしないでください。
- 車両の蓄電池残量が10%を下回った状態でコネクタロックを行うと、車両の蓄電池保護のため、運転モードや車両放電下限値に関係なく、自動的に「車両充電」に移行して、車両の蓄電池残量12%程度まで強制的に充電を行います。12%程度まで充電を行った後は、直前の自動運転モードに戻ります。
 - 「車両充電」に移行している間は、ホーム画面上に「車両充電」を表示します。
 - 「車両充電」に移行している間は、運転モードの変更はできません。変更を確定した場合でも、変更内容は本システムには反映されません。「車両充電」終了後に変更してください。
 - 「車両充電」に移行している間であっても、コネクタロックおよびコネクタロック解除は、専用アプリ、室内リモコンまたはV2Hシステムの「操作パネル」で操作することができます。

室内リモコンで車両と接続する場合

1 車両を準備する

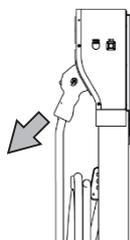


車両のシフトをパーキング (P 位置) にします。車両を POWER OFF にして、車両の充電口を開きます。

メモ

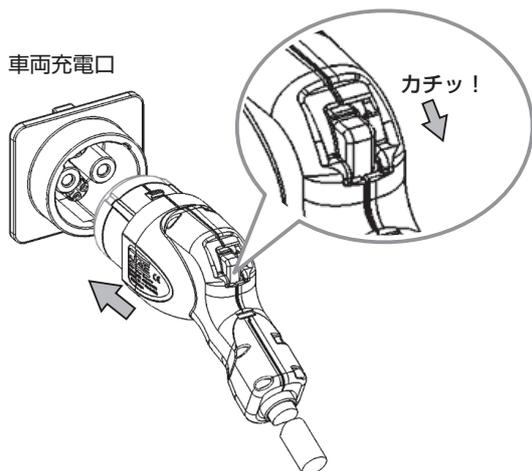
- 車両ごとに操作が異なるため、車両の取扱説明書をご確認ください。

2 プラグホルダから充放電コネクタを取り外す



充放電コネクタのリリースボタンを押しながら、コネクタを引き抜きます。

3 充放電コネクタを車両に接続する

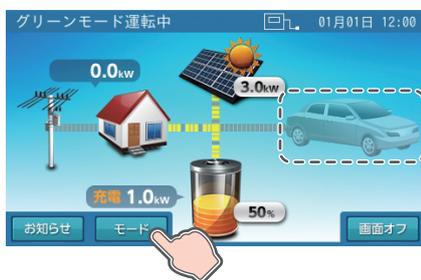


充放電コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

メモ

- コネクタが車両に接続されていない状態では、コネクタロックできません。

4 ホーム画面の「車両アイコン」を確認し、「モード」をタッチする



車両アイコンがグレーアウト表示されていることを確認し、「モード」をタッチすると、「運転モード」画面に切り替わります。

メモ

- 車両がコネクタロック状態の場合、車両アイコンは赤で表示されます。車両がコネクタロックされていない場合、車両アイコンはグレーアウト表示されます。

5 「コネクタロック」をタッチする



コネクタロックの確認画面に切り替わります。「はい」をタッチすると、コネクタロックを行い、「いいえ」をタッチすると、前画面に戻ります。

メモ

- コネクタロックは1分程度かかることがあります。
- コネクタロックをした場合は、選択されている運転モードで動作します。別の運転モードで動作させたい場合は、運転モードを変更してください。
- コネクタロック中は、無理にコネクタを取り外さないでください。
- コネクタロックに失敗した場合は、以下を確認してください。
 - V2Hシステムの充放電コネクタが車両に正しく接続されていない場合があります。充放電コネクタの接続を確認してください。
 - プラグホルダのコネクタホルダにはロックできません。車両に正しく接続してください。
 - コネクタロック解除の直後にコネクタロックを行った場合、コネクタロックが失敗することがあります。20秒程度経過後、再度「コネクタロック」をタッチしてください。
- 車両の蓄電池残量が10%を下回った状態でコネクタロックを行うと、車両の蓄電池保護のため、運転モードや車両放電下限値に関係なく、自動的に「車両充電」に移行して、車両の蓄電池残量12%程度まで強制的に充電を行います。12%程度まで充電を行った後は、直前の自動運転モードに戻ります。
 - 「車両充電」に移行している間は、ホーム画面上に「車両充電」を表示します。
 - 「車両充電」に移行している間は、運転モードの変更はできません。変更を確定した場合でも、変更内容は本システムには反映されません。「車両充電」終了後に変更してください。
 - 「車両充電」に移行している間であっても、コネクタロックおよびコネクタロック解除は、専用アプリ、室内リモコンまたはV2Hシステムの「操作パネル」で操作することができます。

6 運転モード設定画面の「確定」をタッチしてホームに戻る



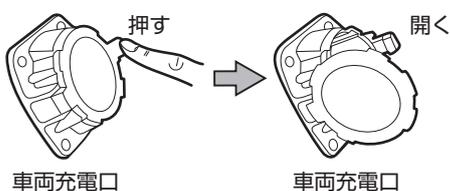
コネクタロックに成功すると、「運転モード設定」画面に切り替わります。「確定」をタッチすると、運転モード設定の確認画面に切り替わります。「はい」をタッチすると変更内容を確定してホーム画面に戻ります。「いいえ」をタッチすると、前画面に戻ります。

メモ

- 「車両充電」はコネクタロックをすると表示され、選択できるようになります。
- 蓄電池ユニットを併設していない場合は、「蓄電池充電」は表示されません。
- 室内リモコンを操作するときは、専用アプリやV2Hシステムのプラグホルダ側操作パネルでの操作はしないでください。

V2H システムの操作パネルで車両と接続する場合

1 車両を準備する

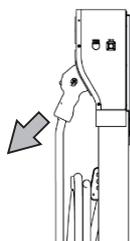


車両のシフトをパーキング（P位置）にします。車両を POWER OFF にして、車両の充電口を開きます。

メモ

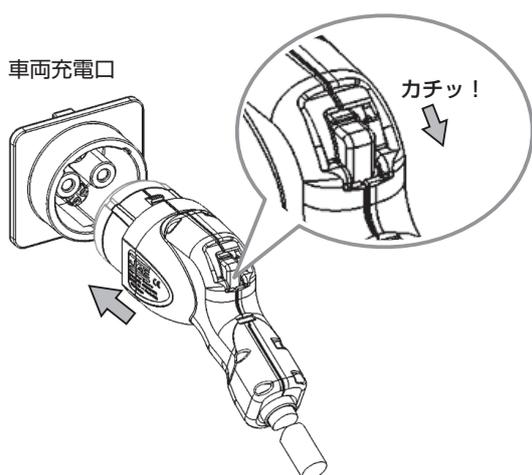
- 車両ごとに操作が異なるため、車両の取扱説明書をご確認ください。

2 プラグホルダから充放電コネクタを取り外す



充放電コネクタのリリースボタンを押しながら、コネクタを引き抜きます。

3 充放電コネクタを車両に接続する

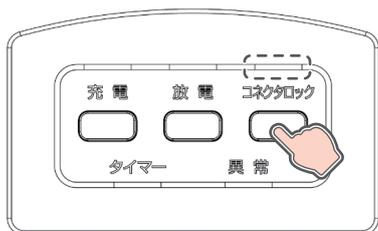


充放電コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

メモ

- コネクタが車両に接続されていない状態では、コネクタロックできません。

4 コネクタをロックする



「コネクタロック」ボタンを押すと、「コネクタロック」LEDが点滅します。
ロックが完了すると「コネクタロック」LEDが点灯します。

メモ

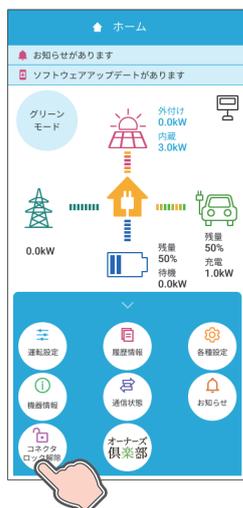
- コネクタロック中は、無理にコネクタを取り外さないでください。
- プラグホルダのコネクタホルダにはロックできません。
- コネクタロック解除した直後にロックするときは、ロックするまで20秒程度かかることがあります。

車両との切断方法

V2H システムを併設している場合、車両との切断 (コネクタロック解除) は専用アプリ、室内リモコンまたは V2H システムのプラグホルダ側操作パネルで操作することができます。

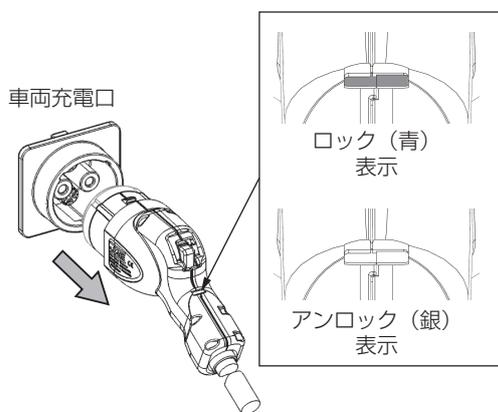
専用アプリで車両と接続を切断する場合

1 ドロワーメニューの「コネクタロック解除」をタッチする



コネクタロック解除の確認画面に切り替わります。「はい」をタッチすると、コネクタロック解除を行い、「いいえ」をタッチすると前画面に戻ります。

2 車両から充放電コネクタを取り外す

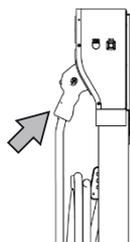


ロック/アンロック表示が青になっていないことを確認します。充放電コネクタのリリースボタンを押しながら、充放電コネクタを引き抜きます。

メモ

- 充電 / 放電中はコネクタを外さないでください。
- コネクタを外すときは、EV パワー・ステーションの動作が停止したことを確認してから外してください。
- リリースボタンが押せないときは、手順 1 に戻ってコネクタのロックを解除してください。また、コネクタが外れないときは「緊急離脱について」(119 ページ) を参照してください

3 プラグホルダに充放電コネクタを収納する



充放電コネクタをコネクタホルダの奥まで差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

メモ

- 雨水やほこりなどを避けるために、使用しないときは充放電コネクタをコネクタホルダに収納して保管してください。

室内リモコンで車両と接続を切断する場合

1 ホーム画面の「車両アイコン」を確認し、「モード」をタッチする



車両アイコンが赤であることを確認し、「モード」をタッチすると、「運転モード設定」画面に切り替わります。

メモ

- 車両がコネクタロック状態の場合、車両アイコンは赤で表示されます。車両がコネクタロックされていない場合、車両アイコンはグレーアウト表示されます。

2 「コネクタロック解除」をタッチする

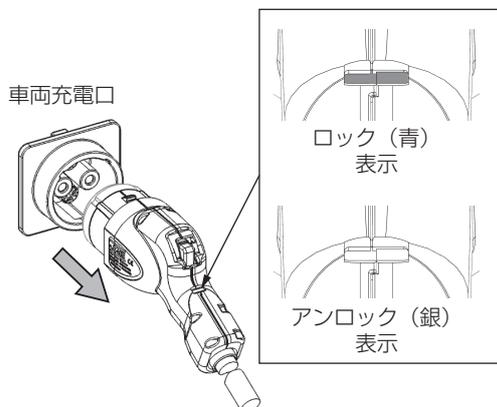


コネクタロック解除の確認画面に切り替わります。「はい」をタッチすると、コネクタロック解除を行い、「いいえ」をタッチすると前画面に戻ります。コネクタロック解除に成功すると、「ホーム」画面に戻ります。

メモ

- 蓄電池ユニットを併設していない場合は、「蓄電池充電」は表示されません。

3 車両から充放電コネクタを取り外す

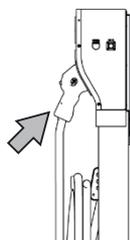


ロック/アンロック表示が青になっていないことを確認します。充放電コネクタのリリースボタンを押しながら、充放電コネクタを引き抜きます。

メモ

- 充電/放電中はコネクタを外さないでください。
- コネクタを外すときは、EVパワー・ステーションの動作が停止したことを確認してから外してください。
- リリースボタンが押せないときは、手順1に戻ってコネクタのロックを解除してください。また、コネクタが外れないときは「緊急離脱について」(119ページ)を参照してください。

4 プラグホルダに充放電コネクタを収納する



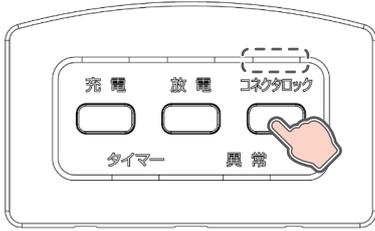
充放電コネクタをコネクタホルダの奥まで差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

メモ

- 雨水やほこりなどを避けるために、使用しないときは充放電コネクタをコネクタホルダに収納して保管してください。

V2H システムの操作パネルで車両と接続を切断する場合

1 コネクタのロックを解除する

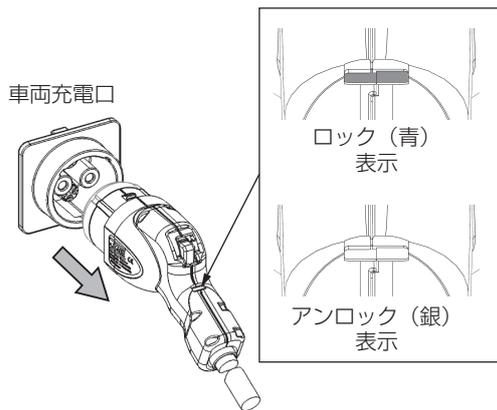


「コネクタロック」ボタンを押すと、「コネクタロック」LED が点滅します。
ロックの解除が完了すると「コネクタロック」LED が消灯します。

メモ

- 車両が充放電動作中にコネクタロック解除をすると、車両の充放電動作を終了してからコネクタのロックを解除します。

2 車両から充放電コネクタを取り外す

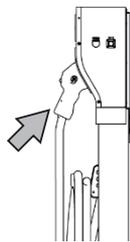


ロック/アンロック表示が青になっていないことを確認します。
充放電コネクタのリリースボタンを押しながら、充放電コネクタを引き抜きます。

メモ

- 充電/放電中はコネクタを外さないでください。
- コネクタを外すときは、EV パワー・ステーションの動作が停止したことを確認してから外してください。
- リリースボタンが押せないときは、手順 1 に戻ってコネクタのロックを解除してください。また、コネクタが外れないときは「緊急離脱について」(119 ページ) を参照してください。

3 プラグホルダに充放電コネクタを収納する



充放電コネクタをコネクタホルダの奥まで差し込みます。
「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

メモ

- 雨水やほこりなどを避けるために、使用しないときは充放電コネクタをコネクタホルダに収納して保管してください。

通常時の使い方

システムの各種運転モードについて

本製品は、外部から制御できる機能を有しています。そのため、お客様が設定した運転モードとは異なる運転モードに切り替わる場合があります。

運転モード	設定できる運転モード	モード説明	
自動運転モード	グリーンモード※ ¹ ★	放電時間帯	太陽光の発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰電力がある場合は、各種設定に関係なく蓄電池ユニットや車両へ充電します。不足分は蓄電池ユニットや車両から放電します。
		充電時間帯	太陽光の余剰電力の有無に関係なく蓄電池ユニットや車両へ充電します。
	売電モード※ ¹	放電時間帯	太陽光の発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰電力がある場合は売電します。不足分は蓄電池ユニットや車両から放電します。
		充電時間帯	太陽光の余剰電力の有無に関係なく蓄電池ユニットや車両へ充電します。
手動運転モード	蓄電池充電※ ²	太陽光の発電状態や時間帯、充電上限設定に関係なく蓄電池ユニットへ充電します。	
	車両充電※ ³	太陽光の発電状態や時間帯、充電上限設定に関係なく車両へ充電します。	

● 外部制御のみの運転モード※⁵ について

外部制御による運転モード	モード説明
蓄電池放電※ ²	太陽光の発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰電力がある場合は売電します。不足分は蓄電池ユニットから放電します。
蓄電池負荷追従放電※ ²	
蓄電池逆潮流放電※ ²	【電力事業者と特定の契約をした場合のみ】 指定された電力で蓄電池ユニットから放電します。蓄電池ユニットの放電電力が逆潮流して電力事業者に供給される場合があります。
車両放電※ ³	太陽光の発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰電力がある場合は売電します。不足分は車両から放電します。
蓄電池・車両同時放電※ ⁴	太陽光の発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰電力がある場合は売電します。不足分は蓄電池ユニットや車両から放電します。

重要 車両の消費電力について【V2Hシステムを併設している場合】

自動運転モードの場合、充放電動作をしない時間帯であっても車両とV2Hシステム間の通信維持のため、車両の蓄電池が電力を消費します。車両の消費電力を抑えたい場合は、コネクタロックを解除してください。

★：製品出荷時の設定は「グリーンモード」です。

※¹：蓄電池ユニットとV2Hシステム、いずれも併設していない場合はご利用いただけません。

太陽光発電システムのみと連携する場合は、「連系運転」で運転します。

連系運転は、太陽光発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰分を売電します。

※²：蓄電池ユニットを併設している場合のみ設定もしくは制御を行います。

※³：V2Hシステムを併設している場合かつ、コネクタロック状態の時のみ設定もしくは制御を行います。

※⁴：蓄電池ユニットおよびV2Hシステムを併設している場合かつ、コネクタロック状態の時のみ、設定もしくは制御を行います。

※⁵：HEMSや見守りサーバーなどの外部制御により運転します。お客様が専用アプリや室内リモコンで設定することはできません。

メモ

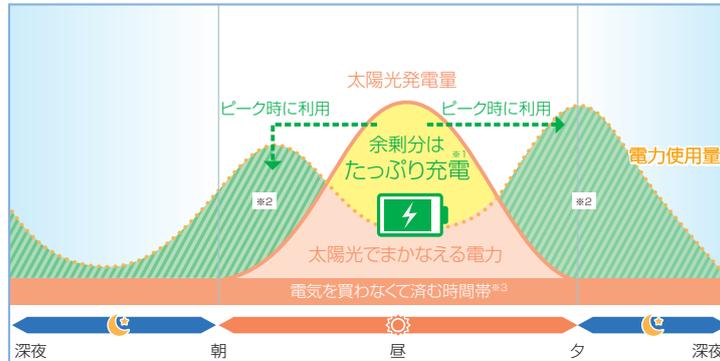
- 太陽光発電がない場合は、グリーンモードおよび売電モードは同じ動作になります。
- 雨天・曇天時は十分な発電電力が確保できず、充電量が少なくなる場合があります。
- 各種設定については以下を参照してください。
 - 充放電時間帯の設定：「システムの充放電時刻を設定する」（45ページ）
 - 蓄電池ユニットの設定：「蓄電池ユニットの充電上限値・放電下限値について」（49ページ）
 - V2Hシステムの設定：「V2Hシステムの詳細設定について」（73ページ）
 - 最大充電電力設定：「機器情報について」（61ページ）

自動運転モード

グリーンモード【QREADY シリーズ共通】

昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰分を蓄電池ユニットや車両に充電します。蓄えた電力は、太陽光の発電電力で補えない場合に家庭内負荷に供給することで、電力会社からの購入電力を減らすモードです。夜間の電気料金が太陽光の売電価格より高い方にお勧めです。なお、蓄電池ユニットとV2Hシステム、いずれも併設していない場合はご利用いただけません。

■ グリーンモード



- ※ 1: ● 満充電後の余剰分は売電します。
 - 蓄電池ユニットの充電電力の低下により、余剰電力の一部が充電できず売電される場合があります。
 - 車両に充電する電力のうち、0.1～0.2 kW 程度売電される場合があります。
- ※ 2: 車両から家庭内負荷に供給する電力のうち、0.1～0.2 kW 程度買電して供給する場合があります。
- ※ 3: ご家庭での電気使用量によって異なります。

- 放電時間帯は、昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に供給し、太陽光発電電力に余剰がある場合は、蓄電池ユニットや車両の各種設定（充電上限値や最大充電電力設定）に関係なく、蓄電池ユニットや車両に充電します。太陽光発電電力が不足している場合や発電電力がない場合は、蓄電池ユニットや車両から放電します。蓄電池ユニットや車両から放電しても不足する場合は、電力会社から買電して家庭内負荷に供給します。

— 蓄電池ユニットとV2Hシステムを併設している場合

太陽光発電電力に余剰がある場合は、「充電優先設定」に従い、蓄電池ユニットや車両の各種設定（充電上限値や最大充電電力設定）に関係なく、蓄電池ユニットや車両へ充電します。なお、太陽光発電電力は、余剰電力の大きさに応じて蓄電池ユニットおよび車両に同時に充電します。

太陽光発電電力が不足している場合や発電電力がない場合は、「車両放電有無」および「放電優先設定」に従い、蓄電池ユニットや車両から放電して家庭内負荷に供給します。

- 充電時間帯は、太陽光発電電力の余剰電力の有無に関係なく、蓄電池ユニットや車両の各種設定（充電優先設定や充電上限値、最大充電電力設定）に従い充電を行います。余剰電力が不足している場合や充電電力を補えない場合は、電力会社から買電して充電を行います。

— 蓄電池ユニットとV2Hシステムを併設している場合

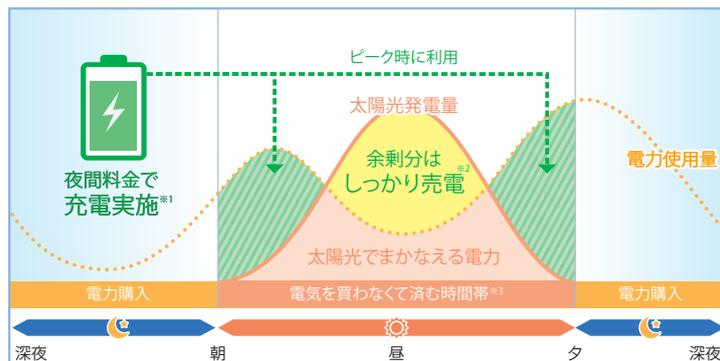
蓄電池ユニットに充電している場合、V2Hシステムはコネクタロック状態で運転を停止します。

- 太陽光発電電力の余剰分は、蓄電池ユニットや車両が満充電の場合や、蓄電池ユニットの充電電力が低下している場合は、充電できずに売電される場合があります。なお、売電中は蓄電池ユニットや車両から放電しません。
- 外付け太陽光発電の余剰電力も余剰充電として利用できますが、余剰電力のうち200W程度は充電には利用せず、必ず売電となります。

売電モード【QREADY シリーズ共通】

昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰分を売電します。電気料金が割安な深夜時間帯に電力会社の電力から充電を行い、蓄電池ユニットからの放電を電気料金が割高な昼間に行うことで、電気料金の節約が可能になります。夜間の電気料金が太陽光の売電価格より安い方にお勧めです。なお、蓄電池ユニットとV2Hシステム、いずれも併設していない場合はご利用いただけません。

■ 売電モード



※ 1: 料金は電力会社やプランによって異なります。

※ 2: 売電価格は年度ごとに決まりますので、詳しくはお買い上げの販売会社にお問い合わせください。

※ 3: ご家庭での電気使用量によって異なります。

- 放電時間帯は、昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰分を売電します。太陽光発電電力が不足している場合や発電電力がない場合は、蓄電池ユニットや車両から放電します。蓄電池ユニットや車両から放電しても不足する場合は、電力会社から買電して家庭内負荷に供給します。なお、売電中は蓄電池ユニットおよび車両から放電しません。

一 蓄電池ユニットとV2Hシステムを併設している場合

蓄電池ユニットおよびV2Hシステムを併設している場合、太陽光発電電力が不足している場合や発電電力がないときは、「車両放電有無」および「放電優先設定」に従い蓄電池ユニットや車両から放電して家庭内負荷に供給します。

- 充電時間帯は、太陽光発電電力の余剰電力の有無に関係なく、蓄電池ユニットや車両の各種設定（充電優先設定や充電上限値、最大充電電力設定）に従い充電を行います。余剰電力が不足している場合や充電電力を補えない場合は、電力会社から買電して充電を行います。

一 蓄電池ユニットとV2Hシステムを併設している場合

蓄電池ユニットに充電している場合、V2Hシステムはコネクタロック状態で運転を停止します。

- 出力制御などにより抑制機能が働いている場合は、太陽光発電電力の余剰分の一部を蓄電池ユニットや車両に充電することがあります。

手動運転モード

蓄電池充電【QREADY シリーズ共通】

「蓄電池充電上限値」の設定に関係なく、「蓄電池最大充電電力設定」に従い蓄電池ユニットへ充電を行うモードです。なお、蓄電池ユニットを併設していない場合はご利用いただけません。

- 太陽光発電電力は蓄電池ユニットへの充電を優先して行います。太陽光発電から蓄電池ユニットへの充電電力が不足する場合は、不足分を電力会社から買電して充電を行います。
- 太陽光発電電力が充電電力を上回っている場合は、家庭内負荷へ電力を供給します。太陽光発電電力が、充電電力と家庭内負荷への両方の電力供給を上回った場合は、余剰分を売電します。なお、蓄電池ユニットの充電電力の低下により、太陽光発電の一部が充電できず売電される場合があります。
- 蓄電池ユニットが満充電になり次第、充電動作を終了し、待機状態になります。待機状態になってから6時間が経過した後、蓄電池充電が設定される直前の自動運転モードで動作します。
- 蓄電池充電中、車両は充放電動作を一切行いません。

車両充電【QREADY シリーズ共通】

「車両最大充電電力設定」に従い車両へ充電を行うモードです。なお、V2Hシステムを併設していない場合やコネクタロック解除時にご利用いただけません。

- 太陽光発電電力は車両への充電を優先して行います。太陽光発電から車両への充電電力が不足する場合は、不足分を電力会社から電力を買電して充電を行います。
- 太陽光発電電力が充電電力を上回っている場合は、家庭内負荷へ電力を供給します。太陽光発電電力が、充電電力と家庭内負荷への両方の電力供給を上回った場合は、余剰分を売電します。
- 車両が満充電になり次第、充電動作を終了し、車両のコネクタロックを解除して待機状態になります。待機状態になってから6時間が経過した後、車両充電が設定される直前の自動運転モードで動作します。
- 車両充電中、蓄電池ユニットは充放電動作を一切行いません。

外部制御のみの運転モード

外部制御による以下4つの放電モードは、お客様が専用アプリや室内リモコンで設定することはできません。

蓄電池放電【QREADY-R59-1】/ 蓄電池負荷追従放電【QREADY-R59-2】

蓄電池ユニットから放電を行うモードです。なお、蓄電池ユニットを併設していない場合は本モードでは動作しません。

- 太陽光発電電力は家庭内負荷への供給を優先して行き余剰分を売電します。売電中は蓄電池ユニットは充放電を行いません。太陽光発電が不足している場合や発電電力がない場合は、蓄電池ユニットから放電します。蓄電池ユニットから放電しても不足する場合は、電力会社から買電して家庭内負荷に供給します。
- 蓄電池ユニットが「蓄電池放電下限値」になり次第、放電動作を終了し、待機状態になります。待機状態になってから6時間が経過した後、蓄電池放電/蓄電池負荷追従放電が設定される直前の自動運転モードで動作します。
- 蓄電池放電中/蓄電池負荷追従放電中、車両は充放電動作を一切行いません。

蓄電池逆潮流放電【QREADY-R59-2のみ】

外部からの制御により指定された電力で蓄電池ユニットから放電を行うモードです。なお、蓄電池ユニットを併設していない場合や電力事業者と特定の契約をしていない場合は本モードでは動作しません。

- 太陽光発電電力と蓄電池放電電力の合計が家庭内負荷より大きい場合、上回った分を逆潮流して電力事業者に供給します。
- 太陽光発電電力と蓄電池放電電力の合計が家庭内負荷より小さい場合、下回った分を買電します。
- 蓄電池ユニットが「蓄電池放電下限値」になり次第、放電動作を終了し、待機状態になります。待機状態になってから6時間が経過した後、蓄電池逆潮流放電が設定される直前の自動運転モードで動作します。
- 蓄電池逆潮流放電中、車両は充放電動作を一切行いません。

車両放電【QREADY シリーズ共通】

車両から放電を行うモードです。なお、V2Hシステムを併設していない場合やコネクタロック解除時は本モードでは動作しません。

- 太陽光発電電力は家庭内負荷への供給を優先して行き余剰分を売電します。売電中は車両は充放電を行いません。太陽光発電が不足している場合や発電電力がない場合は、車両から放電します。車両から放電しても不足する場合は、電力会社から買電して家庭内負荷に供給します。
- 車両の蓄電池残量が特定の下限值(73、76ページ)になり次第、放電動作を終了し、車両のコネクタロックを解除して待機状態になります。待機状態になってから6時間が経過した後、車両放電が設定される直前の自動運転モードで動作します。
- 車両放電中、蓄電池は充放電動作を一切行いません。

蓄電池・車両同時放電【QREADY シリーズ共通】

蓄電池ユニットや車両から放電を行うモードです。なお、蓄電池ユニットとV2Hシステム、いずれも併設していない場合や車両がコネクタロック解除時は本モードでは動作しません。

- 太陽光発電電力は家庭内負荷への供給を優先して行き余剰分を売電します。売電中は蓄電池ユニットおよび車両は充放電を行いません。太陽光発電が不足している場合や発電電力がない場合は、「車両放電有無」および「放電優先設定」に従い蓄電池ユニットや車両から放電します。蓄電池ユニットや車両から放電しても不足する場合は、電力会社から買電して家庭内負荷に供給します。

放電中の動作について

電力会社との取り決めにより、本システムは放電中に微量電力を買電します。



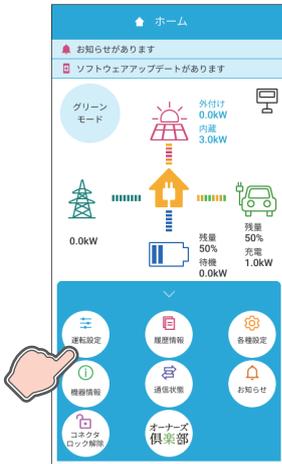
- 太陽光発電システムと異なり、送電線へ電力を逆流させない決まりとなっています。
- 負荷容量が100W未満の場合および負荷容量と太陽光発電容量が均等になる場合は、専用アプリや室内リモコンの表示が放電と待機で繰り返し切り替わることがあります。
- 発電電力が多く、売電電力が定格出力を超える場合には、蓄電池ユニットや車両が充電できる状態であれば、定格出力を超える電力を、自動的に充電します。
- 太陽光発電、蓄電池ユニットまたは車両から放電中に外部環境や間欠動作をする負荷等の影響によって、200W程度の買電が発生する場合があります。

システムの運転モードを選ぶ（連系時）

システムの運転モードは、専用アプリまたは室内リモコンで設定することができます。

専用アプリでシステムの運転モードを選ぶ場合

1 ドロワーメニューの「運転設定」をタッチする

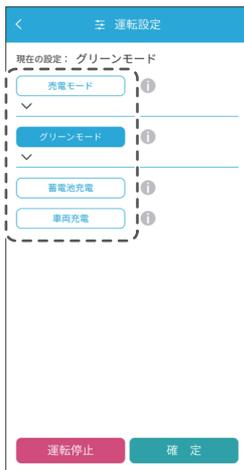


「運転設定」画面に切り替わります。

メモ

- 蓄電池ユニットおよび V2H システムを併設していない場合は、本設定を行うことはできません。

2 選択したい運転モードをタッチする



システムの運転モードをお客様のお好みに合わせて選択してください。運転モードは、表示されているボタンのみ選択できます。

通常は自動運転モードを選択してください。(38 ページ参照)

自動運転モード	グリーンモード★
	売電モード
手動運転モード	蓄電池充電※ ¹
	車両充電※ ²

★：製品出荷時の設定値

※¹：蓄電池ユニットを併設している場合のみ設定できます。

※²：V2H システムを併設している場合かつ、コネクタロック状態の場合のみ設定できます。

重要

V2H システムを併設している場合、充放電時間帯中は、充放電を行っていない場合でも車両と V2H システム間の通信維持のため、車両の蓄電池が電力を消費します。

メモ

- 蓄電池ユニットを併設していない場合、「蓄電池充電」は表示されません。
- V2H システムを併設していない場合、「車両充電」は表示されません。
- V2H システムを併設している場合でコネクタロックが解除状態のときは、「車両充電」は表示されません。選択したい場合は、コネクタロック状態にしてください。

3 変更内容を確定する



「確定」をタッチすると、運転モードの確認画面に切り替わります。「確定」をタッチすると変更内容を確定してホーム画面に戻ります。「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。

メモ

- 運転設定を変更した状態でナビゲーションバーの「<」（戻るボタン）をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「確定」または「戻る」をタッチすると、「ホーム」画面または「運転設定」画面に戻ります。

室内リモコンでシステムの運転モードを選ぶ場合

1 ホーム画面の「モード」をタッチする



「運転モード設定」画面に切り替わります。

メモ

- 蓄電池ユニットおよび V2H システムを併設していない場合は、本設定を行うことはできません。

2 選択したい運転モードをタッチする



システムの運転モードをお客様のお好みに合わせて選択してください。運転モードは、表示されているボタンのみ選択できます。通常は自動運転モードを選択してください。(38 ページ参照)

自動運転モード	グリーンモード★
	売電モード
手動運転モード	蓄電池充電※ ¹
	車両充電※ ²

★：製品出荷時の設定値

※¹：蓄電池ユニットを併設している場合のみ設定できます。

※²：V2H システムを併設している場合かつ、コネクタロック状態の場合のみ設定できます。

重要

V2H システムを併設している場合、充放電時間帯中は、充放電を行っていない場合でも車両と V2H システム間の通信維持のため、車両の蓄電池が電力を消費します。

メモ

- 蓄電池ユニットを併設していない場合、「蓄電池充電」は表示されません。
- V2H システムを併設していない場合、「車両充電」は表示されません。
- V2H システムを併設している場合でコネクタロックが解除状態のときは、「車両充電」は表示されません。選択したい場合は、コネクタロック状態にしてください。
- V2H システムを併設している場合、運転モード設定画面を操作中は、V2H システムのプラグホルダ側操作パネルでコネクタロックを解除しないでください。途中で解除した場合は、運転モードが正しく設定されない可能性があります。

3 変更内容を確定する



「確定」をタッチすると、運転モードの確認画面に切り替わります。「はい」をタッチすると変更内容を確定してホーム画面に戻ります。「いいえ」をタッチすると前画面に戻ります。

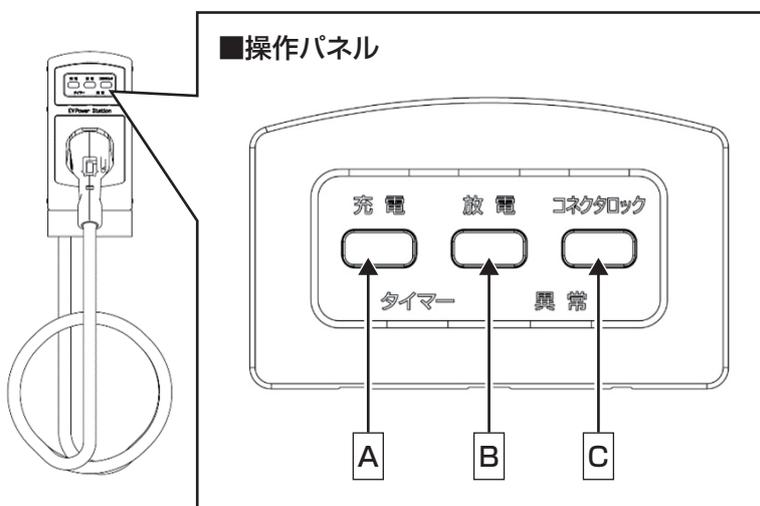
メモ

- 運転モードを変更した状態で「キャンセル」をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「はい」または「いいえ」をタッチすると、「ホーム」画面または「運転モード設定」画面に戻ります。

V2H システムの操作パネルでシステムの運転モードを選ぶ場合

V2H システムのプラグホルダ側操作パネルのボタンをタッチすると、現在の運転モード状態に応じて運転モードおよび車両状態を変更します。

■ プラグホルダ



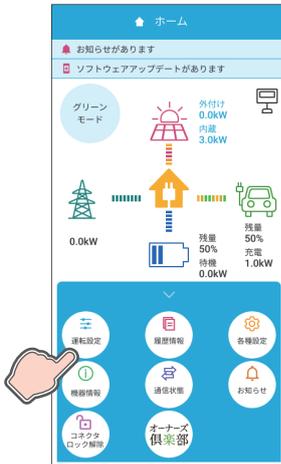
	① 現在の運転モード状態		→	V2H システム操作パネルのボタンをタッチ	→	③ 変更後の運転モード状態	
	運転モード	車両状態				運転モード	車両状態
1	グリーンモード	コネクタロック	→	充電 (A)	→	車両充電	コネクタロック
2			→	放電 (B)	→	グリーンモード	コネクタロック解除
3			→	コネクタロック (C)	→	グリーンモード	コネクタロック解除
4		コネクタロック解除	→	充電 (A)	→	車両充電	コネクタロック
5			→	放電 (B)	→	グリーンモード	コネクタロック
6			→	コネクタロック (C)	→	グリーンモード	コネクタロック
7	売電モード	コネクタロック	→	充電 (A)	→	車両充電	コネクタロック
8			→	放電 (B)	→	売電モード	コネクタロック解除
9			→	コネクタロック (C)	→	売電モード	コネクタロック解除
10		コネクタロック解除	→	充電 (A)	→	車両充電	コネクタロック
11			→	放電 (B)	→	売電モード	コネクタロック
12			→	コネクタロック (C)	→	売電モード	コネクタロック
13	蓄電池充電	コネクタロック	→	充電 (A)	→	車両充電	コネクタロック
14			→	放電 (B)	→	蓄電池充電	コネクタロック解除
15			→	コネクタロック (C)	→	蓄電池充電	コネクタロック解除
16		コネクタロック解除	→	充電 (A)	→	車両充電	コネクタロック
17			→	放電 (B)	→	蓄電池充電	コネクタロック
18			→	コネクタロック (C)	→	蓄電池充電	コネクタロック
19	車両充電	コネクタロック	→	充電 (A)	→	最後に指定された自動運転モード	コネクタロック解除
20			→	放電 (B)	→	最後に指定された自動運転モード	コネクタロック解除
21			→	コネクタロック (C)	→	最後に指定された自動運転モード	コネクタロック解除

システムの充放電時刻を設定する

自動運転モードの充放電開始時刻および停止時刻は、運転モードごとに、専用アプリまたは室内リモコンで設定することができます。

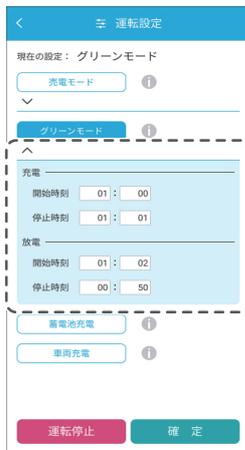
専用アプリで充放電時刻を設定する場合

1 ドロワーメニューの「運転設定」をタッチする



「運転設定」画面に切り替わります。

2 設定したい運転モードの [v] をタッチして充放電時間を入力する



- 製品出荷時の設定値：

	グリーンモード ^{※4}	売電モード
充電開始時刻／停止時刻 ^{※1}	01:00～01:01	01:00～05:59
放電開始時刻／停止時刻 ^{※2}	01:02～00:50	06:00～00:50

※ 1: 蓄電池ユニットまたは車両に電力会社の電力で充電するときの開始時刻^{※3} / 停止時刻

※ 2: 蓄電池ユニットまたは車両から放電するときの開始時刻^{※3} / 停止時刻^{※4}

※ 3: V2H システムを併設している場合、自動運転モードの充電開始時および放電開始時に、自動的にコネクタロックを行います。車両と接続していない、もしくはコネクタロックに失敗すると、点検コード「B1951」（112 ページ）を表示します。

※ 4: 運転モードが「グリーンモード」設定かつ太陽光発電がある場合、太陽光発電電力の余剰分は放電時間帯に蓄電池ユニットに充電されます。グリーンモードの太陽光発電電力で充電する開始 / 停止時刻ではありません。太陽光発電電力での充電は、放電時間帯で太陽光発電がある場合に実施されます。なお、蓄電池ユニットおよび車両の充電電力低下により、余剰電力の一部が充電できず売電される場合があります。

- 充放電時間帯の合計は 23 時間 50 分以内としてください。
- 充放電時間帯が重複しないように設定してください。

メモ

- 「売電モード」「グリーンモード」は、それぞれ別の時刻を設定できます。
- グリーンモード利用時に充電時間帯を長く設定すると、昼間の太陽光発電電力による充電があまりできなくなります。夜間の電力会社の電力による充電で満充電にならないよう、充電時間を短く設定するか、「蓄電池充電上限値」（49 ページ）や「車両充電上限値」（73 ページ）の設定をご利用ください。
- 売電モード利用時に充電時間帯を短く設定すると、蓄電池ユニットおよび車両が 100% まで充電できない場合があります。
- 蓄電池ユニットおよび V2H システムを併設している場合は、充放電の優先設定を蓄電池または車両から選択できます。（73、74 ページ）

3 変更内容を確定する



「確定」をタッチすると、運転モードの確認画面に切り替わります。「はい」をタッチすると変更内容を確定してホーム画面に戻ります。「いいえ」をタッチすると前画面に戻ります。

メモ

- 充放電時間帯を変更した状態でナビゲーションバーの「<」(戻るボタン)をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「はい」または「いいえ」をタッチすると、「ホーム」画面または「運転設定」画面に戻ります。

室内リモコンで充放電時刻を設定する場合

1 ホーム画面の「モード」をタッチする



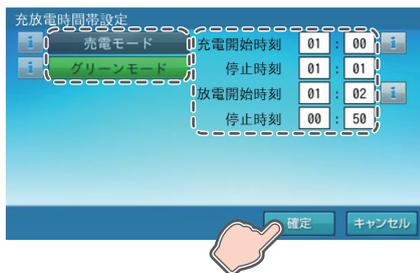
「運転モード設定」画面に切り替わります。

2 「運転モード設定」画面の「充放電時間帯設定」をタッチする



「充放電時間帯設定」画面に切り替わります。

3 選択したい運転モードを選択し、充放電時間を設定する



変更したい項目の時刻をタッチすると、時刻入力画面に切り替わります。

- 製品出荷時の設定値：

	グリーンモード ^{*4}	売電モード
充電開始時刻／停止時刻 ^{*1}	01:00～01:01	01:00～05:59
放電開始時刻／停止時刻 ^{*2}	01:02～00:50	06:00～00:50

- ※ 1: 蓄電池ユニットまたは車両に電力会社の電力で充電するときの開始時刻^{*3} / 停止時刻
- ※ 2: 蓄電池ユニットまたは車両から放電するときの開始時刻^{*3} / 停止時刻^{*4}
- ※ 3: V2H システムを併設している場合、自動運転モードの充電開始時および放電開始時に、自動的にコネクタロックを行います。車両と接続していない、もしくはコネクタロックに失敗すると、点検コード「B1951」(112 ページ) を表示します。
- ※ 4: 運転モードが「グリーンモード」設定かつ太陽光発電がある場合、太陽光発電電力の余剰分は放電時間帯に蓄電池ユニットに充電されます。グリーンモードの太陽光発電電力で充電する開始 / 停止時刻ではありません。太陽光発電電力での充電は、放電時間帯で太陽光発電がある場合に実施されます。なお、蓄電池ユニットおよび車両の充電電力低下により、余剰電力の一部が充電できず売電される場合があります。

- 充放電時間帯の合計は 23 時間 50 分以内としてください。
- 充放電時間帯が重複しないように設定してください。

メモ

- 「売電モード」「グリーンモード」は、それぞれ別の時刻を設定できます。
- グリーンモード利用時に充電時間帯を長く設定すると、昼間の太陽光発電電力による充電があまりできなくなります。夜間の電力会社の電力による充電で満充電にならないよう、充電時間を短く設定するか、「蓄電池充電上限値」(49 ページ) や「車両充電上限値」(75 ページ) の設定をご利用ください。
- 売電モード利用時に充電時間帯を短く設定すると、蓄電池ユニットおよび車両が 100% まで充電できない場合があります。
- 蓄電池ユニットおよび V2H システムを併設している場合は、充放電の優先設定を蓄電池または車両から選択できます。(76 ページ)

4 数字キーで時刻を設定し、「決定」をタッチする

■ 放電時刻設定画面例



時刻を設定します。

数字キーをタッチすると、新しい時刻を入力できます。矢印キー「←」「→」をタッチすると、時刻のカーソルが移動します。「決定」をタッチすると「充放電時間帯設定」画面に切り替わります。

メモ

- 「キャンセル」をタッチすると「充放電時間帯設定」画面に戻ります。
- カーソルがある位置で「消去」をタッチすると入力文字を消すことができます。
- 充放電時間帯の合計は、23 時間 50 分以内としてください。
- 充放電時間は重複して設定できません。

5 充放電時間帯設定画面の「決定」をタッチする



「決定」をタッチすると、充放電時間帯変更の確認画面に切り替わります。「はい」をタッチすると、「運転モード設定」画面に切り替わります。「いいえ」をタッチすると「充放電時間帯設定」画面に戻ります。

メモ

- 充電時間と放電時間の合計は、23 時間 50 分以内に設定してください。範囲外の設定をすると確認画面が表示されるので、「戻る」をタッチして再設定してください。
- 充電と放電の時間帯が重複しないように設定してください。誤った設定をすると確認画面が表示されるので、「戻る」をタッチして再設定してください。
- 充放電時間帯を変更した状態で「キャンセル」をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「はい」または「いいえ」をタッチすると、「運転モード設定」画面または「充放電時間帯設定」画面に戻ります。

6 運転モード設定画面の「確定」をタッチする



「運転モード設定」画面で「確定」をタッチすると、運転モード設定確定の確認画面に切り替わります。

「はい」をタッチすると、「ホーム」画面に戻ります。

「いいえ」をタッチすると「運転モード設定」画面に戻ります。

メモ

- 充放電時間帯を変更した状態で「キャンセル」をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「はい」または「いいえ」をタッチすると、「ホーム」画面または「運転モード設定」画面に戻ります。
- V2Hシステムを併設している場合、運転モード設定画面を操作中は、V2Hシステムのプラグホルダ側操作パネルでコネクタロックを解除しないでください。

蓄電池ユニットの充電上限値・放電下限値について

蓄電池ユニットを併設している場合のみ設定できます。自動運転モードの充放電時間帯中に、蓄電池ユニットの残量が設定した値に到達した時点で、充電および放電を停止させることができます。

蓄電池充電上限値

電力会社の電力で充電する際に、指定した上限値で充電を停止する設定です。グリーンモード利用時に太陽光発電の余剰電力をできるだけ多く充電できるように、電力会社の電力で充電する容量を少なくしたい場合などに設定してください。

- 自動運転モードの充電時間帯は、本設定値まで充電を行います。
- グリーンモードの放電時間帯で太陽光発電電力による余剰充電を行う場合や手動運転モードの「蓄電池充電」の場合は、本設定の対象外となり、100%まで充電を行います。

蓄電池充電上限値	20%、30%、40%、50%、60%、70%、80%、90%、100%★
----------	---------------------------------------

★：製品出荷時の設定値

- 蓄電池が長期間充電状態にならなかった場合は、蓄電池の性能維持のため、充電時間帯に上限設定機能を OFF にして充電を行います。上限設定機能を OFF にする際に点検コード「BI459」が表示されますが、エラー解除の操作は必要ありません。蓄電池残量が 100% に達すると点検コード「BI460」が表示され、その後は設定されている蓄電池充電上限値で動作します。なお、蓄電池残量が 100% に達するまで上限設定機能は OFF のままとなりますので、元の動作に戻らない場合は、「蓄電池ユニットや車両が 100% まで充電できない場合」（91 ページ）を参照のうえ、100% まで充電できるよう各種設定を確認してください。

メモ

- 通常時に蓄電池残量が設定値 -5% 未満の場合は、誤作動防止のため充電を開始しません。

蓄電池放電下限値（非常時安心設定）

停電が発生しても、蓄電池から電気が使えるよう普段から設定した割合の充電残量を常に残しておく設定です。もしもの停電や、台風、計画停電などの停電にあらかじめ備えるときは、設定を切り替えることで、安心してお使いいただけます。

なお、設定後から蓄電池残量の制御を開始するため、必要の際は前日までに切り替えてください。

蓄電池放電下限値 （非常時安心設定）	オフ、30%★、40%、50%、60%、70%、80%、90%、100%
-----------------------	--------------------------------------

★：製品出荷時の設定値

メモ

- 通常時に蓄電池残量が設定値 +5% 未満の場合は、誤作動防止のため放電を開始しません。
- 停電中や充電時間が極端に短くなるような、充電できない状態が続く場合、あるいは蓄電池ユニットの環境温度が低い場合には、蓄電池放電下限値（非常時安心設定）の指定蓄電池残量を下回ることがあります。

重要 「ご注意ください」

蓄電池放電下限値（非常時安心設定）を「オフ」にすると、深夜に充電した料金の安い電力をすべて使うことができますが、停電時に蓄電池残量がない場合、翌日の太陽光が発電するまで停電中は電気が使用できません。

蓄電池ユニットの充電上限値・放電下限値を設定する

蓄電池ユニットの充電上限値・放電下限値は、専用アプリまたは室内リモコンで設定することができます。

専用アプリで充電上限値・放電下限値を設定する場合

1 ドロワーメニューの「各種設定」→「蓄電池設定」をタッチする

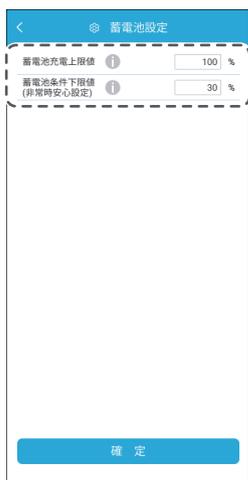


「蓄電池設定」画面に切り替わります。

メモ

- 蓄電池ユニットを併設していない場合、「蓄電池設定」は選択できません。

2 「蓄電池充電上限値」・「蓄電池放電下限値（非常時安心設定）」を設定する

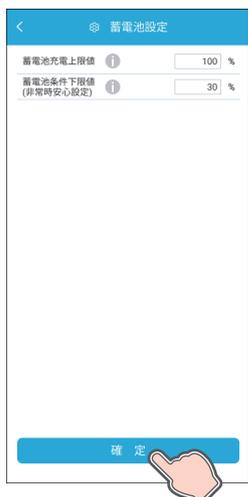


蓄電池充電上限値、蓄電池放電下限値（非常時安心設定）の値をタッチしてドロップダウンで選択します。

蓄電池充電上限値	20%、30%、40%、50%、60%、70%、80%、90%、100%★
蓄電池放電下限値（非常時安心設定）	オフ、30%★、40%、50%、60%、70%、80%、90%、100%

★：製品出荷時の設定値

3 変更内容を確定する



「確定」をタッチすると、蓄電池設定の確認画面に切り替わります。「はい」をタッチすると変更内容を確定してホーム画面に戻ります。「いいえ」をタッチすると前画面に戻ります。

メモ

- 蓄電池設定を変更した状態でナビゲーションバーの「<」（戻るボタン）をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「はい」または「いいえ」をタッチすると、「ホーム」画面または「蓄電池設定設定」画面に戻ります。

室内リモコンで充電上限値・放電下限値を設定する場合

1 ホーム画面の「蓄電池アイコン」をタッチする



「蓄電池設定」画面に切り替わります。

メモ

- 蓄電池ユニットを併設していない場合は、蓄電池アイコンは表示されませんので、本設定を行うことはできません。

2 「蓄電池充電上限値」・「蓄電池放電下限値（非常時安心設定）」を設定する



蓄電池充電上限値、蓄電池放電下限値（非常時安心設定）の「◀」「▶」をタッチして設定を変更します。

蓄電池充電上限値	20%、30%、40%、50%、60%、70%、80%、90%、100%★
蓄電池放電下限値 (非常時安心設定)	オフ、30%★、40%、50%、60%、70%、80%、90%、100%

★：製品出荷時の設定値

3 変更内容を確定する



「確定」をタッチすると、蓄電池設定確定の確認画面に切り替わります。「はい」をタッチすると、「ホーム」画面に戻り、「いいえ」をタッチすると前画面に戻ります。

メモ

- 蓄電池設定を変更した状態で「キャンセル」をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「はい」または「いいえ」をタッチすると、「ホーム」画面または「蓄電池設定」画面に戻ります。

各グラフについて

発電 / 売買電グラフ・数値※¹

太陽光の発電電力量 (kWh) および売電電力量 (kWh)、買電電力量 (kWh) を表示します。(53、54 ページ)
専用アプリでは、「売買電グラフ」と表示される場合があります。
太陽電池モジュールを併設していない場合も表示します。

蓄電池充放電グラフ・数値※¹

蓄電池の充電電力量 (kWh) および放電電力量 (kWh)、蓄電池の電池残量 (%) を表示します。(53、54 ページ)
専用アプリでは、「蓄電池グラフ」と表示される場合があります。
蓄電池ユニットを併設していない場合は表示しません。

車両充放電グラフ・数値※¹

車両の充電電力量 (kWh) および放電電力量 (kWh)、車両の電池残量 (%) を表示します。(53、54 ページ)
専用アプリでは、「車両グラフ」と表示される場合があります。
V2H システムを併設していない場合は表示しません。

※ 1: 各グラフの数値表示は、専用アプリのみ対応です。

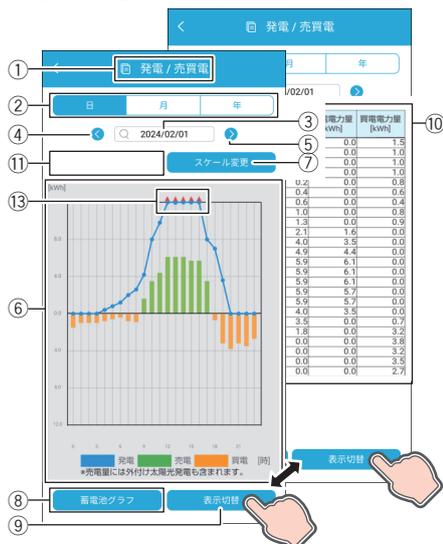
メモ

- 本システムの設置時から現在までの過去最大 10 年間相当のグラフを表示し、10 年を超えると古い日付のデータから削除されます。
- 「発電 / 売買電グラフ」において、外付け太陽光発電が「あり」および外付け太陽光発電の電力表示が「合算」(70、72 ページ) の場合、画面上部に「売電量には、外付け太陽光発電も含まれます。」と表示します。
- グラフおよび表示量は目安です。測定条件などの違いにより、他の機器 (HEMS など) と異なる場合があります。
- 日時設定を変更したときは、一部またはすべてのデータが削除または上書きされます。HEMS や NTP との時刻同期により日時設定が変更されたときも同様です。
- パワーコンディショナの修理・交換を行った場合、各グラフのデータがリセットされる場合があります。
- 各電力量は、電力量に応じた縦目盛りでグラフを表示します。
 - 蓄電池充放電グラフは、蓄電池の最大充電電力値 (62、64 ページ) の設定状況に応じて縦目盛りが異なります。
 - 縦目盛り (スケール) の変更は、専用アプリのみ対応 (53 ページ) です。室内リモコンは電力量に応じた縦目盛りで自動的にグラフを表示します。

グラフ	設定条件	日別	月別	年別
発電 / 売買電グラフ		6 kWh / 12 kWh	30 kWh / 60 kWh / 90 kWh	600 kWh / 1200 kWh / 2400 kWh
蓄電池充放電グラフ	蓄電池最大充電電力値が 3.0 kW 未満の場合	3 kWh	6 kWh / 12 kWh	60 kWh / 120 kWh / 240 kWh
	蓄電池最大充電電力値が 3.0 kW 以上の場合	6 kWh	12 kWh / 24 kWh	300 kWh / 600 kWh / 1200 kWh
車両充放電グラフ		6 kWh / 12 kWh	12 kWh / 24 kWh / 48 kWh	300 kWh / 600 kWh / 1200 kWh

専用アプリの各グラフについて

■ 発電 / 売買電グラフ・数値例

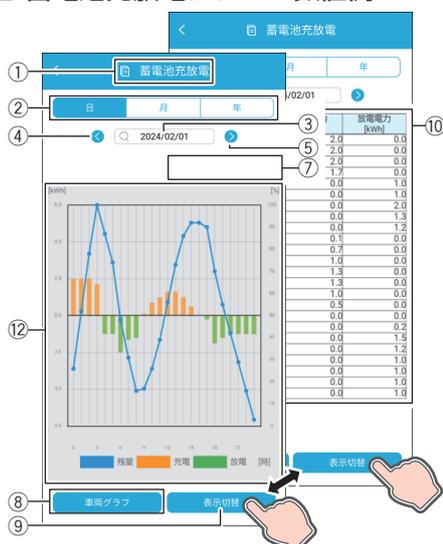


- ① **グラフ名称**
種類を表示します。
- ② **表示期間切替**
日 / 月 / 年をタッチすると、日別 / 月別 / 年別に表示期間が切り替わります。
- ③ **年月日**
タッチするとカレンダーから日付を選択できます。
- ④ **前へ**
前日 / 前月 / 前年を表示します。
- ⑤ **次へ**
翌日 / 翌月 / 翌年を表示します。
- ⑥ **電力量 [kWh] (発電 / 売買電グラフ)**
電力量を表示します。

発電電力量	折れ線グラフで上側に表示
売電電力量	棒グラフ (緑色) で上側に棒の長さで表示
買電電力量	棒グラフ (橙色) で下側に棒の長さで表示

- ⑦ **スケール変更**
タッチすることで表示スケールを変更して表示します。
- ⑧ **グラフ切替^{※1}**
次に表示されるグラフ名を表示します。タッチするとグラフ種類を変更して表示します。
- ⑨ **表示切替**
タッチするとグラフ / 数値に表示が切り替わります。

■ 蓄電池充放電グラフ・数値例

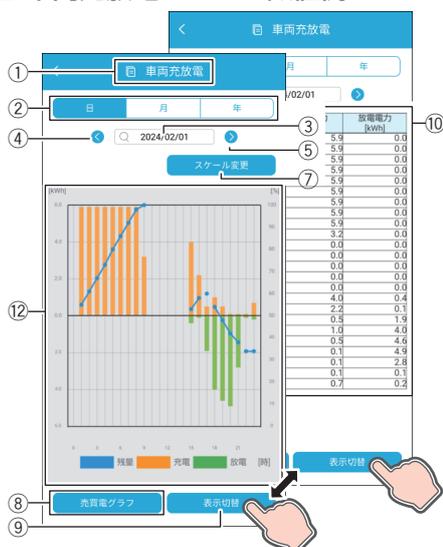


- ⑩ **数値表示**
数値で表示します。
- ⑪ **積算発電量 [kWh]**
月別表示のときは「月間発電量」、年別表示のときは「総積算発電量」を表示します。日別の場合には表示されません。
- ⑫ **電力量 [kWh] / 残量 [%] (蓄電池充放電グラフ) (車両充放電グラフ)**
電力量を表示します。

充電電力量	棒グラフ (橙色) で上側に棒の長さで表示
放電電力量	棒グラフ (緑色) で下側に棒の長さで表示
残量	折れ線グラフで下側に表示

- ⑬ **▲▼表示**
表示範囲を超えた場合に表示します。

■ 車両充放電グラフ・数値例



※ 1: 併設している機器構成により画面構成が異なります。

室内リモコンの各グラフについて

■ 発電 / 売買電グラフ



① 電力量 [kWh] (発電 / 売買電グラフ)

電力量を表示します^{※1}。

発電電力量	折れ線グラフで上側に表示
売電電力量	棒グラフ (緑色) で上側に棒の長さで表示
買電電力量	棒グラフ (橙色) で下側に棒の長さで表示

② 積算発電量 [kWh]

月別表示のときは「月間発電量」、年別表示のときは「総積算発電量」を表示します。日別の場合は表示されません。

③ 日付表示

表示しているグラフの日付を表示します。日付を変更したい場合は、ここをタッチしてください。「日付入力画面」に切り替わります。

④ ▲▼表示

表示範囲を超えた場合に表示します。

⑤ グラフ切替

グラフ種類を変更して表示します。

⑥ 表示期間切替

「日別」⇒「月別」⇒「年別」⇒「日別」の順に切り替わります。

⑦ 前日 / 翌日

表示されているグラフの前日 / 翌日のグラフを表示します。月別表示のときは月ごと、年別表示のときは年ごとに表示が切り替わります。

⑧ 戻る

「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。

■ 蓄電池充放電グラフ



■ 車両充放電グラフ



⑨ 電力量 [kWh] / 残量 [%] (蓄電池充放電グラフ) (車両充放電グラフ)

電力量を表示します^{※1}。

充電電力量	棒グラフ (橙色) で上側に棒の長さで表示
放電電力量	棒グラフ (緑色) で下側に棒の長さで表示
残量	折れ線グラフで下側に表示

⑩ 残量表示 [%] (蓄電池充放電グラフ / 車両充放電グラフ)

蓄電池や車両の蓄電池残量を折れ線グラフで表示します。

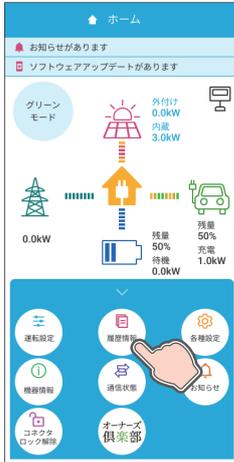
※ 1: 電力量の縦目盛りは、蓄電池の最大充電電力値や、蓄電池や車両の充放電電力量に応じて自動的に目盛り表示が切り替わります。

グラフを表示する

グラフ各種は、専用アプリまたは室内リモコンに表示することができます。

専用アプリでグラフを表示する場合

1 ドロワーメニューの「履歴情報」をタッチする



「履歴情報」画面に切り替わります。

2 グラフを選択する



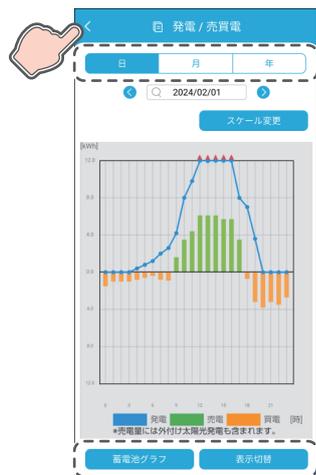
日付検索画面で日付を確定すると、選択されたグラフ画面に切り替わります。

メモ

- 「履歴情報」画面はスクロールしてメニューを表示選択してください。
- 蓄電池を併設していない場合は、「蓄電池充放電グラフ」は選択できません。
- V2Hシステムを併設していない場合は、「車両充放電グラフ」は選択できません。
- 各グラフは、「履歴情報」画面のグラフボタンもしくは各グラフ画面の「グラフ切替」をタッチすると表示されます。
- 次の場合は、一部またはすべてのデータが削除または上書きされます。
 - 日時設定を変更したとき
 - パワーコンディショナを修理交換したとき
- 表示するデータが無い場合は「表示できるデータがありません」と表示します。

3 グラフを確認する

■ 専用アプリ: 「発電 / 売買電グラフ」画面例



- 「日」「月」「年」をタッチすると、表示期間を日間、月間、年間表示に切り替えます。
- 「蓄電池グラフ」*¹、「車両グラフ」*¹、「売買電グラフ」*¹が表示される場合、各ボタンをタッチすると、「蓄電池充放電グラフ」、「車両充放電グラフ」、「発電 / 売買電グラフ」に切り替わります。
- 「表示切替」をタッチすると、グラフ表示⇔数値表示を切り替えます。
- ナビゲーションバーの「<」（戻るボタン）をタッチすると、「履歴情報」画面に戻ります。

※ 1: 設置環境によって表示されるボタンが異なります。蓄電池ユニットまたはV2Hシステムを併設していない場合は、「蓄電池グラフ」または「車両グラフ」は表示されません。

メモ

- 蓄電池を併設していない場合は、「蓄電池充放電グラフ」は表示されません。
- V2Hシステムを併設していない場合は、「車両充放電グラフ」は表示されません。
- 各グラフは、「履歴情報」画面のグラフボタンもしくは各グラフ画面のグラフ切替をタッチすると表示されます。
- 「スケール変更」をタッチすると電力量の縦目盛りの表示を変更します。

4 「ホーム」画面に戻る



ナビゲーションバーの「<」（戻るボタン）をタッチすると、「ホーム」画面に戻ります。

室内リモコンでグラフを表示する場合

1 ホーム画面の「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「グラフ表示」をタッチする



「発電 / 売買電グラフ」(日別)画面に切り替わります。



メモ

- 室内リモコンの現在時刻までのデータを表示します。

3 グラフを確認する



- 「表示切替」をタッチすると、「日別」⇒「月別」⇒「年別」⇒「日別」の順に切り替わります。
- 「グラフ切替」をタッチすると、「発電 / 売買電グラフ」⇒「蓄電池充放電グラフ」⇒「車両充放電グラフ」⇒「発電 / 売買電グラフ」の順に切り替わります。
- 「戻る」をタッチすると、「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。



メモ

- 蓄電池を併設していない場合は、「蓄電池充放電グラフ」は表示されません。
- V2Hシステムを併設していない場合は、「車両充放電グラフ」は表示されません。
- 下記の場合、一部またはすべてのデータが削除または上書きされることがあります。
 - 日時設定を変更したとき
 - パワーコンディショナを修理交換したとき
- 表示するデータが無い場合は「表示できるデータがありません」と表示します。

4 「ホーム」画面に戻る



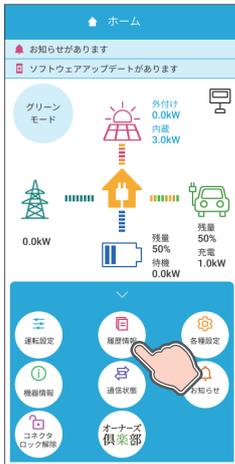
「ホーム」をタッチすると「ホーム」画面に戻ります。

発電抑制の履歴を表示する

本システムのパワーコンディショナの太陽光発電（外付け太陽光発電を除く）が抑制された履歴は、専用アプリまたは室内リモコンに表示することができます。

専用アプリで発電抑制の履歴を表示する場合

1 ドロワーメニューの「履歴情報」をタッチする



「履歴情報」画面に切り替わります。

2 制御履歴を選択する



選択された制御履歴画面に切り替わります。「出力制御履歴」および「出力制御スケジュール」は、日付検索画面で日付を確定すると、各画面に切り替わります。

出力制御履歴	出力制御対象の場合のみ、電力会社で定められたスケジュールによる発電抑制履歴を表示します。
出力制御スケジュール※ 1	検索する日付を選択してください。
電圧上昇抑制履歴	柱上トランスの電圧が太陽光の売電等により上昇した場合の、電力会社指示による発電抑制履歴を表示します。
HEMS 発電制御履歴	HEMS からの指示による発電抑制履歴を表示します。

※ 1: 専用アプリのみ対応です。



メモ

- 「履歴情報」画面はスクロールしてメニューを表示選択してください。

3 履歴を確認後、ホーム画面に戻る



- 「前日」または「翌日」をタッチすると、現在表示している日付の「前日」または「翌日」の履歴を表示します。
- ナビゲーションバーの「<」（戻るボタン）をタッチすると前画面に戻ります。



メモ

- 「電圧上昇抑制履歴」、「HEMS 発電抑制履歴」には、最大 100 件の履歴を表示できます。
- データが無い場合は、「表示できるデータがありません」と表示します。
- 「出力制御履歴」は設置日から「パワコン現在時刻」までの日付で確認できます。
- 「出力制御スケジュール」は設置日から固定スケジュール最終日までの日付で確認できます。
- 「電圧上昇抑制履歴」、「HEMS 発電抑制履歴」の最大表示件数は 100 件です。
- 100 件を超えると古い日付のデータから削除されます。

4 「ホーム」画面に戻る



ナビゲーションバーの「<」(戻るボタン)をタッチすると、「ホーム」画面に戻ります。

室内リモコンで発電抑制の履歴を表示する場合

1 ホーム画面の「お知らせ」をタッチする



「お知らせリスト」画面に切り替わります。

2 「お知らせリスト」画面の「抑制制御」をタッチする



「電圧上昇抑制履歴」画面に切り替わります。



メモ

- 出力制御スケジュールは、専用アプリの「出力制御スケジュール」をご確認ください。

3 「表示切替」をタッチして抑制履歴を確認する



- 「表示切替」をタッチするたびに、表示画面が切り替わります。

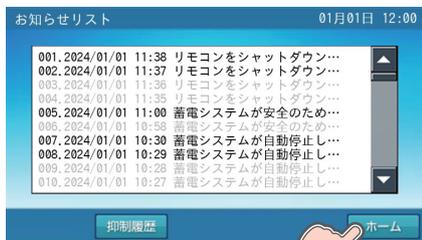
電圧上昇抑制履歴	柱上トランスの電圧が太陽光の売電等により上昇した場合の、電力会社指示による発電抑制履歴を表示します。
出力制御履歴	出力制御対象の場合は、電力会社で定められたスケジュールによる発電抑制履歴を表示します。 ● 出力制御対象時のみ表示します。
HEMS 発電抑制履歴	HEMS からの指示による発電抑制履歴を表示します。

- 「前日」または「翌日」をタッチすると、現在表示している日付の「前日」または「翌日」の履歴を表示します。
- 「戻る」をタッチすると、「お知らせリスト」画面に戻ります。

メモ

- 画面右上の日付をタッチすると日付選択画面に切り替わります。
- 「電圧上昇抑制履歴」、「HEMS 発電抑制履歴」は、最大 100 件の履歴を表示できます。100 件を超えると古い日付のデータから削除されます。
- 「出力制御履歴」は、設置日から「パソコン現在時刻」までの日付で確認できます。
- データが無い場合は、「表示できるデータがありません」と表示します。
- 「出力制御スケジュール」は専用アプリで確認してください。

4 抑制履歴を確認後、「ホーム」画面に戻る



「ホーム」をタッチするとホーム画面に戻ります。

機器情報について

専用アプリの機器情報について

機器情報は、「登録情報」「設定情報」「パワコン時刻」を表示します。画面はスクロールして確認してください。

■ 専用アプリ：「機器情報」画面例 • QREADY-77-P1 の場合

① 登録情報	
太陽光パネル	あり ②
外付け太陽光発電	あり ③
蓄電池	あり ④
V2Hシステム	あり ⑤
オプションリモコン	あり ⑥
システム	
機種名	QREADY-77-P1 ⑦
製造番号	MA-100001KEE ⑧
パワーコンディショナー	
INVソフトウェア	_E11.--/L-- ⑨
PVソフトウェア	_E1P.--/L-- ⑩
通信ボード	
製造番号	----- ⑪
ソフトウェア	Ec1.00 ⑫
蓄電池ユニット	
容量	7.7 kWh ⑬
JBソフトウェア	B- ⑭
BDCソフトウェア	_E1B.--/L-- ⑮
V2Hシステム	
製造番号	MB-N10001KC2 ⑯
ソフトウェア	C2M- /C2E- ⑰
太陽光発電設置場所	屋外 ⑱
蓄電池設置場所	屋外 ⑲
V2Hシステム設置場所	車庫 ⑳
設置日	2024/01/01 ㉑
太陽光以外の発電装置	なし ㉒
電気給湯器	なし ㉓
郵便番号	000-0000 ㉔
エコーネットライト	Release G ㉕
アプリバージョン情報	Ver.1.00.00 ㉖

- ① 登録情報
機器情報を表示します。
- ② 太陽光パネル
あり / なし
- ③ 外付け太陽光発電
あり / なし
- ④ 蓄電池
あり / なし
- ⑤ V2H システム
あり / なし
- ⑥ オプションリモコン
あり / なし
- ⑦ システム 機種名※1
QREADY-NB-P1/QREADY-77-P1/QREADY-97-P1/
QREADY-NB-P2/QREADY-77-P2/QREADY-97-P2
- ⑧ システム 製造番号
パワーコンディショナ製造番号
- ⑨ パワーコンディショナ INV ソフトウェア
バージョン番号
- ⑩ パワーコンディショナ PV ソフトウェア
バージョン番号
- ⑪ 通信ボード 製造番号
通信ボード製造番号
- ⑫ 通信ボード ソフトウェア
バージョン番号
- ⑬ 蓄電池ユニット 容量
7.7 kWh / 9.7 kWh / なし
- ⑭ 蓄電池ユニット JB ソフトウェア
バージョン番号
- ⑮ 蓄電池ユニット BDC ソフトウェア
バージョン番号
- ⑯ V2H システム 製造番号
製造番号 / なし
- ⑰ V2H システム ソフトウェア
製造番号 / バージョン番号 / なし
- ⑱ 太陽光発電設置場所
屋外 / その他 / 未設定
- ⑲ 蓄電池設置場所
屋内 / 屋外 / 未設定 / なし
- ⑳ V2H システム設置場所
車庫 / その他 / 未設定 / なし
- ㉑ 設置日
設置した日
- ㉒ 太陽光以外の発電装置
あり / なし
- ㉓ 電気給湯器
あり / なし
- ㉔ 郵便番号
郵便番号
- ㉕ エコーネットライト
バージョン番号
- ㉖ アプリバージョン情報
バージョン番号

● QREADY-77-P1 の場合

● QREADY-77-P2 の場合

②⑦ 設定情報

機器情報の項目を設定できます。

②⑧ 数値表示

ホーム画面上の電力値および蓄電池残量の表示を設定できます。

設定値	電力 & 残量 [★] / 電力のみ / 残量のみ / 非表示
-----	--

②⑨ 契約容量設定

ご家庭の契約アンペアまたは契約電力のブレーカ容量に対し、本システムの充電電力を調整するための設定です。施工業者が設定しますので、お客様は変更しないでください。

- 電力契約の変更により、設定値を変更する場合は、お買い上げの販売会社に相談してください。

③⑩ 最大充電電力設定 / 蓄電池^{※2}

電力会社の電力で蓄電池ユニットへ充電する際の最大充電電力を設定できます。充電時に電力会社からの買電を抑えたい場合に変更してください。

- 蓄電池のご使用状況によっては、設定した最大充電電力より低下することがあります。

設定値	QREADY-77-P1/ QREADY-77-P2	1.0 ~ 4.0 [★] kW (0.1 kW 刻み)
	QREADY-97-P1/ QREADY-97-P2	1.0 ~ 5.9 [★] kW (0.1 kW 刻み)

③⑪ 最大充電電力設定 / 車両^{※3}

電力会社の電力で車両へ充電する際の最大充電電力を設定できます。充電時に電力会社からの買電を抑えたい場合に変更してください。

- 車両蓄電池のご使用状況によっては、設定した最大充電電力より低下することがあります。
- 最大充電電力設定値が小さい場合、車両によってはコネクタロックを解除することがあります。

設定値	1.0 ~ 5.9 [★] kW (0.1 kW 刻み)
-----	---------------------------------------

③⑫ 停電時出力

停電時の電力供給方法を表示します。

設定値	自動 [★]	停電時に自動で電気を供給します。
	手動	停電時に自動では電気を供給しません。 ● 安全を確認してから電気を利用したい場合は、別売の室内リモコンを設置して選択してください。

③⑬ メンテナンスモード実施日^{※2}

蓄電システムの性能維持のため蓄電池を定期的に点検するモードで、1年に1回予定日に実施されます。

③⑭ メンテナンスモード実施希望日^{※2}

メンテナンスモードの実施日を、5月は11 ~ 20日の範囲で設定できます。(リトライで9月に実施する場合は9月21 ~ 30日の範囲で設定できます。)

③⑮ パワコン時刻

パワーコンディショナの現在時刻を表示します。

③⑯ 現在時刻

現在の時刻を設定できます。

③⑰ 蓄電池逆潮流設定^{※2} 【QREADY-77-P2/QREADY-97-P2のみ】

電力事業者との特定の契約により外部制御で指定された電力で、蓄電池ユニットから電力事業者へ電力を供給する設定(許可する / 許可しない)を表示します。

契約の変更により、設定を変更する場合はお買い上げの販売会社に相談してください。

★：製品出荷時の設定値

※ 1: パワーコンディショナ設置後に蓄電池ユニットを増設設置した場合のシステム機種名は、増設後の組み合わせによるシステム機種名になります。(「増設設置の可能期間」(129ページ)参照)

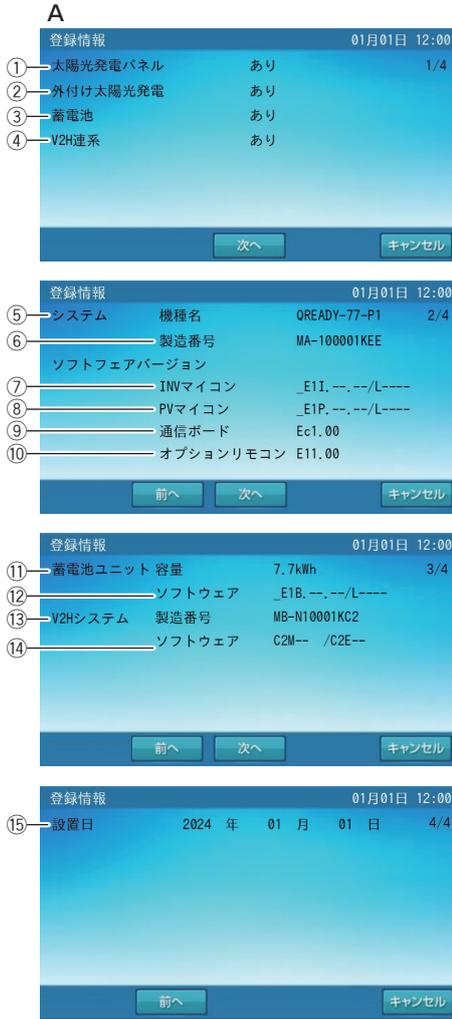
※ 2: 蓄電池ユニットを併設していない場合は、表示されません。

※ 3: V2Hシステムを併設していない場合は、表示されません。

室内リモコンの機器情報について

専用アプリで示す機器情報は、室内リモコンでは「登録情報」、「設定情報」、「現在日時」に表示します。

■ 室内リモコン：「登録情報」画面例



A 登録情報

機器情報を表示します。

- ① 太陽光パネル
あり / なし
- ② 外付け太陽光発電
あり / なし
- ③ 蓄電池
あり / なし
- ④ V2H 連系
あり / なし
- ⑤ システム 機種名※1
QREADY-NB-P1/QREADY-77-P1/QREADY-97-P1/
QREADY-NB-P2/QREADY-77-P2/QREADY-97-P2
- ⑥ システム 製造番号
パワーコンディショナ製造番号
- ⑦ ソフトウェアバージョン INV ソフトウェア
バージョン番号
- ⑧ ソフトウェアバージョン PV ソフトウェア
バージョン番号
- ⑨ ソフトウェアバージョン 通信ボード
バージョン番号
- ⑩ ソフトウェアバージョン オプションリモコン
バージョン番号
- ⑪ 蓄電池ユニット 容量
7.7 kWh / 9.7 kWh / なし
- ⑫ 蓄電池ユニット ソフトウェア
バージョン番号
- ⑬ V2H システム設定 製造番号
製造番号 / なし
- ⑭ V2H システム設定 ソフトウェア
製造番号 / バージョン番号 / なし
- ⑮ 設置日
設置した日

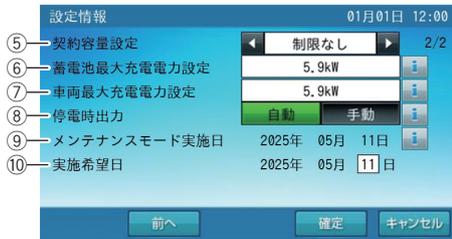
■ 室内リモコン：「設定情報」画面例



B 設定情報

機器情報の項目を設定できます。

- ① 画面オフ時間
タッチパネルを操作していない状態から、画面がオフするまでの時間（1～10分）を設定できます。
● 画面がオフした場合は、タッチパネルに触れると画面を表示します。
設定値 | 1～10分（5分*）（1分刻み）
- ② 操作音
画面操作音の ON* / OFF を設定できます。
- ③ 画面明るさ
画面の明るさを 10 段階で設定できます。
● お部屋の明るさなどの影響により、画面が見えにくい場合は変更してください。
設定値 | 1～10（5*）（1ステップ刻み）
- ④ 数値表示
ホーム画面上の電力値および蓄電池残量の表示を設定できます。
設定値 | 電力 & 残量* / 電力のみ / 残量のみ / 非表示



⑤ 契約容量設定

ご家庭の契約アンペアまたは契約電力のブレーカ容量に対し、本システムの充電電力を調整するための設定です。施工業者が設定しますので、お客様は変更しないでください。

- 電力契約の変更により、設定値を変更する場合は、お買い上げの販売会社に相談してください。

⑥ 蓄電池最大充電電力設定^{※2}

電力会社の電力で蓄電池ユニットへ充電する際の最大充電電力を設定できます。充電時に電力会社からの買電を抑えたい場合に変更してください。

- 蓄電池のご使用状況によっては、設定した最大充電電力より低下することがあります。

設定値	QREADY-77-P1/ QREADY-77-P2	1.0 ~ 4.0* kW (0.1 kW 刻み)
	QREADY-97-P1/ QREADY-97-P2	1.0 ~ 5.9* kW (0.1 kW 刻み)

⑦ 車両最大充電電力設定^{※3}

電力会社の電力で車両へ充電する際の最大充電電力を設定できます。充電時に電力会社からの買電を抑えたい場合に変更してください。

- 車両蓄電池のご使用状況によっては、設定した最大充電電力より低下することがあります。
- 最大充電電力設定値が小さい場合、車両によってはコネクタロックを解除することがあります。

設定値	1.0 ~ 5.9* kW (0.1 kW 刻み)
-----	---------------------------

⑧ 停電時出力

停電時の電力供給方法を設定できます。

設定値	自動*	停電時に自動で電気を供給します。
	手動	停電時に自動では電気を供給しません。 ● 安全を確認してから電気を利用したい場合に選択してください。 ● 本選択は室内リモコンのみ対応です。

⑨ メンテナンスモード実施日^{※2}

蓄電システムの性能維持のため蓄電池を定期的に点検するモードで、1年に1回予定日に実施されます。

⑩ 実施希望日^{※2}

メンテナンスモードの実施日を、5月は11～20日の範囲で設定できます。(リトライで9月に実施する場合は9月21～30日の範囲で設定できます。)

■ 室内リモコン：「ホーム」画面例



★：製品出荷時の設定値

※ 1：パワーコンディショナ設置後に蓄電池ユニットを増設設置した場合のシステム機種名は、増設後の組み合わせによるシステム機種名になります。(「増設設置の可能期間」(129ページ)参照)

※ 2：蓄電池ユニットを併設していない場合は、表示されません。

※ 3：V2Hシステムを併設していない場合は、表示されません。

C 現在時刻

パワーコンディショナの現在日時を表示します。

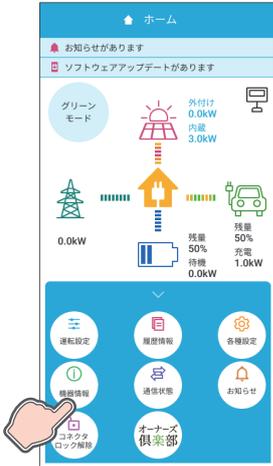
- 出力制御対象の場合は日時の変更はできません。

機器情報を確認する

本システムの機器情報は、専用アプリまたは室内リモコンで確認および設定することができます。

専用アプリで機器情報を確認・各種設定項目を選ぶ場合

1 ドロワーメニューの「機器情報」をタッチする



「機器情報」画面に切り替わります。

メモ

- 機種情報は、一部の項目のみお客様にて変更できます。

2 項目をタッチして変更する

- QREASY-77-P1 の場合

機器情報		設置日	2024/01/01
接続先切り替え		太陽光以外の発電装置	なし
登録情報		電気給湯器	なし
太陽光パネル	あり	郵便番号	000-0000
外付け太陽光発電	あり	エコネットライト	Release Q
蓄電池	あり	アプリバージョン情報	Ver.1.00.00
V2Hシステム	あり	設定情報	
オプションリモコン	あり	数値表示	電力&残量
システム		契約容量設定	制限なし
機種名	QREASY-77-P1	最大充電電力設定	
製造番号	MA-100001KEE	蓄電池	4.0 kW
パワーコンディショナー		車庫	5.9 kW
HWソフトウェア	_E11-~ルー	充電待出力	自動
PVソフトウェア	_E1P-~ルー	メンテナンスモード	
通信ボード		実施日	2025/05/11
ソフトウェア	Ec1.00	実施希望日	2025/05/11
蓄電池ユニット		パワコン時刻	
容量	7.7 kWh	現在時刻	2024/01/01 12:00
HWソフトウェア	_B-		
BDCソフトウェア	_E1B-~ルー		
V2Hシステム			
製造番号	MB-N10001KCZ		
ソフトウェア	C2M- /C2E-		
太陽光発電設置場所	屋外		
蓄電池設置場所	屋外		
V2Hシステム設置場所	車庫		

各種設定項目をタッチすると変更できます。(詳しくは 61 ページ参照)

メモ

- 「機器情報」画面はスクロールして項目を表示してください。
- お客様が変更できない項目は、内容表示のみとなります。
- 郵便番号を設定すると異常が発生した際に、原因の特定につながる場合がありますので正しく入力してください。
- 契約容量設定は、施工業者が設定しますので、お客様は変更しないでください。設定値を変更する場合は、お買い上げの販売会社に相談してください。
- パワコン時刻「現在時刻」について
 - 現在日時は、長年の使用により進みや遅れが生じることがあります。定期的に修正することをお勧めします。現在日時に進みや遅れが生じると、割高な電気料金で充電を行ってしまう場合があります。
 - インターネットに接続している場合は、毎日一定の時間に現在日時が更新されますので、設定は不要です。
 - 出力制御対象の場合は、現在日時を変更できません。
- システム機種名が「QREASY-77-P2」や「QREASY-97-P2」の場合、設定情報に「蓄電池逆潮流設定」を表示します。

3 変更内容を確定する



「確定」をタッチすると、機器情報の確認画面に切り替わります。「確定」をタッチすると変更内容を確定してホーム画面に戻ります。「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。



- 機器情報を変更した状態でナビゲーションバーの「<」(戻るボタン)をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「確定」または「戻る」をタッチすると、「ホーム」画面または「機器情報」画面に戻ります。

室内リモコンで「登録情報」を確認する場合

1 ホーム画面の「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「登録情報」をタッチする



「登録情報」画面に切り替わります。

3 登録情報を確認する

登録情報		01月01日 12:00
太陽光発電パネル	あり	1/4
外付け太陽光発電	あり	
蓄電池	あり	
V2H連系	あり	

次へ キャンセル

登録情報		01月01日 12:00
システム	機種名	QREADY-77-P1 2/4
	製造番号	MA-100001KEE
ソフトウェアバージョン		
	INVマイコン	_E1I.--./L----
	PVマイコン	_E1P.--./L----
	通信ボード	Ec1.00
	オプションリモコン	E11.00

前へ 次へ キャンセル

登録情報		01月01日 12:00
蓄電池ユニット	容量	7.7kWh 3/4
	ソフトウェア	_E1B.--./L----
V2Hシステム	製造番号	MB-N10001KC2
	ソフトウェア	C2M-- /C2E--

前へ 次へ キャンセル

登録情報		01月01日 12:00
設置日	2024 年 01 月 01 日	4/4

前へ キャンセル

機器情報の登録情報を確認できます。(詳しくは 63 ページ参照)
「キャンセル」をタッチすると、「各種設定/グラフ」画面に戻ります。

メモ

- 「次へ」をタッチすると、ページを送ります。
- 「前へ」をタッチすると、前のページに戻ります。
- お客様は設定を変更することはできません。変更する場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

4 確認を終了してホーム画面に戻る

各種設定/グラフ		01月01日 12:00
登録/設定	登録情報	
	設定情報	
ネットワーク	通信状態	
グラフ	グラフ表示	

運転停止 ホーム

「ホーム」をタッチすると「ホーム」画面に戻ります。

室内リモコンで「設定情報」の各種設定項目を選ぶ場合

1 ホーム画面の「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「設定情報」をタッチする



「設定情報」画面に切り替わります。

3 設定情報の各種設定項目を設定する



変更したい項目をタッチすると選択できます。(63 ページ参照)

「確定」をタッチすると、設定情報確定の確認画面に切り替わります。「はい」をタッチすると、「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。「いいえ」をタッチすると、前画面に戻ります。

メモ

- 「次へ」をタッチすると、ページを送ります。
- 「前へ」をタッチすると、前のページに戻ります。
- 契約容量設定は、施工業者が設定しますので、お客様は変更しないでください。設定値を変更する場合は、お買い上げの販売会社に相談してください。
- 設定情報を変更した状態で「キャンセル」をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「はい」または「いいえ」をタッチすると、「各種設定 / グラフ」画面または前画面に戻ります。

4 確認を終了してホーム画面に戻る



「ホーム」をタッチすると「ホーム」画面に戻ります。

室内リモコンで「日時」の設定を行う場合

1 ホーム画面の「日時」をタッチする



「現在日時」画面に切り替わります。

2 日時を変更後「確定」をタッチする



数字キーをタッチすると、新しい日時が入力されます。
「確定」をタッチすると、変更を確定して「ホーム」画面に戻ります。

メモ

- ←/→をタッチすると、カーソルが移動します。
- カーソルがある位置で「消去」をタッチすると入力数字を消すことができます。
- 現在日時を入力した状態で「キャンセル」をタッチすると、変更を確定せず「ホーム」画面に戻ります。

メモ

- 現在日時は、長年の使用により進みや遅れが生じることがあります。定期的に修正することをお勧めします。現在日時に進みや遅れが生じると、割高な電気料金で充電を行ってしまう場合があります。
- インターネットに接続している場合は、毎日一定の時間に現在日時が更新されますので、設定は不要です。
- 出力制御対象の場合は、現在日時の変更はできません。

太陽光発電設定を確認する

太陽光発電設定の内容は、専用アプリまたは室内リモコンで確認および設定することができます。

専用アプリで太陽光発電設定を確認する場合

1 ドロワーメニューの「各種設定」→「太陽光発電設定」をタッチする



「太陽光発電設定」画面に切り替わります。

メモ

- 太陽光発電設定は、一部の項目のみお客様にて変更できます。

2 太陽光発電設定の内容を確認する



① 発電所 ID

接続している発電所の ID を表示します。

- 出力制御対象時のみ表示します。

② 外付け太陽光発電の定格

本システムと併設している外付け太陽光発電の定格電力を表示します。

- 外付け太陽光発電設置時のみ表示します。

③ 外付け太陽光発電の電力表示

外付け太陽光発電を併設している場合は、表示方法を設定できます。

- 外付け太陽光発電を併設している場合のみ表示します。

設定値	合算*	太陽光発電電力と外付け太陽光発電の電力値を表示
	単独	太陽光発電の電力値のみ表示

④ 太陽光発電パネル定格

本システムに接続している太陽光発電の定格電力を表示します。

⑤ 太陽光発電パワコン定格

本システムの定格出力を表示します。

⑥ 設備認定容量

FIT 申請により売電が認められる太陽光発電量を表示します。

⑦ PV 余剰電力売電設定

本システムに接続している太陽光発電の余剰電力売電設定 (売電する / 売電しない) を表示します。

★：製品出荷時の設定値

メモ

- 発電所 ID は、電力会社からの明細に記載されています。
- 固定価格買い取り制度 (FIT) とは、再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で 10 年間買い取る制度です。
- 外付け太陽光発電の電力表示を「合算」に設定すると、「ホーム」画面の太陽光発電電力をそれぞれ表示し、「発電 / 売買電グラフ」の発電量を合算して表示します。(23、53 ページ参照)

3 変更内容を確定する



「確定」をタッチすると、太陽光発電設定の確認画面に切り替わります。「確定」をタッチすると変更内容を確定してホーム画面に戻ります。「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。

メモ

- 太陽光発電設定を変更した状態でナビゲーションバーの「<」(戻るボタン)をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「確定」または「戻る」をタッチすると、「ホーム」画面または「太陽光発電設定」画面に戻ります。

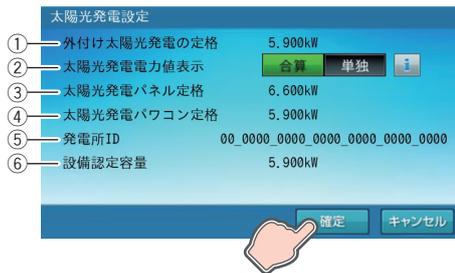
室内リモコンで太陽光発電設定を確認する場合

1 ホーム画面の「太陽光パネルアイコン」をタッチする



「太陽光発電設定」画面に切り替わります。

2 太陽光発電設定の内容を確認し、「確定」をタッチする



「確定」をタッチすると、太陽光発電設定確定の確認画面に切り替わります。「はい」をタッチすると「ホーム」画面に戻ります。「いいえ」をタッチすると前画面に戻ります。

① 外付け太陽光発電の定格

本システムと併設している外付け太陽光発電の定格電力を表示します。
• 外付け太陽光発電を併設している場合のみ表示します。

② 外付け太陽光発電の電力表示

外付け太陽光発電を併設している場合は、表示方法を設定できます。

設定値	合算★	太陽光発電電力と外付け太陽光発電の電力値を表示
	単独	太陽光発電の電力値のみ表示

③ 太陽光発電パネル定格

本システムに接続している太陽光発電の定格電力を表示します。

④ 太陽光発電パワコン定格

本システムの定格出力を表示します。

⑤ 発電所 ID

接続している発電所の ID を表示します。
• 出力制御対象時のみ表示します。

⑥ 設備認定容量

FIT 申請により売電が認められる太陽光発電量を表示します。

★：製品出荷時の設定値

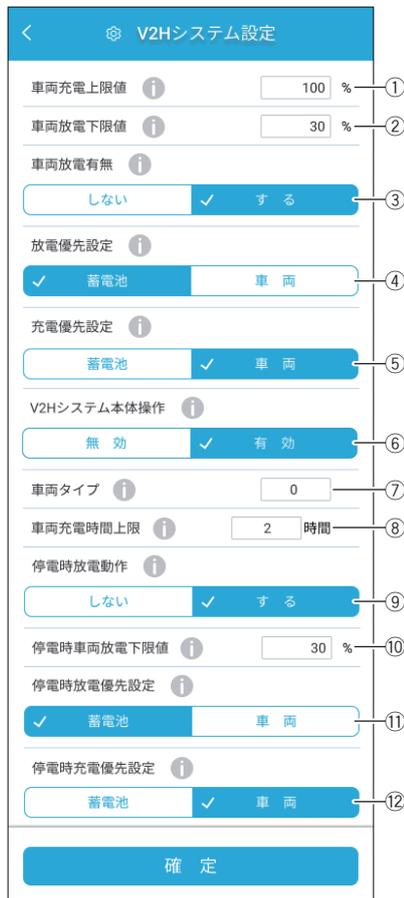
メモ

- 発電所 ID は、電力会社からの明細に記載されています。
- 固定価格買い取り制度 (FIT) とは、再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で 10 年間買い取る制度です。
- 外付け太陽光発電の電力表示を「合算」に設定すると、「ホーム」画面の太陽光発電電力および「発電 / 売買電グラフ」の発電量を合算して表示します。(27、54 ページ参照)
- 太陽光発電設定を変更した状態で「キャンセル」をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「はい」または「いいえ」をタッチすると、「ホーム」画面または「太陽光発電設定」画面に戻ります。

V2H システムの詳細設定について

専用アプリの V2H システム設定について

V2H システムを併設している場合のみ設定できます。V2H システムに関わる各種設定を行います。本設定は、コネクタロック解除状態でも設定できます。また、設定後にコネクタロックを解除しても、次回利用時に前回と同じ設定で問題なければ、再度設定する必要はありません。



① 車両充電上限値

電力会社の電力で車両を充電する際に、指定した上限値で充電を停止する設定です。

グリーンモード利用時に太陽光発電の余剰電力をできるだけ多く充電できるように、電力会社の電力で充電する容量を少なくしたい場合などに設定してください。

- 自動運転モードの充電時間帯は、本設定値と車両ごとに定められた「充電可能上限値」のうち、低い値まで充電を行います。(例:「車両充電上限値」が100%、「充電可能上限値」が95%の場合、95%まで充電を行います。)
- グリーンモードの放電時間帯で太陽光発電電力による余剰充電を行う場合は、本設定の対象外となり、車両タイプ(後述⑦)で指定した「充電上限指定値」と車両ごとに定められた「充電可能上限値」の低い値まで充電を行います。(例:「車両タイプ」が2(92%)、「充電可能上限値」が95%の場合、92%まで充電を行います。)
- 手動運転モードの「車両充電」の場合は、本設定の対象外となり、車両ごとに定められた「充電可能上限値」まで充電を行います。

設定値	20% ~ 100*(5%刻み)
-----	------------------

② 車両放電下限値

車両から放電を行う際に、指定残量までで放電を止めるように制限します。もしもの停電や、台風、計画停電などの停電にあらかじめ備えるときは、設定を切り替えることで、安心してお使いいただけます。

なお、設定後から車両の電池残量の制御を開始するため、必要の際は前日までに切り替えてください。

- グリーンモード放電時間帯は、本設定値、車両ごとに定められた「放電可能下限値+5%」、および「10%」のうち、下限値がもっとも高い値が優先となります。(例:「車両放電下限値」が30%、「放電可能下限値」が40%の場合、45%まで放電を行います。)
- 上記以外の放電時は、本設定値、車両ごとに定められた「放電可能下限値」、および「10%」のうち、下限値がもっとも高い値が優先となります。(例:「車両放電下限値」が30%、「放電可能下限値」が40%の場合、40%まで放電を行います。)

重要

充放電を行っていない場合でも車両と V2H システム間の通信維持のため、車両の電池から電力を消費します。それにより、車両の電池残量が車両放電下限値を下回る場合があります。

設定値	0% ~ 90% (30%*)(5%刻み)
-----	-----------------------

③ 車両放電有無

車両からの放電を許可するか設定できます。

- 通常は車両の電力が利用できるように、「する」に設定してください。

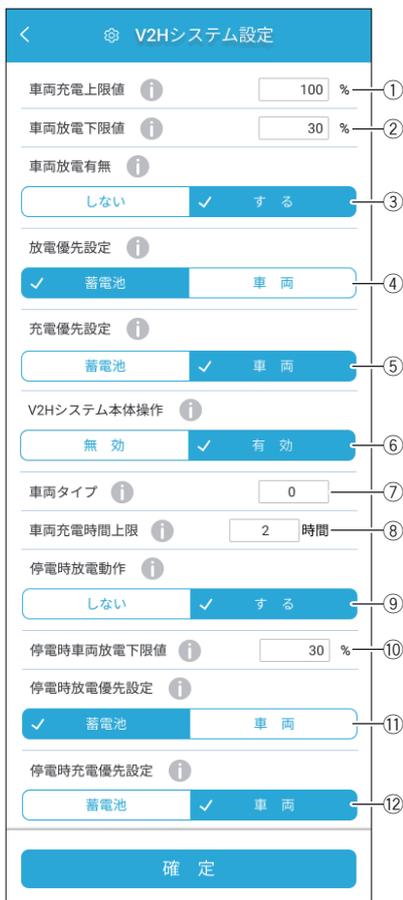
設定値	する*	車両からの放電を行います。
	しない	車両からの放電を行いません。

④ 放電優先設定^{※1}

自動運転モード動作時の家庭内への電力供給を蓄電池ユニットもしくは車両のどちらから優先して行うかを設定できます。

- 「車両放電有無」を「しない」に設定した場合は、本設定は機能しません。

設定値	蓄電池*	蓄電池ユニットから優先して電力を供給します。蓄電池ユニットの蓄電池残量がゼロ、または専用アプリで設定する「蓄電池放電下限値」に達すると、車両からの放電に切り替わります。
	車両	車両から優先して電力を供給します。車両の蓄電池残量がゼロ、または専用アプリで設定する「車両放電下限値」、または車両ごとに定められた「放電可能下限値」に達すると、蓄電池ユニットからの放電に切り替わります。



⑤ 充電優先設定※¹

自動運転モード動作時の充電を蓄電池ユニットもしくは車両のどちらから優先して行うかを設定できます。

設定値	蓄電池	蓄電池ユニットから優先して充電を行います。専用アプリで設定する「蓄電池充電上限値」に達すると、車両への充電に切り替わります。
	車両★	車両から優先して充電を行います。専用アプリで設定する「車両充電上限値」、または車両ごとに定められた「充電可能上限値」に達すると、蓄電池ユニットへの充電に切り替わります。

⑥ V2Hシステム本体操作

V2Hシステム本体「VSG3-666CN7」の操作を有効もしくは無効にする設定です。長期ご不在時など、第三者の無断使用を防止する場合などに便利な機能です。お客様の用途にあわせて設定してください。

設定値	有効★	V2Hシステム本体での操作を受け付けます。
	無効	V2Hシステム本体での操作を受け付けません。

⑦ 車両タイプ

お客様が所有している車両がどの車両タイプになるのかを選択肢の中から選択してください。

- 車両タイプの設定値は、車両ごとに指定する「接続車両設定」の数値を選択してください。本設定により充電上限指定値を設定します。詳しくは、ニチコンホームページの対応車種一覧を参照してください。
<https://www.nichicon.co.jp/products/v2h/vsg3/model/>

設定値 (充電上限指定値)	0★ (92%)、1 (99%)、2 (92%)、3 (99%)
------------------	----------------------------------

⑧ 車両充電時間上限

一日の車両充電時間を制限することにより、一日に車両が行う充放電の時間を自動車メーカーから指定されている上限値以下に抑えるための機能です。本設定値が短い場合は、充電時間帯の車両充電時間が短くなる場合があり、車両に十分な充電ができないおそれがあります。車両への充電を優先したい場合は車両充電モードを使用してください。

設定値	0時間、2時間★、4時間
-----	--------------

⑨ 停電時放電動作

停電時に車両からの放電を許可するか設定できます。

重要

「しない」を選択していると、停電時に太陽光発電や蓄電池ユニットなど他の電力供給源から電力が供給できない場合、車両から放電ができず蓄電システムが停止します。
通常は停電時も車両の電力が利用できるように、「する」に設定してください。

設定値	する★	停電時に車両から放電を行います。
	しない	停電時に車両からの放電を行いません。

⑩ 停電時車両放電下限値

停電時に車両から放電を行う際に、指定残量までで放電を止めるように制限します。

停電時に車両の蓄電池残量がゼロになって車両が走行できなくなると同時に、電力を残すことができます。

- 本設定値、車両ごとに定められた「放電可能下限値」、および「10%」のうち、下限値がもっとも高い値が優先となります。(例: 「停電時車両放電下限値」が30%、「放電可能下限値」が40%の場合、40%まで放電を行います。)

設定値	0% ~ 30%★ (5%刻み)
-----	------------------

⑪ 停電時放電優先設定※¹

停電時の家庭内への電力供給を蓄電池ユニットもしくは車両のどちらから優先して行うかを設定できます。

- 「停電時放電動作」を「しない」に設定した場合は、本設定は機能しません。

設定値	蓄電池★	蓄電池ユニットから優先して電力を供給します。蓄電池ユニットの蓄電池残量がゼロになると、車両からの放電に切り替わります。
	車両	車両から優先して電力を供給します。車両の蓄電池残量がゼロ、または専用アプリで設定する「停電時車両放電下限値」、または車両ごとに定められた「放電可能下限値」に達すると、蓄電池ユニットからの放電に切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> • 家電製品の消費電力や太陽光発電電力が変動すると、一部蓄電池からも放電する場合があります。

⑫ 停電時充電優先設定※¹

停電時の充電を蓄電池ユニットもしくは車両のどちらから優先して行うかを設定できます。

設定値	蓄電池	蓄電池ユニットへ優先して充電します。蓄電池ユニットの蓄電池残量が100%になると、車両への充電に切り替わります。
	車両★	車両へ優先して充電します。車両の蓄電池残量が車両ごとに定められた「充電可能上限値」に達すると、蓄電池ユニットへの充電に切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> • 家電製品の消費電力や太陽光発電電力が変動すると、一部蓄電池からも放電する場合があります。

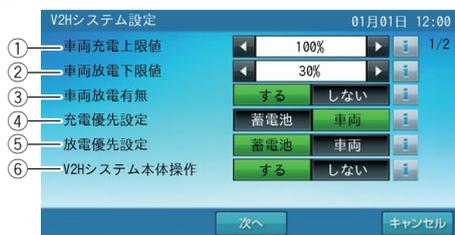
★：製品出荷時の設定値

※¹：蓄電池ユニットを併設している場合のみ設定することができます。

室内リモコンのV2Hシステム設定について

V2Hシステムに関わる各種設定を行います。本設定は、コネクタロック解除状態でも設定できます。また、設定後にコネクタロックを解除しても、次回利用時に前回と同じ設定で問題なければ、再度設定する必要はありません。

■ V2Hシステム設定 <1 ページ目> ① 車両充電上限値

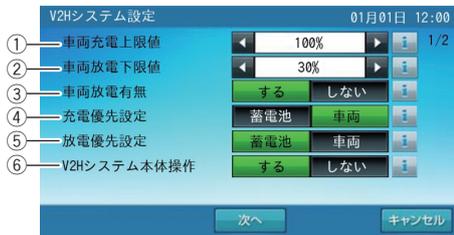


電力会社の電力で車両を充電する際に、指定した上限値で充電を停止する設定です。

グリーンモード利用時に太陽光発電の余剰電力をできるだけ多く充電できるように、電力会社の電力で充電する容量を少なくしたい場合などに設定してください。

- 自動運転モードの充電時間帯は、本設定値と車両ごとに定められた「充電可能上限値」のうち、低い値まで充電を行います。(例：「車両充電上限値」が100%、「充電可能上限値」が95%の場合、95%まで充電を行います。)
- グリーンモードの放電時間帯で太陽光発電電力による余剰充電を行う場合は、本設定の対象外となり、車両タイプ(後述⑩)で指定した「充電上限指定値」と車両ごとに定められた「充電可能上限値」の低い値まで充電を行います。(例：「車両タイプ」が2(92%)、「充電可能上限値」が95%の場合、92%まで充電を行います。)
- 手動運転モードの「車両充電」の場合は、本設定の対象外となり、車両ごとに定められた「充電可能上限値」まで充電を行います。

設定値	20% ~ 100%*(5% 刻み)
-----	--------------------



② 車両放電下限値

車両から放電を行う際に、指定残量までで放電を止めるように制限します。もしもの停電や、台風、計画停電などの停電にあらかじめ備えるときは、設定を切り替えることで、安心してお使いいただけます。なお、設定後から車両の電池残量の制御を開始するため、必要の際は前日までに切り替えてください。

- グリーンモード放電時間帯は、本設定値、車両ごとに定められた「放電可能下限値 +5%」、および「10%」のうち、下限値がもっとも高い値が優先となります。(例：「車両放電下限値」が30%、「放電可能下限値」が40%の場合、45%まで放電を行います。)
- 上記以外の放電時は、本設定値、車両ごとに定められた「放電可能下限値」、および「10%」のうち、下限値がもっとも高い値が優先となります。(例：「車両放電下限値」が30%、「放電可能下限値」が40%の場合、40%まで放電を行います。)

重要

充放電を行っていない場合でも車両と V2H システム間の通信維持のため、車両の電池から電力を消費します。それにより、車両の電池残量が車両放電下限値を下回る場合があります。

設定値	0% ~ 90% (30%★)(5% 刻み)
-----	------------------------

③ 車両放電有無

車両からの放電を許可するか設定できます。

- 通常は車両の電力が利用できるように、「する」に設定してください。

設定値	する★	車両からの放電を行います。
	しない	車両からの放電を行いません。

④ 充電優先設定^{*1}

自動運転モード動作時の充電を蓄電池ユニットもしくは車両のどちらから優先して行うかを設定できます。

設定値	蓄電池	蓄電池ユニットから優先して充電を行います。室内リモコンで設定する「蓄電池充電上限値」に達すると、車両への充電に切り替わります。
	車両★	車両から優先して充電を行います。室内リモコンで設定する「車両充電上限値」、または車両ごとに定められた「充電可能上限値」に達すると、蓄電池ユニットへの充電に切り替わります。 ● 家電製品の消費電力や太陽光発電電力が変動すると、一部蓄電池からも放電する場合があります。

⑤ 放電優先設定^{*1}

自動運転モード動作時の家庭内への電力供給を蓄電池ユニットもしくは車両のどちらから優先して行うかを設定できます。

- 「車両放電有無」を「しない」に設定した場合は、本設定は機能しません。

設定値	蓄電池★	蓄電池ユニットから優先して電力を供給します。蓄電池ユニットの蓄電池残量がゼロ、または室内リモコンで設定する「蓄電池放電下限値」に達すると、車両からの放電に切り替わります。
	車両	車両から優先して電力を供給します。車両の蓄電池残量がゼロ、または室内リモコンで設定する「車両放電下限値」、または車両ごとに定められた「放電可能下限値」に達すると、蓄電池ユニットからの放電に切り替わります。 ● 家電製品の消費電力や太陽光発電電力が変動すると、一部蓄電池からも放電する場合があります。

⑥ V2H システム本体操作

V2H システム本体「VSG3-666CN7」の操作を有効もしくは無効にする設定です。長期ご不在時など、第三者の無断使用を防止する場合などに便利な機能です。お客様の用途にあわせて設定してください。

設定値	有効★	V2H システム本体での操作を受け付けます。
	無効	V2H システム本体での操作を受け付けません。

■ V2Hシステム設定 <2 ページ目>



⑦ 非常時放電動作

停電時に車両からの放電を許可するか設定できます。

重要

「しない」を選択していると、停電時に太陽光発電や蓄電池ユニットなど他の電力供給源から電力が供給できない場合、車両から放電ができず蓄電システムが停止します。
通常は停電時も車両の電力が利用できるように、「する」に設定してください。

設定値	する★	停電時に車両から放電を行います。
	しない	停電時に車両からの放電を行いません。

⑧ 非常時車両放電下限値

停電時に車両から放電を行う際に、指定残量までで放電を止めるように制限します。

停電時に車両の蓄電池残量がゼロになって車両が走行できなくならないように、電力を残すことができます。

- 本設定値と、車両ごとに定められた「放電可能下限値」のうち、下限値が高い方が優先となります。(例:「非常時車両放電下限値」が 30%、「放電可能下限値」が 40% の場合、40% まで放電を行います。)

設定値	0% ~ 30%★ (5% 刻み)
-----	-------------------

⑨ 非常時放電優先設定^{※1}

停電時の家庭内への電力供給を蓄電池ユニットもしくは車両のどちらから優先して行うかを設定できます。

- 「非常時放電動作」を「しない」に設定した場合は、本設定は機能しません。

設定値	蓄電池★	蓄電池ユニットから優先して電力を供給します。蓄電池ユニットの蓄電池残量がゼロになると、車両からの放電に切り替わります。
	車両	車両から優先して電力を供給します。車両の蓄電池残量がゼロ、または室内リモコンで設定する「非常時車両放電下限値」、または車両ごとに定められた「放電可能下限値」に達すると、蓄電池ユニットからの放電に切り替わります。

⑩ 非常時充電優先設定^{※1}

停電時の充電を蓄電池ユニットもしくは車両のどちらから優先して行うかを設定できます。

設定値	蓄電池	蓄電池ユニットへ優先して充電します。蓄電池ユニットの蓄電池残量が 100% になると、車両への充電に切り替わります。
	車両★	車両へ優先して充電します。車両の蓄電池残量が車両ごとに定められた「充電可能上限値」に達すると、蓄電池ユニットへの充電に切り替わります。

⑪ 車両タイプ

お客様が所有している車両がどの車両タイプになるのかを選択肢の中から選択してください。

- 車両タイプの設定値は、車両ごとに指定する「接続車両設定」の数値を選択してください。本設定値により充電上限指定値を設定します。詳しくは、ニチコンホームページの対応車種一覧を参照してください。
<https://www.nichicon.co.jp/products/v2h/vsg3/model/>

設定値 (充電上限指定値)	0★ (92%)、1 (99%)、2 (92%)、3 (99%)
------------------	----------------------------------

⑫ 車両充電時間上限

一日の車両充電時間を制限することにより、一日に車両が行う充放電の時間を自動車メーカーから指定されている上限値以下に抑えるための機能です。本設定値が短い場合は、充電時間帯の車両充電時間が短くなる場合があり、車両に十分な充電ができないおそれがあります。車両への充電を優先したい場合は車両充電モードを使用してください。

設定値	0 時間、2 時間★、4 時間
-----	-----------------

★：製品出荷時の設定値

※ 1：蓄電池ユニットを併設している場合のみ設定することができます。

V2H システムの詳細設定を設定する

V2H システムの詳細設定は、専用アプリまたは室内リモコンで設定することができます。

専用アプリで V2H システムの詳細設定を設定する場合

1 ドロワーメニューの「各種設定」→「V2Hシステム設定」をタッチする



「V2H システム設定」画面に切り替わります。

2 各設定項目を変更する



各種設定項目をタッチすると変更できます。(73 ページ参照)

3 変更内容を確定する



「確定」をタッチすると、V2H システム設定の確認画面に切り替わります。「確定」をタッチすると変更内容を確定してホーム画面に戻ります。「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。

メモ

- V2H システム設定を変更した状態でナビゲーションバーの「<」(戻るボタン)をタッチすると、キャンセル確認の画面に切り替わります。「確定」または「戻る」をタッチすると、「ホーム」画面または「V2H システム設定」画面に戻ります。

室内リモコンで V2H システムの詳細設定を設定する場合

1 ホーム画面の「車両アイコン」をタッチする



「V2H システム設定」画面に切り替わります。

2 V2H システム設定の各種詳細設定を設定する



変更したい項目をタッチすると選択できます。(75 ページ参照)
各設定項目の設定を変更した状態で「確定」をタッチすると、確定確認画面に切り替わります。

「はい」をタッチすると、変更内容を確定して「ホーム」画面に戻ります。
「いいえ」をタッチすると、「V2H システム設定」画面に戻ります。

メモ

- 「次へ」をタッチすると、ページを送ります。
- 「前へ」をタッチすると、前のページに戻ります。
- 各設定項目の設定を変更した状態で「キャンセル」をタッチすると、確認画面に切り替わります。「はい」をタッチすると「ホーム」画面に戻ります。「いいえ」をタッチすると「V2H システム設定」画面に戻ります。



オーナーズ倶楽部に接続する【専用アプリのみ】

ニチコンオーナーズ倶楽部に接続し、専用アプリの WebView で蓄電システムの状態を確認することができます。

メモ

- ニチコンオーナーズ倶楽部の会員登録（無料）およびニチコン見守りサービスの加入（無料）が必要です。
- 専用アプリの WebView 表示は、インターネット接続が必要です。インターネットへの接続はお客様のスマートフォンのネットワーク環境を利用します。インターネット回線契約・利用に伴う費用はお客様のご負担となります。
- 専用アプリの WebView 表示中に、点検コード「BExxx」、「BFxxx」、「Blxxx」が発生した場合は、発生時にスマートフォンにプッシュ通知が送信されます。（106 ページ）
- 蓄電システムの状態（「蓄電システムの状態を見る」）は、専用アプリ WebView 表示専用の機能です。ブラウザからオーナーズ倶楽部に接続→ログイン→マイページを表示した場合、本機能は利用できません。

1 ドロワーメニューの「おでかけ接続※1」をタッチ→ログインする



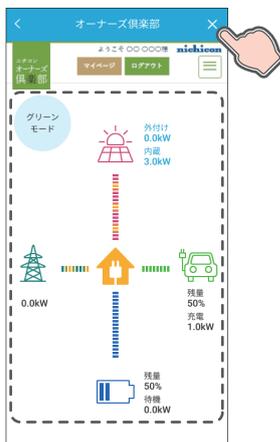
専用アプリの WebView でニチコンオーナーズ倶楽部を表示します。メールアドレス、パスワードを入力してログインすると、蓄電システムの状態を表す画面に切り替わります。

※ 1: パワーコンディショナに接続された無線 LAN ルーターと Wi-Fi 接続が可能な場合は、ホーム画面に「オーナーズ倶楽部」を表示します。「オーナーズ倶楽部」をタッチ→ログインすると、「マイページ」に切り替わります。「蓄電システムの状態を見る」をタッチすると、蓄電システムの状態を表す画面に切り替わります。

メモ

- WebView 表示にはスマートフォンのインターネット接続が必要です。
- パワーコンディショナに接続された無線 LAN ルーターと Wi-Fi 接続できない場合は、併設している機器構成に関わらず、専用アプリ初期状態の画面を表示します。
- パワーコンディショナに接続された無線 LAN ルーターと Wi-Fi 接続が可能な場合、ホーム画面の「オーナーズ倶楽部」をタッチすると、Wi-Fi 接続を切断して、専用アプリの WebView 表示に切り替えます。
- ニチコンオーナーズ倶楽部で登録しているメールアドレスとパスワードを入力してください。
- ニチコンオーナーズ倶楽部に会員登録をしていない方は、「新規登録」もしくは「新規会員登録はこちら」をタッチし、会員登録（無料）をしてください。

2 蓄電システムの状態を確認し、WebView 表示を終了する



太陽光の発電電力、蓄電池や V2H の充放電電力など、蓄電システムの状態を専用アプリの WebView で表示します。

確認後、「×」（閉じる）をタッチすると WebView 表示を終了します。パワーコンディショナとの接続に成功すると、専用アプリのホーム画面を表示します。

メモ

- ニチコン見守りサービスの加入（無料）が必要です。
- 蓄電システムは、ニチコン見守りサーバーに一定の周期（10 分程度）で自動的に接続し、その時点の状態表示を継続します（リアルタイムでの更新ではありません）。パワーコンディショナとニチコン見守りサーバーの通信が途切れている場合は、最後に取得した情報での表示を継続します。
- 外付け太陽光発電を併設している場合、「外付け太陽光発電の電力表示」（70 ページ）に関わらず、WebView 表示では、太陽光発電電力をそれぞれ表示します。
- ネットワーク状態アイコンおよび発電抑制情報は、WebView 表示されません。（23 ページ）
- 「マイページ」をタッチすると、マイページ画面に切り替わり、ニチコンオーナーズ倶楽部の各ページへの遷移が可能です。（90 ページ）
- 「ログアウト」をタッチすると、オーナーズ倶楽部からログアウトして「会員ログイン」画面に切り替わります。

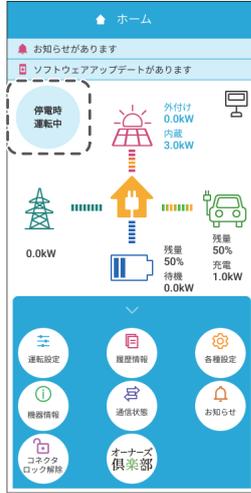
停電時の使い方（自立運転）

停電が発生した際は、本製品は停電時の運転に自動で切り替わります。

- 停電時運転中は、ホーム画面上に「停電時運転中」を表示します。
- 専用アプリは、停電時運転に切り替わる際、点検コード「BI690」が表示されることがあります。（110 ページ参照）

■ 停電時ホーム画面例

- 専用アプリ



- 室内リモコン

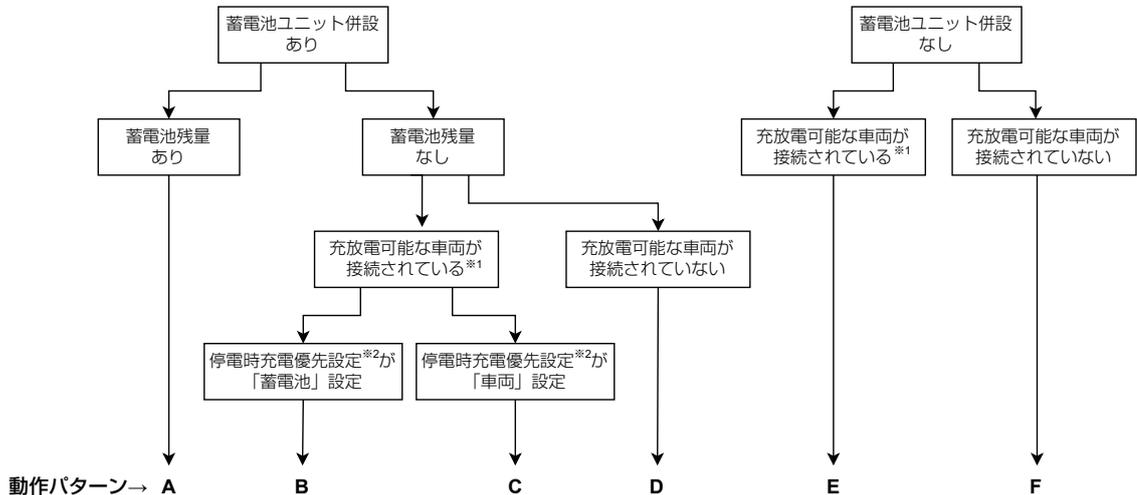


蓄電システムの停電時運転モードについて

停電時運転

太陽光、蓄電池、車両の状況や、優先設定等に応じて、自動的に動作パターンを切り替えて家電製品への給電および蓄電池・車両の充放電を行います。

停電時運転の動作パターン

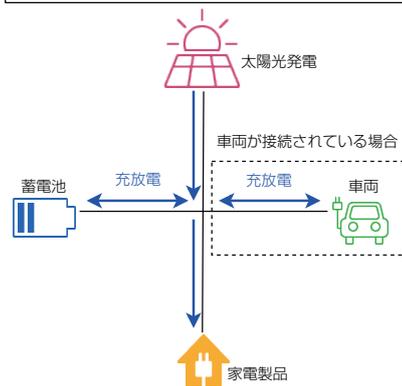


※ 1: V2H システムを併設している場合かつ、コネクタロック状態を意味します。

※ 2: 室内リモコンでは、「非常時充電優先設定」を意味します。

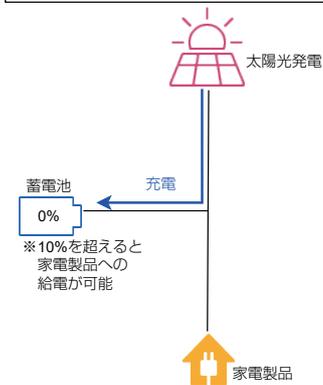
動作パターンA

・太陽光発電電力を家電製品に給電し、余剰電力を停電時充電優先設定に従って、蓄電池もしくは車両に充電します。
 ・太陽光発電電力が不足している場合や、発電していない場合は、不足分を停電時放電優先設定に従って、蓄電池もしくは車両から給電します。



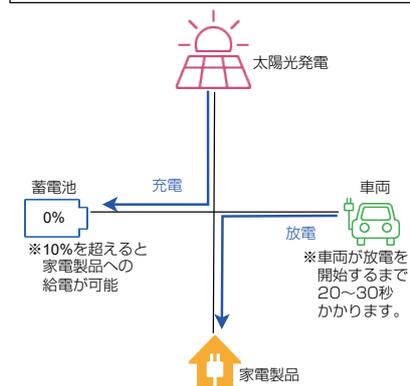
動作パターンD

・家電製品には給電されません。
 ・太陽光があれば、太陽光発電電力は蓄電池の充電に充てられます。
 ・蓄電池残量が10%を超えると、蓄電池からも給電できます。



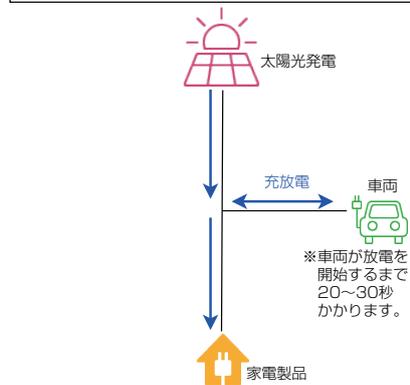
動作パターンB

・車両から家電製品に給電し、太陽光があれば、太陽光発電電力は蓄電池の充電に充てられます。
 ・蓄電池残量が10%を超えると、蓄電池からも給電できます。
 ・車両が放電を開始するまで20~30秒かかります。



動作パターンE

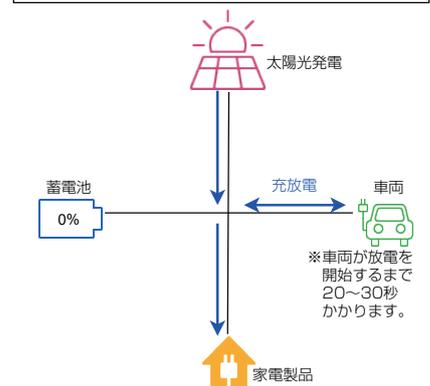
・太陽光発電電力を家電製品に給電し、余剰電力を車両に充電します。
 ・太陽光があれば、太陽光発電電力は蓄電池の充電に充てられます。
 ・太陽光発電電力が不足している場合や、発電していない場合は、不足分を車両から給電します。
 ・車両が放電を開始するまで20~30秒かかります。



※蓄電池ユニットを併設していない場合、「停電時放電動作」(もしくは「非常時放電動作」)が「しない」に設定されていた場合は、車両のコネクタが解除されるため、この動作パターンはありません。

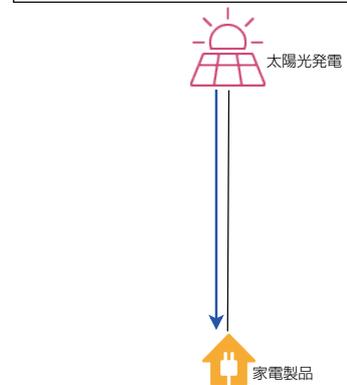
動作パターンC

・太陽光発電電力を家電製品に給電し、余剰電力を車両に充電します。
 ・太陽光があれば、太陽光発電電力は蓄電池の充電に充てられます。
 ・太陽光発電電力が不足している場合や、発電していない場合は、不足分を車両から給電します。
 ・蓄電池は充放電しません。
 ・車両が放電を開始するまで20~30秒かかります。



動作パターンF

・太陽光があれば、太陽光発電電力を家電製品に給電します。



メモ

- ・V2Hシステムの「停電時放電動作(もしくは「非常時放電動作」)」が「しない」に設定されていた場合は、車両からは放電しません。(74、77ページ)
- ・動作パターンを切り替えるとき、本システムからの給電が数秒間停止する場合があります。
- ・V2Hシステムの起動から30分程度経過していないときは、自動で自立運転を開始できません。そのときは「停電時に車両を利用した起動方法」(83ページ)を参照して停電時運転を開始してください。

停電時運転中の動作について

停電時運転中に、下記のいずれかに該当する場合、外付け太陽光発電が一時的に停止します。その場合、本システムからの給電が1秒程度停止する場合があります。

- ・太陽光余剰電力が本システムの最大充電電力^{*1}を上回った場合
- ・蓄電池または車両蓄電池の残量が100%に近い状態で太陽光余剰電力がある場合

解消すると、自動的に運転を再開しますので特別な操作は必要ありません。

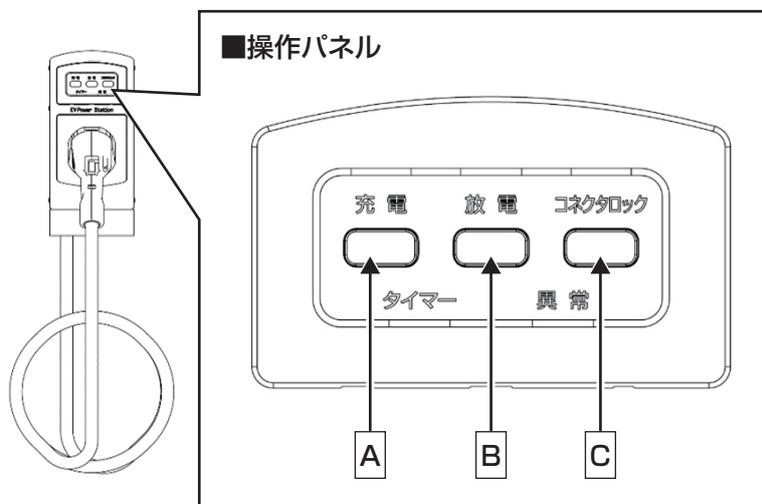
また、外付け太陽光パワーコンディショナに周波数異常を知らせる表示ができる場合がありますが、異常ではありません。

※1: 最大充電電力は蓄電池ユニットの種類や車両により異なります。蓄電池および車両の最大充電電力設定は、蓄電池のご使用状況によっては、設定した最大充電電力より低下することがあります。(62、64ページ参照)
 蓄電池ユニット(7.7 kWh): 4.0 kVA、蓄電池ユニット(9.7 kWh): 5.9 kVA、車両: 5.9 kVA

V2H システムの操作パネルでコネクタロック・コネクタロック解除を行う場合

V2H システムのプラグホルダ側操作パネルのいずれかのボタンをタッチすると、車両状態を変更することができます。

■ プラグホルダ



	① 現在の運転モード状態		→	② V2H システム操作パネルのボタンをタッチ	→	③ 変更後の運転モード状態	
	運転モード	車両状態				運転モード	車両状態
1	停電時運転	コネクタロック	→	充電 (A)	→	停電時運転	コネクタロック解除
2			→	放電 (B)	→		コネクタロック解除
3			→	コネクタロック (C)	→		コネクタロック解除
4		コネクタロック解除	→	充電 (A)	→		コネクタロック
5			→	放電 (B)	→		コネクタロック
6			→	コネクタロック (C)	→		コネクタロック

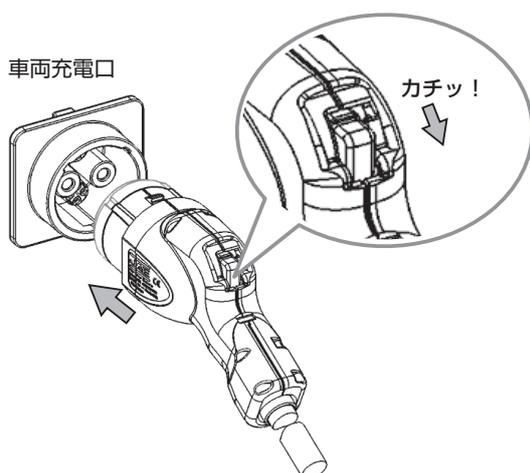
停電時に車両を利用した起動方法

※車種によっては記載内容と異なる操作が必要となる場合があります。詳しくは車両の取扱説明書を参照してください。
停電時、蓄電池の残量がなく太陽光発電電力もない場合で、車両がコネクタロックしていないとき、またはコネクタロックしているが充放電時間帯以外のときは、蓄電システムが停止します。

車両の蓄電池残量が、車両ごとに定められた「放電可能下限値」よりも残っている場合は、充放電コネクタを車両に接続し、下記の操作を行って本システムを起動してください。

車両の電源ソケットを利用した起動方法

1 充放電コネクタを車両に接続する



充放電コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

メモ

- 車両充電口にコネクタをしっかりと差し込んで抜けないことを確認してください。

2 プラグホルダに 12 V 電源ケーブルを接続する



プラグホルダ右側面の「12V_IN」に 12 V 電源ケーブルを接続してください。
ふたは、左に回して手前に引くと取り外せます。

メモ

- 使用時以外は常時ふたを付けておいてください。

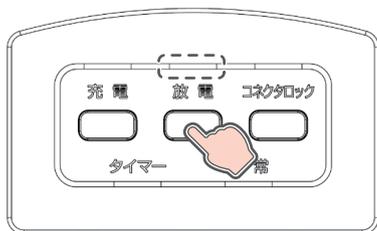
3 車両の電源ソケットに 12 V 電源ケーブルを接続する

車両の電源ソケットに付属品の 12 V 電源ケーブルを接続して、車両のパワースイッチを ACC（アクセサリ）にします。

メモ

- 車両のソケットの位置および接続については、車両の取扱説明書をご確認ください。

4 自立運転を開始する



操作パネルの LED が点滅から消灯するまでお待ちください。
消灯後、「放電」ボタンを押すと、「放電」LED が点滅します。
自立運転を開始すると、「放電」LED が点灯します。

メモ

- 自立運転の電力供給開始に約 20 ～ 30 秒の時間がかかります。

5 車両のパワースイッチを OFF にする

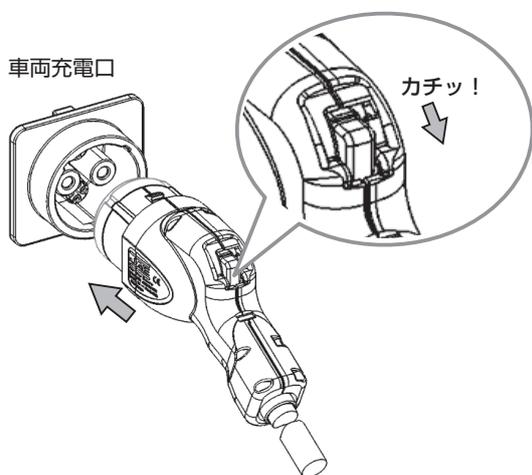
車両からの放電状態を確認してから、車両のパワースイッチを OFF にします。
12 V 電源ケーブルを取り外してください。

メモ

- 車両の消費電力が大きくなり車両蓄電池が早く消費されてしまうため、放電確認後は車両のパワースイッチを必ず OFF にしてください。
- 車両によってはパワースイッチを OFF にすると自立運転が停止するものがあります。停止するときはパワースイッチを ACC のままにしてください。

充放電コネクタを利用した起動方法

1 充放電コネクタを車両に接続する

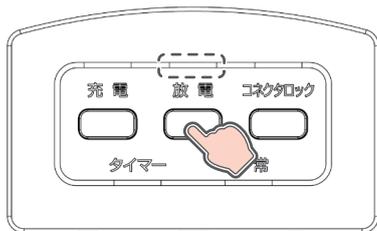


充放電コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。
「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

メモ

- 車両充電口にコネクタをしっかりと差し込んで抜けないことを確認してください。

2 自立運転を開始する



操作パネルのLEDが点滅から消灯するまでお待ちください。消灯後、「放電」ボタンを押すと、「放電」LEDが点滅します。自立運転を開始すると、「放電」LEDが点灯します。

メモ

- 自立運転の電力供給開始に約20～30秒の時間がかかります。

復電時の操作

- 停電後、復電した場合は、本システムに対して特別な操作はありません。
- 復電後、電力会社との協議で定められた時間内（最大5分）は買電して家電製品に給電しますが、本システム（内部PVの太陽光発電を含む）は停止状態となります。その後、通常時のモードで運転します。

停電時の家電製品の使用について

AC100V, 200V 機器合わせて、消費電力 3500W を目安に家電製品をご使用できます。

定格出力・・・蓄電池 (7.7 kWh) のとき : 片相 2.0 kVA / 両相合計 4.0 kVA
蓄電池 (9.7 kWh) のとき : 片相 3.0 kVA / 両相合計 5.9 kVA

- 自動切替開閉器が切り替わる時、5秒程度電気の供給が瞬断します。そのため、途中で電源が途切れると不具合を生じる家電製品や機器（医療機器等）は接続しないでください。なお、V2Hシステムを併設している場合で、蓄電池ユニットを併設していない、もしくは蓄電池ユニットの蓄電池残量がゼロのとき、V2Hシステムは、自立運転の電力供給開始に約20～30秒の時間がかかります。
- 専用アプリでのみ操作（室内リモコンを設置していない）をしている場合、ルーターの電源が喪失し、起動していない状態では停電中の操作ができません。ルーターが起動していることを確認してください。
- 特定の電気波形（半波整流）で動作する家電製品や機器を接続すると、蓄電システムが自立運転を停止し、再起動を繰り返す場合があります。その際は使用している機器のコンセントを抜いてください。
- センサー機能や調光機能がある照明は、ちらつく場合や、動作しない場合があります。
- 突入電流が大きい家電製品や業務用機器などは一部動作しない場合があります。
- 消費電力が大きい家電製品や業務用機器などを利用する際には、動作させる前に、他の家電製品を減らすなど、蓄電システムが供給できる電力を超えないように工夫してください。
- 蓄電システムが供給できる電力以上の家電製品が接続された場合は、蓄電システムが自立運転を停止し、再起動を繰り返します。その場合は、接続している家電製品の数を減らしてください。また、突入電流などの家電製品の特性により、同様の現象が発生する場合があります。
- 動作電流が大きい家電製品や業務用機器などは自立運転切り替え時に動作しなかったり、過電流保護が働いてしまう可能性があります。
- 蓄電池残量が100%の場合、5分に1回の頻度で瞬間的に電圧が低下してちらつく場合や、動作しない場合があります。

家電製品をご使用の際は、下記のとおり注意してください。

生命にかかわる家電製品	接続禁止 ^{※1}	医療機器等
安全にかかわる機器	接続禁止 ^{※1}	エレベーター等
途中で電源が途切れると不具合を生じる家電製品	接続禁止 ^{※1}	デスクトップ型パソコン等
特定の電気波形（半波整流）で動作する家電製品 ^{※2}	動作しない場合がある ^{※3}	ドライヤー ^{※4} 、温水洗浄便座、電気カーペット等
突入電流が大きい家電製品 ^{※2}	動作しない場合がある	掃除機、遠赤外線ヒーター、洗濯機、業務用機器等
消費電力（動作電流）が大きい家電製品 ^{※2}	動作しない場合がある	電子レンジ、電気ストーブ、業務用機器等
保温機能がある家電製品 ^{※2}	動作しない場合がある	炊飯器、温水洗浄便座等

※1: 停電時に製品の使用が必要となる場合は、製品にて要求されているバックアップ電源を別途使用してください。

※2: 蓄電システムが自立運転を停止し、再起動を繰り返す場合があります。その際は使用している家電製品のコンセントをいくつか抜いてください。

※3: 特定の設定時にのみ特定の電気波形で動作する家電製品や機器の場合は、蓄電システムが自立運転を停止し、再起動を繰り返す場合があります。その際は使用している機器のコンセントを抜いてください。

※4: ドライヤーを弱モードで使用する場合は、動作しない場合があります。その場合は「強モード」で使用してください。



本製品では災害による停電の場合、自動的に自立運転に切り替えて電力供給を開始するため、通電火災を引き起こすおそれがあります。そのため、電熱機器など発煙、発火、火災を引き起こすおそれのある家電製品の扱いについては、下記の点にご注意ください。

ただし、室内リモコン（オプション）を設置している場合は、手動で切り替えることも可能です（64 ページ）。

- 連系運転時：本製品に接続したままにせず、ご使用後は本製品から外してください。
- 自立運転時：通電しても安全であることを確認した後、本製品に接続してください。

電熱機器など発煙、発火、火災を引き起こすおそれのある家電製品一例



停電時にご利用できる家電製品の目安

「蓄電池放電下限値（非常時安心設定）：70%」の場合は、以下のとおりに家電製品の使用が可能です。

接続家電製品例	同時使用可能時間（蓄電池容量 / 蓄電池ユニット型番）	
	7.7 kWh / QREADY-B77-1	9.7 kWh / QREADY-B97-1
LED 照明（10 W） 冷蔵庫（70 W） テレビ（150 W） ルーター・TV ブースター等（10 W） 携帯電話（2 台 10 W）	約 9 時間	約 11 時間

- 蓄電池の劣化（50%）を見込んでいます。（容量保証・・・15 年）
- 実際の使用環境・機器等によって、電力の使用可能時間が異なります。
- 蓄電池ユニットを併設していない場合は、太陽光が発電している時のみご利用いただけます。

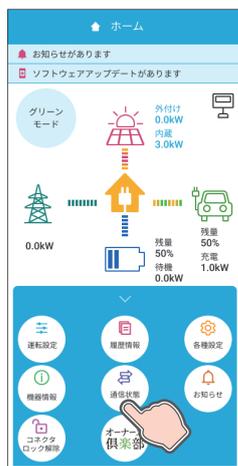
ネットワークの接続状態を確認する

ネットワークの接続状態を表示します。

お客様は設定を変更することはできません。変更する場合は、お買い上げの販売会社に連絡してください。

専用アプリでネットワーク接続状態を確認する場合

1 ドロワーメニューの「通信状態」をタッチする



「通信状態」画面に切り替わります。

メモ

- 無線 LAN ルーターを設置しない場合は、室内リモコン (オプション) を設置する必要があります。
- インターネット接続をしない場合は、以下の項目が利用できません。
 - ニチコンのネットワークサービス (見守りサービスなど)
 - ソフトウェアの更新
 - HEMS との通信
 - 出力制御対象邸の場合、スケジュール更新は有償対応となります。

2 情報を更新し、内容を確認する

■ 出力制御対象外の場合



ネットワーク接続の通信状態を確認できます。「更新」をタッチすると接続情報を更新します。

- ルーター接続**
ルーターとの接続状態^{*1}を表示します。
- NTP サーバ**
時刻情報サーバとの接続状態^{*2}を表示します。
 - 出力制御対象時は表示しません。
- 見守りサーバ接続**
ニチコン見守りサーバとの接続状態^{*2}を表示します。
- 電力会社サーバ接続**
電力会社サーバとの接続状態^{*2}を表示します。
 - 出力制御対象時のみ表示します。
- 更新スケジュール取得日**
出力制御の更新スケジュール取得日を表示します。
 - 出力制御対象時のみ表示します。
- パワコンの接続設定 (IP アドレス設定 / IP アドレス / サブネットマスク / デフォルトゲートウェイ)**
パワーコンディショナのネットワーク接続設定内容を表示します。
 - お客様は設定を変更することはできません。変更する場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

■ 出力制御対象の場合



※ 1: パワーコンディショナがルーターと接続できていない場合は、「NG」と表示します。

※ 2: パワーコンディショナが各サーバーに接続できていない場合は、「NG」と表示します。

メモ

- 製品出荷時の IP アドレス設定は、「自動設定」です。特別な事由により「手動設定」にする場合は、お買い上げの販売会社に IP アドレスの設定変更を依頼 (有償) してください。なお「手動設定」の場合、ルーター交換等によりルーター側の IP アドレスが変わった場合は、パワーコンディショナの IP アドレスの設定変更が必要です。その場合は、再度お買い上げの販売会社に IP アドレスの設定変更を依頼 (有償) してください。お客様は IP アドレスに関する設定を変更することはできません。IP アドレス設定は「自動設定」でのご利用を推奨します。
- 更新スケジュールは、電力会社サーバに自動的に接続して取得します。
- NTP サーバと見守りサーバ接続が NG と表示された場合でも、結果表示の 30 秒後に「更新」をタッチして OK 表示に変わる場合は、正常に接続できていますのでそのままお使いください。

3 確認を終了する

■ 出力制御対象外の場合



ナビゲーションバーの「<」(戻るボタン)をタッチすると、「ホーム」画面に戻ります。

室内リモコンでネットワーク接続状態を確認する場合

1 ホーム画面の「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「各種設定 / グラフ」画面の「通信状態」をタッチする



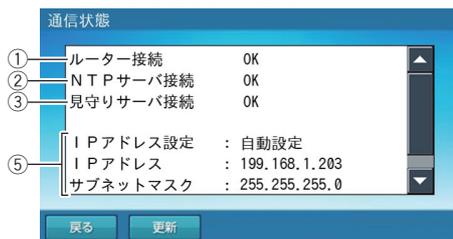
「通信状態」画面に切り替わります。

メモ

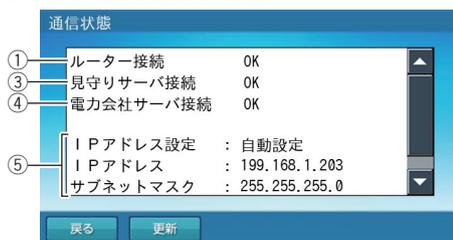
- 無線 LAN ルーターを設置しない場合は、室内リモコン (オプション) を設置する必要があります。
- インターネット接続をしない場合は、以下の項目が利用できません。
 - エチコンのネットワークサービス (見守りサービスなど)
 - HEMS との通信
 - 出力制御対象邸の場合、スケジュール更新は有償となります。

3 情報を確認し、内容を確認する

■ 出力制御対象外の場合



■ 出力制御対象の場合



ネットワーク接続の通信状態を確認できます。

- 「更新」をタッチすると接続情報を更新します。
- 「戻る」をタッチすると「各種設定/グラフ」画面に戻ります。

① ルーター接続

ルーターとの接続状態^{*1}を表示します。

② NTPサーバ

時刻情報サーバとの接続状態^{*2}を表示します。

- 出力制御対象時は表示しません。

③ 見守りサーバ接続

二チコン見守りサーバとの接続状態^{*2}を表示します。

④ 電力会社サーバ接続

電力会社サーバとの接続状態^{*2}を表示します。

- 出力制御対象時のみ表示します。

⑤ IPアドレス設定 / IPアドレス / サブネットマスク / デフォルトゲートウェイ

パワーコンディショナのネットワーク接続設定内容を表示します。

- お客様は設定を変更することはできません。変更する場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

※ 1: パワーコンディショナがルーターと接続できていない場合は、「NG」と表示します。

※ 2: パワーコンディショナが各サーバに接続できていない場合は、「NG」と表示します。

✎ メモ

- 製品出荷時のIPアドレス設定は、「自動設定」です。特別な事由により「手動設定」にする場合は、お買い上げの販売会社にIPアドレスの設定変更を依頼（有償）してください。なお「手動設定」の場合、ルーター交換等によりルーター側のIPアドレスが変わった場合は、パワーコンディショナのIPアドレスの設定変更が必要です。その場合は、再度お買い上げの販売会社にIPアドレスの設定変更を依頼（有償）してください。お客様はIPアドレスに関する設定を変更することはできません。IPアドレス設定は「自動設定」でのご利用を推奨します。
- 「通信状態」画面はスクロールして内容を確認してください。
- NTPサーバと見守りサーバ接続がNGと表示された場合でも、結果表示の30秒後に「更新」をタッチしてOK表示に変わる場合は、正常に接続できていますのでそのままお使いください。

4 「ホーム」画面に戻る



「ホーム」をタッチすると、「ホーム」画面に戻ります。

ネットワークサービス

ネットワークサービスに加入されることで、より便利に蓄電システムをご活用いただけます。
詳しくはニチコンオーナーズ倶楽部^{※1}をご参照ください。

- 各種ネットワークサービスをご利用の際は、ニチコンオーナーズ倶楽部にリンクされている「ニチコンのネットワークサービスについて^{※2}」をご確認のうえ、ニチコンオーナーズ倶楽部からお申込みください。



ニチコン
オーナーズ
倶楽部

nichicon

新規登録 ログイン

家庭用蓄電システム

ニチコン
オーナーズ
倶楽部

ニチコンオーナーズ倶楽部は、
ご購入いただいた製品を、長く快適に、
安全にお使いいただくための情報やサービスを提供いたします。

登録料無料 | 年会費無料

※ 1: ニチコンオーナーズ倶楽部 <https://owners.nichicon.co.jp>

※ 2: ニチコンのネットワークサービスについて

https://www.nichicon.co.jp/products/ess/pdf/network_service_manual.pdf

こんなときは

ブザー音や異音について

以下の音は本製品の異常ではありません。

ピピ音	室内リモコンのブザー音です。
ジージー音	
チリチリ音	製品内部の回路が動作するときに発生する音です。
チャリチャリ音	
カチャ音	製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。(運転開始時と停止時に発生します)
ブーン音	ファンの音です。
ガチャ音	自動切替開閉器の内部スイッチが切り替わるときに発生する音です。(停電/復電時に発生します)

メモ

- 聴覚感覚が高い方にとって、運転時の高周波音は不快に感じる場合がありますが異常ではありません。
- 室内リモコンのブザー音(ピピ音)が鳴ったときは、画面に表示されたメッセージおよび「点検コード (BExxx、BFxxx、Blxxx) が表示されたとき」(105 ページ) の処置に従ってください。

動作がおかしいと感じたとき

ブレーカが頻繁に落ちる場合

お買い上げの販売会社へご連絡ください。

契約電力を変更する場合

契約容量を変更する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

停電時に家電製品が使用できない場合

- ブレーカが落ちていないか確認してください。ブレーカが落ちている場合は、ブレーカを上げてください。
- 専用アプリや室内リモコンに点検コードが表示されている場合は、メッセージおよび「点検コード (BExxx、BFxxx、Blxxx) が表示されたとき」(105 ページ) の処置に従ってください。
- 太陽光発電がなく、蓄電池ユニットの蓄電池残量がゼロの場合および車両の蓄電池残量が車両ごとに定められた「放電可能下限値」以下の場合は、本製品を利用することはできません。
- 上記要因でない場合、故障の可能性があります。お買い上げの販売会社へご連絡ください。

蓄電池ユニットや車両が 100% まで充電できない場合

- 充電時間帯に他の家電製品(電気温水器、床暖房など)を多く使っている場合、電力契約によっては、充電できる電力が不足し、100% まで充電できない場合があります。その場合は、電力契約の見直しなどについて、お買い上げの販売会社にご相談ください。
- 充電時間が短い場合、100% まで充電できない場合があります。「システムの充放電時刻を設定する」(45 ページ) を参照してください。
- 最大充電電力設定を低く設定している場合は、蓄電池ユニットや車両への充電時に最大充電電力が自動的に制限され、充電時間帯に 100% まで充電できない場合があります。「機器情報について」の「最大充電電力設定」(62、64 ページ)を確認してください。
- 蓄電池充電上限値および車両充電上限値が設定されている場合は、設定されている値までしか充電できません。「蓄電池ユニットの充電上限値・放電下限値を設定する」(50 ページ) および「V2H システムの詳細設定を設定する」(78 ページ)を確認してください。
- 車両によっては車両ごとに定められた「充電可能上限値」により、充電上限値が強制的に制限されることがあります。詳しくは、ニチコンホームページを参照してください。
(<https://www.nichicon.co.jp/products/v2h/vsg3/model/>)
- 日頃グリーンモードによる太陽光発電の余剰電力充電をご利用になっている場合、天候によっては余剰電力が不足し、100% まで充電できない場合があります。
- 自動運転モードや手動運転モードで運転中、外部制御により運転モードが切り替わっている場合があります。現在の運転モードを確認してください。蓄電池ユニットや車両へ充電したい場合は、運転設定を手動運転モードの「蓄電池充電」や「車両充電」に設定してください(42、43 ページ)。外部制御による運転モードが繰り返し切り替わることで、ご利用に支障がある場合は、電力事業者にご相談ください。

太陽光発電電力が充電できない場合

- 雨天・曇天時は十分な発電電力が確保できず、充電ができない場合があります。
- 蓄電池および車両の蓄電池残量が100%だった場合、太陽光発電の余剰電力が発生しても充電を行わず売電します。システムの充放電時間帯(45ページ)、蓄電池充電上限値設定(49ページ)、もしくは車両充電上限値設定(73、75ページ)を確認し、余剰充電ができるよう電力会社の電力で充電する充電量を抑える設定にしてください。
- グリーンモードもしくは売電モード動作中に充放電時間帯以外の時間帯となった場合は、太陽光発電の余剰電力が発生しても充電を行わず売電します。
- 蓄電池ユニットの充電電力の低下により、太陽光発電の余剰電力が発生しても充電できず売電される場合があります。
- PV余剰電力売電設定を「売電しない」にすると、自動運転モードで運転中は車両への余剰充電を行いません。V2Hシステムを併設する場合は「売電する」にすることを推奨します。本設定を変更するときは販売会社に相談してください。
- 自動運転モードや手動運転モードで運転中、外部制御により運転モードが切り替わっている場合があります。太陽光発電の余剰電力が発生しても充電を行わず売電する場合があります。ご利用に支障がある場合は、電力事業者にご相談ください。

夏季に充放電・発電動作が停止した場合

気温の上昇や日射により、パワーコンディショナあるいは蓄電池ユニットが高温になった場合に一時的に蓄電システムを停止する場合があります。専用アプリや室内リモコンに点検コードが表示されている場合は、メッセージおよび「点検コード(BExxx、BFxxx、Blxxx)が表示されたとき」(105ページ)の処置に従ってください。

蓄電池ユニットが充放電できない場合

- 蓄電池ユニットの充電上限値および放電下限値が設定されている場合は、設定されている値までしか充電および放電ができません。(「蓄電池ユニットの充電上限値・放電下限値について」(49ページ))
- V2Hシステムを併設しているかつ、充電や放電の優先設定が「車両」になっている場合、車両を優先的に利用します。「V2Hシステム設定」画面の下記項目について、お客様のご利用状況に合わせて設定してください。(73～77ページ)
 - 「放電優先設定」
 - 「充電優先設定」
 - 「停電時放電優先設定」(もしくは「非常時放電優先設定」)
 - 「停電時充電優先設定」(もしくは「非常時充電優先設定」)
- 太陽光発電が売電中の場合、蓄電池ユニットから放電することはできません。

車両が充放電できない場合

- 車両の蓄電池残量が、専用アプリや室内リモコンで設定する「車両放電下限値」または車両ごとに定められた「放電可能下限値」以下のときは放電ができません。
※専用アプリや室内リモコンで設定する「車両放電下限値」を下げることで放電できる場合があります。
- 車両の蓄電池残量が、専用アプリや室内リモコンで設定する「車両充電上限値」または車両ごとに定められた「充電可能上限値」以上のときは電力会社の電力による充電ができません。
※専用アプリや室内リモコンで設定する「車両充電上限値」を上げることで充電できる場合があります。
- コネクタロック状態になっていない場合は充放電できません。コネクタロックを行ってください。
- V2Hシステムのプラグホルダの「非常停止」ボタンが押され、V2Hシステムが非常停止している場合があります。お知らせリストに点検コード「BI730」もしくは「BI845」が表示されていないか確認してください。表示されていた場合は、V2Hシステムに異常がないことを確認してから再度「非常停止」ボタンを押して、非常停止を解除してください。
- 蓄電池ユニットを併設しているかつ、充電や放電の優先設定が「蓄電池」になっている場合、蓄電池ユニットを優先的に利用します。「V2Hシステム設定」画面の下記項目について、お客様のご利用状況に合わせて設定してください。
 - 「放電優先設定」
 - 「充電優先設定」
 - 「停電時放電優先設定」(もしくは「非常時放電優先設定」)
 - 「停電時充電優先設定」(もしくは「非常時充電優先設定」)
- 太陽光発電が売電中の場合、蓄電池ユニットから放電することはできません。
- 家電製品の消費電力がパワーコンディショナの契約容量設定値に近い場合、車両の充放電を開始するための電力が不足し、車両は充放電することはできません。その場合は、接続している家電製品の数を減らしてください。消費電力が契約容量設定値を下回ると、車両の充放電を開始します。
症状を繰り返す場合は、電力契約の見直しなどについてお買い上げの販売会社にご相談ください。

車両の充放電の動作切り替え時に数秒時間がかかる場合

車両によっては、車両との接続の取り決めにより操作を行ってから動作するまでに数秒かかる場合があります。

車両が満充電後、すぐに放電できない場合

- 車両によっては、満充電後すぐに放電できない場合があります。
- 車両によっては、一度コネクタロックが解除することがあります。その際は、再度コネクタロックを行ってください。

停電時に充電できない場合

- 太陽光発電がない場合は、蓄電池ユニットおよび車両に充電することはできません。
- 太陽光発電電力が得られる場合に、蓄電池ユニットの蓄電池残量がゼロ、かつV2Hシステム設定の停電時充電優先設定が「車両」のときは、蓄電池ユニットに充電することはできません。

停電時に蓄電池残量がゼロ・下限値を下回った場合

夜間など太陽光発電電力がない状態で停電になり、停電時に蓄電池ユニットの蓄電池残量がゼロ、および車両の蓄電池残量が車両ごとに定められた「放電可能下限値」を下回った場合は、蓄電システムが停止します。その場合は、太陽光発電電力が得られる、もしくは復電するまで本製品を利用することはできません。

停電時、安全を確認してから家電製品をご利用になりたい場合

- 室内リモコン（オプション）を設置している場合のみ、停電時の電力供給方法を設定できます。設定情報の停電時出力を「手動」に設定してください。（64、68 ページ参照）
停電時出力を「手動」に設定した場合、停電が発生すると、電力供給の確認画面が表示されます。「はい」をタッチすると家電製品に電気を供給します。繰り返し停電が発生した場合は、その都度、操作をしてください。
- 室内リモコンを設置していない場合、停電時出力の設定は「自動」となり、停電時に自動で電気を供給します。

室内リモコンの画面が表示されない場合

- 室内リモコンの電源スイッチ（スライドスイッチ）が OFF の場合は、室内リモコンの画面は表示されません。
- 停電時、太陽光発電がなく、蓄電池ユニットの蓄電池残量がゼロ、および車両の蓄電池残量が車両ごとに定められた「放電可能下限値」を下回った場合、室内リモコンは使用できません。太陽光発電電力が得られる、もしくは復電後も室内リモコンの画面が表示されない場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

専用アプリに「タイムアウト」の画面が表示された場合

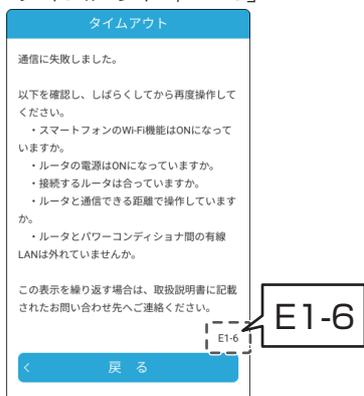
専用アプリがパワーコンディショナと通信できなくなると、以下の画面が表示されます。

専用アプリの操作中に通信できなくなった場合は、最初に「タイムアウト_E1-6」画面を 6 秒間表示し、その後に「タイムアウト_E1-1」の画面に自動で切り替わります。そのまま通信できない状態が続くと、約 1 分後に点検コード「BI690」の画面に切り替わります。その場合は、「点検コード「BI690」について」（110 ページ）の処置に従ってください。

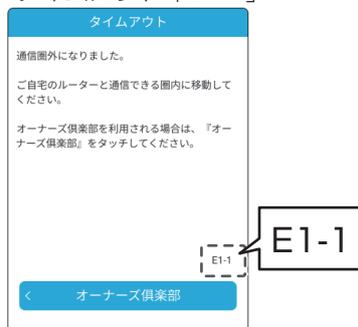
なお、「タイムアウト_E1-6」画面が 6 秒以上表示し続けている場合は、スマートフォンがルーターから離れた場所に移動するなどの一時的な通信圏外もしくは動作に時間がかかっている可能性があります。一度「戻る」ボタンをタッチして、専用アプリでもう一度操作を行ってください。

■ 専用アプリ：タイムアウト画面例

• タイムアウト「E1-6」



• タイムアウト「E1-1」



コネクタがロックできない場合

コネクタロックができないときは、以下の項目を確認してください。

- 充放電コネクタが確実に車両に接続されているか確認してください。
- 車両がパーキングの状態、パワースイッチ（車両によって名称が異なります）が OFF になっているか確認してください。
- V2H システム、車両が異常を発報していないか確認してください。
- 充放電コネクタが凍結していないか確認してください。
 - 凍結により、充放電コネクタのロック機構が動作しないことがあります。そのときはドライヤーの温風を当てて解凍してください。ぬるま湯をかけて解凍することもできますが、充放電コネクタ内部に水分が入り込むと、内部で再凍結することがあります。充放電コネクタの電極部には、ぬるま湯がかからないようにしてください。

充放電コネクタが取り出せなくなった場合

- コネクタロックが解除されていないと、充放電コネクタは取り出せません。V2H システムや専用アプリ、室内リモコンのいずれかで、コネクタロックの解除を行ってください。(35 ページ)
- 点検コード「BI949」が表示された場合は、車両接続部の電圧異常により充放電コネクタのロックを保持している可能性があります。V2H システムを再起動しても充放電コネクタのロックが解除できない場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。(111 ページ)
- 一度運転モードを設定することで取り外せる場合があります。
 - ① プラグホルダ側の操作パネルにて、「放電」、「コネクタロック」または「充電」ボタンを押してください。
 - ② 専用アプリや室内リモコンにて、「コネクタロック」をタッチしてください。
- 症状が変わらない場合は、「緊急離脱について」(119 ページ)を参照してください。

充放電コネクタを落としてしまった場合

充放電コネクタのロック/アンロック表示が「青」になり、ロックがかかった状態になる場合があります。その場合は、車両に接続してコネクタロックの操作を行ってから再度コネクタロック解除操作を行うと、充放電コネクタのロック/アンロック表示が「銀」になり、コネクタロックが解除されます。

※ ロックがかかった状態のまま、V2H システムの充放電コネクタホルダに収納した場合は、取り出すときに引っ掛かる感があります。そのまま強く引っ張って取り出してください。取り出した後は、上記の操作を行ってください。

充放電コネクタが濡れてしまった場合

布などで水分を拭き取ってください。そのままにしておくと、感電の原因となります。

充放電コネクタが凍結してしまった場合

冬季中、充放電コネクタが凍結し抜けなくなることがあります。その場合は無理に抜こうとせずに蓄電システムを停止し、ぬるま湯をかける、もしくはドライヤーの風をあてて解凍してください。付着した水分は乾いた布で拭き取ってください。

その他ご使用に関する操作方法等

停電時、安全を確認してから家電製品をご利用になりたい場合

室内リモコン(オプション)を設置している場合のみ、停電時の電力供給方法を設定できます。下記に従って、操作を行ってください。

●事前設定

1 ホーム画面の「家アイコン」をタッチする



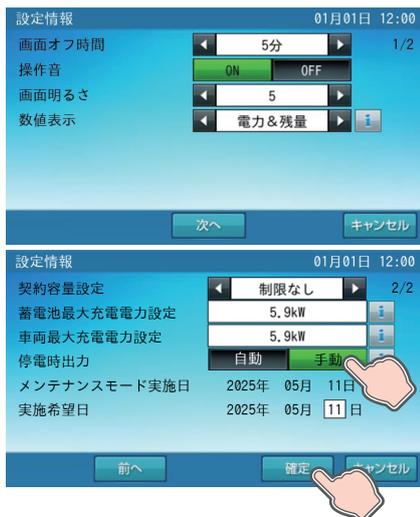
「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「設定情報」をタッチする



「設定情報」画面に切り替わります。

3 設定情報の各種設定項目を設定する



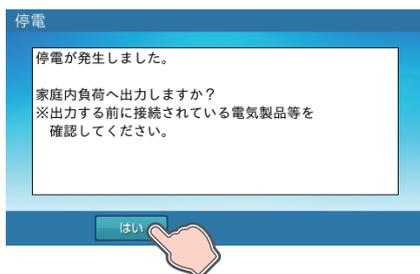
停電時出力を「手動」に設定して「確定」をタッチすると、設定情報確定の確認画面に切り替わります。「はい」をタッチすると、「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。「いいえ」をタッチすると、前画面に戻ります。(68 ページ参照)

● 停電発生時の操作

1 安全を確認する

停電が発生したら、配線、コンセントと接続している家電製品などが安全であることを確認します。

2 「はい」をタッチする



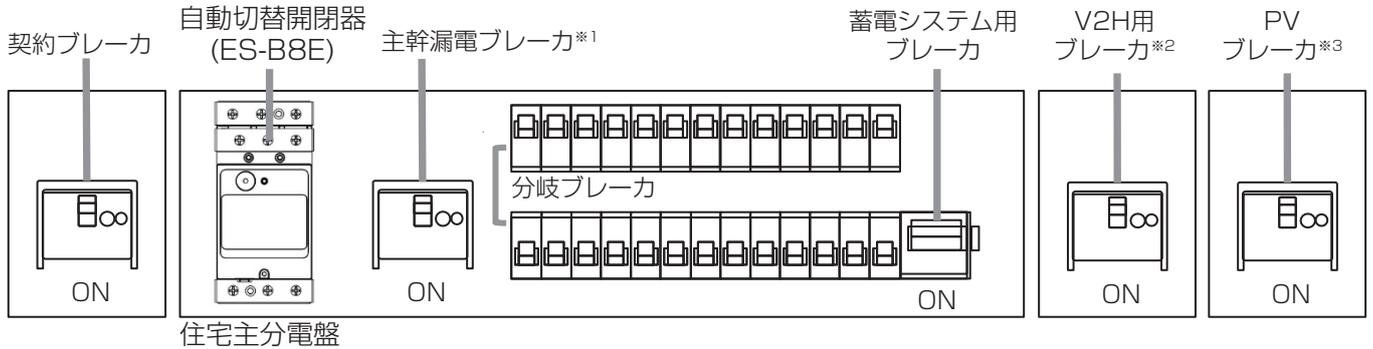
直前の画面に戻り、家電製品に電気が供給されます。繰り返し停電が発生した場合は、その都度、操作をしてください。

長期不在の場合

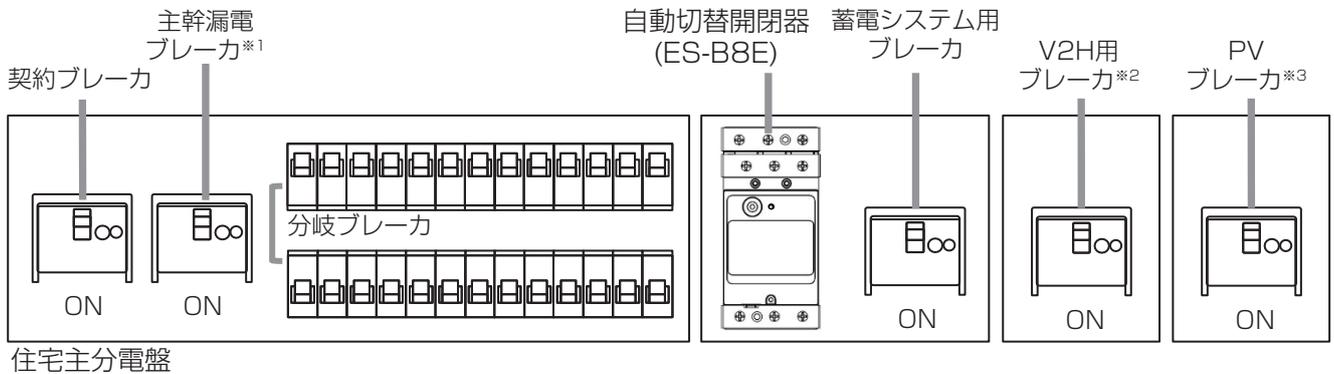
蓄電システムを起動したまま不在する場合

長期不在する場合は、運転モードを「グリーンモード」もしくは「売電モード」に設定し、「契約ブレーカ」、「主幹漏電ブレーカ」、「蓄電システム用ブレーカ」、V2H用ブレーカは「ON」の状態を維持してください。

■ 分電盤、ブレーカ配置例 1



■ 分電盤、ブレーカ配置例 2



- ※ 1: 主幹漏電ブレーカは分岐ブレーカの隣に配置しています。
- ※ 2: V2Hシステムを併設している場合に設置されています。
- ※ 3: 外付けPVパワコンありの場合のみ設置されています。

メモ

- 家電製品に電気を供給したくない場合は、住宅主分電盤の個々の分岐ブレーカを「OFF」に切り替えてください。
- 点検コードが出た状態で放置しないでください。過放電の状態となり、電池交換（有償）となることがあります。

蓄電システムを停止させて不在する場合

蓄電システムを長期間停止する場合は、過放電を防止するため、本製品内部の操作が必要となります。お客様は本製品内部を開けられず操作できません。お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。

重要 「過放電にご注意ください」

本製品は、太陽電池モジュールが発電すると、蓄電システムを自動で起動する制御がはたりますが、契約ブレーカや蓄電システム用ブレーカが「OFF」の場合は、制御中に蓄電池の充電が行えず、蓄電池が過放電の状態となり、電池交換（有償）となることがあります。

過放電を防止するために、蓄電システムおよび製品内部の操作、契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、蓄電システム用ブレーカ、V2H用ブレーカは正しく操作する必要があります。お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。

- 契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、蓄電システム用ブレーカ、V2H用ブレーカを長期間「OFF」にする、あるいは蓄電システムを長期間「運転停止」する必要がある場合は、お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。
 - ① 蓄電システムを停止させる（97ページ参照）。
 - ② 本製品内部の「PV直流開閉器 1～3」を「OFF」にする。 ※お客様は操作できません。
 - ③ 契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、蓄電システム用ブレーカ、V2H用ブレーカを「OFF」にする。
- 上記操作後に、再度契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、V2H用ブレーカ、蓄電システム用ブレーカを「ON」にする、あるいは蓄電システムの起動を再開する場合は、お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。
 - ① 契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、V2H用ブレーカ、蓄電システム用ブレーカを「ON」にする。
 - ② 本製品内部の「PV直流開閉器 1～3」を「ON」にする。 ※お客様は操作できません。
 - ③ 蓄電システムを起動させる（101ページ参照）。

蓄電システムを停止させる場合

風水害により水没のおそれがある場合等、蓄電システムを停止させる場合は、専用アプリまたは室内リモコンより下記手順に従って蓄電システムを停止させてください。

重要

蓄電システムを運転停止の状態に放置しないでください。蓄電池が過放電の状態となり、電池交換（有償）となる場合があります。蓄電システムを運転停止した際は、速やかに蓄電システムを起動させ、運転状態にしてください。（101 ページ）

メモ

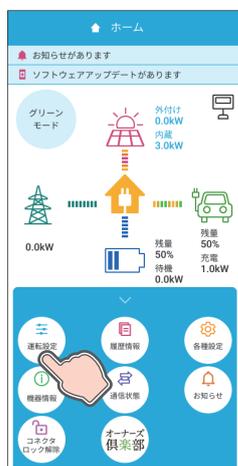
- 「蓄電システム用ブレーカ」を「OFF」にする際、ご家庭内全体でまれに5秒程度電気の供給が停止することがあります。そのため、家電製品によっては、タイマー情報などが消失する可能性があります。その場合は再度タイマー設定してご利用ください。

専用アプリで蓄電システムを停止させる場合

1 運転停止前確認をする

家電製品の電源を「OFF」にしてから蓄電システムを停止させてください。

2 ドロワーメニューの「運転設定」をタッチする



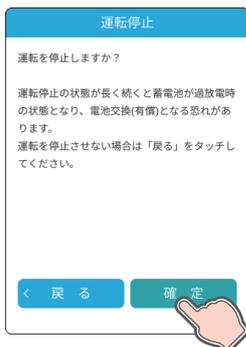
「運転設定」画面に切り替わります。

3 「運転停止」をタッチする



「運転停止」をタッチすると、運転停止の確認画面に切り替わります。

4 蓄電システムの運転を停止する



「確定」をタッチすると、蓄電システムを停止し、「停止処理」画面に切り替わります。「戻る」をタッチすると、「ホーム」画面に戻ります。

- 室内リモコンを設定している場合：手順 5 へ
- 室内リモコンを設置していない場合：手順 6 へ

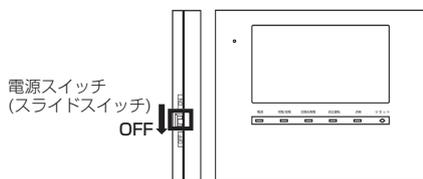
重要

- 蓄電システムを運転停止の状態に放置しないでください。蓄電池が過放電の状態となり、電池交換（有償）となることがあります。蓄電システムを運転停止した際は、速やかに蓄電システムを起動させ、運転状態にしてください。（101 ページ）
- 蓄電システムを長期間停止させる場合は、追加で本製品内部の操作が必要になります。お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。（96 ページ）

メモ

- 「戻る」をタッチすると、蓄電システムの運転停止をキャンセルして前画面に戻ります。

5 室内リモコンを「OFF」にする【室内リモコンを設置している場合】



室内リモコンの電源スイッチ（スライドスイッチ）を「OFF」してください。

メモ

- 室内リモコンが ON の場合、リモコン画面には、運転状態が「停止中」の状態を表示します。

6 蓄電システム用ブレーカを「OFF」にする

「蓄電システム用ブレーカ」を「OFF」にしてください。

- V2H システムを併設している場合：手順 7 へ
- V2H システムを併設していない場合：本手順で終了

メモ

- 「蓄電システム用ブレーカ」を「OFF」にする際、ご家庭内全体でまれに 5 秒程度電気の供給が停止することがあります。そのため、家電製品によっては、タイマー情報などが消失する可能性があります。その場合は再度タイマー設定をご利用ください。
- 「蓄電システム用ブレーカ」の位置は、96 ページを参照してください。

7 V2H 用ブレーカを「OFF」にする【V2H システムを併設している場合】

「V2H 用ブレーカ」を「OFF」にしてください。

メモ

- 「V2H 用ブレーカ」の位置は、96 ページを参照してください。

室内リモコンで蓄電システムを停止させる場合

1 運転停止前確認をする

家電製品の電源を「OFF」にしてから蓄電システムを停止させてください。

2 ホーム画面の「家アイコン」をタッチする



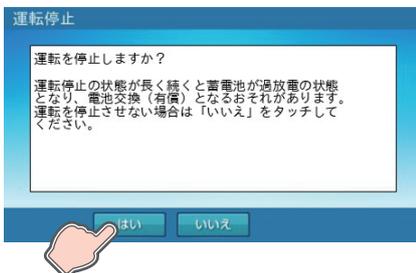
「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

3 「各種設定 / グラフ」画面の「運転停止」をタッチする



「運転停止」画面に切り替わります。

4 蓄電システムの運転を停止する

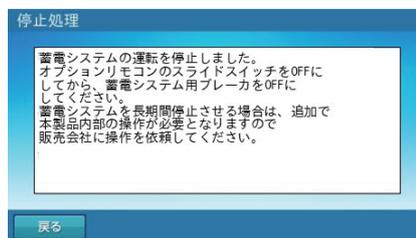


「はい」をタッチすると、蓄電システムの運転を停止して「停止処理」画面に切り替わります。「いいえ」をタッチすると、蓄電システムの運転停止をキャンセルして前画面に戻ります。

重要

蓄電システムを運転停止の状態に放置しないでください。蓄電池が過放電の状態となり、電池交換（有償）となることがあります。蓄電システムを運転停止した際は、速やかに蓄電システムを起動させ、運転状態にしてください。（103 ページ）

5 室内リモコンを「OFF」にする



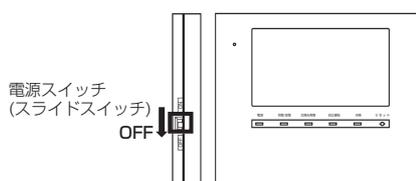
室内リモコンの電源スイッチ（スライドスイッチ）を「OFF」してください。

重要

蓄電システムを長期間停止させる場合は、追加で本製品内部の操作が必要になります。お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。（96 ページ）

メモ

- 「戻る」をタッチすると、「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。運転停止状態のため、「運転開始」をタッチして、必ず運転状態にしてください。



6 蓄電システム用ブレーカを OFF にする

蓄電システムの停止処理中です。
このメッセージ画面が消えたら
蓄電システム用ブレーカを切ってください。



「蓄電システム用ブレーカ」を「OFF」にしてください。

- V2Hシステムを併設している場合：手順7へ
- V2Hシステムを併設していない場合：本手順で終了



メモ

- 「蓄電システム用ブレーカ」を「OFF」にする際、ご家庭内全体でまれに5秒程度電気の供給が停止することがあります。そのため、家電製品によっては、タイマー情報などが消失する可能性があります。その場合は再度タイマー設定してご利用ください。
- 蓄電システム用ブレーカの位置は、96ページを参照してください。

7 V2H用ブレーカを「OFF」にする【V2Hシステムを併設している場合】

「V2H用ブレーカ」を「OFF」にしてください。



メモ

- 「V2H用ブレーカ」の位置は、96ページを参照してください。

蓄電システムを起動させる場合

蓄電システムを起動させる場合は、専用アプリまたは室内リモコンより下記手順に従って操作してください。

専用アプリで蓄電システムを起動させる場合

1 V2H用ブレーカを「ON」にする【V2Hシステムを併設している場合】

「V2H用ブレーカ」を「ON」にしてください。



- 「V2H用ブレーカ」の位置は、96ページを参照してください。

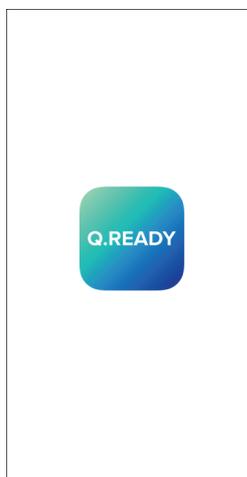
2 蓄電システム用ブレーカを「ON」にする

「蓄電システム用ブレーカ」を「ON」にしてください。



- 「蓄電システム用ブレーカ」の位置は、96ページを参照してください。

3 専用アプリを起動する



パワーコンディショナと接続すると、「ホーム」画面に切り替わります。

- パワーコンディショナとの接続に失敗する場合
 - 「権限未設定」の画面が表示された場合は、スマートフォン端末の“ローカルネットワーク”の接続が許可されていないため専用アプリが使用できません。「確定」をタッチして、スマートフォン端末の“ローカルネットワーク”の接続を「許可」してください。
 - 本システムの試運転が実施されていない場合は、本システムの運転を開始できません。専用アプリを終了し、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
 - 本システムをインターネット未接続でご使用の場合は、点検コード「BC662」のお知らせ画面が表示されますが、インターネット未接続により表示されるもので故障ではありません。「OK」をタッチしてください。
 - ルーターの通信圏外の場合は、接続確認の画面が表示されます。通信圏内に移動して、「再検索」をタッチしてください。

4 ドロワーメニューの「運転設定」をタッチする



「運転設定」画面に切り替わります。

5 「運転開始」をタッチする



「運転開始」をタッチすると、運転開始の確認画面に切り替わります。

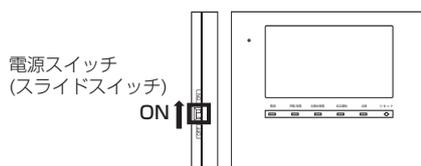
6 蓄電システムの運転を開始して「ホーム」画面に戻る



「確定」をタッチすると、蓄電システムの運転を開始して「ホーム」画面に切り替わります。「戻る」をタッチすると「運転設定」画面に戻ります。

- 室内リモコンを設定している場合：手順5へ
- 室内リモコンを設置していない場合：本手順で終了

7 室内リモコンの電源を「ON」にする【室内リモコンを設置している場合】



室内リモコンの電源スイッチ（スライドスイッチ）を「ON」して室内リモコンを起動してください。

蓄電リモコン起動中です。
しばらくお待ちください。
(この画面中は電源を切らないでください)



室内リモコンで蓄電システムを起動させる場合

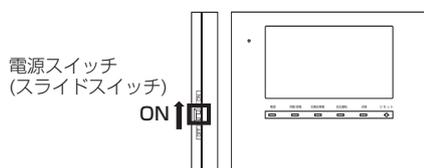
1 V2H用ブレーカを「ON」にする【V2Hシステムを併設している場合】

「V2H用ブレーカ」を「ON」にしてください。



- 「V2H用ブレーカ」の位置は、96ページを参照してください。

2 蓄電システム用ブレーカ・室内リモコンを「ON」にする



「蓄電システム用ブレーカ」および室内リモコンの電源スイッチ（スライドスイッチ）を「ON」にしてください。



- 左記の起動中画面を表示しているときは、室内リモコンの電源スイッチを「OFF」にしないでください。
- 「現在日時」画面の数字キーが表示されたときは、「室内リモコンで「日時」の設定を行う場合」（69ページ）に従い現在日時を設定してください。
- 「蓄電システム用ブレーカ」の位置は、96ページを参照してください。



3 ホーム画面の「家アイコン」をタッチする



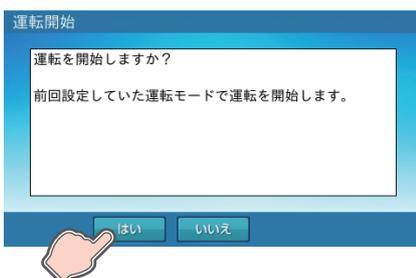
「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

4 「各種設定 / グラフ」画面の「運転開始」をタッチする



「運転開始」画面に切り替わります。

5 蓄電システムの運転を開始する



「はい」をタッチすると蓄電システムの運転を開始します。「いいえ」をタッチすると前画面に戻ります。

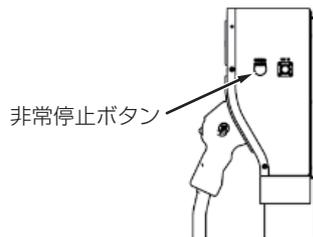
6 ホーム画面に戻る



「ホーム」をタッチすると、「ホーム」画面に戻ります。

V2H システムを非常停止する場合

プラグホルダなどで停止操作をしても停止しないときは、非常停止ボタンを押すと動作を強制停止できます。



V2H システムを非常停止から復帰する場合

非常停止状態のときは、非常停止ボタンが押されたままになっています。非常停止を解除するときは、再度非常停止ボタンを押して元の状態に戻してください。

蓄電システムを廃棄する場合

使用后、すみやかに廃棄してください。廃棄する場合は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。廃棄費用はお客様負担となります。

風水害または地震などの対応

- 風水害により水没のおそれがあるときは、あらかじめ本システムの運転を停止させて、蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしてください。(97 ページ)
- 水没した場合は、本システムを停止させた状態で、お買い上げの販売会社までご連絡ください。
- 地震により点検コードが表示されるなどの異常が発生した場合は、お買い上げの販売会社までご連絡ください。

低温時の動作について

本製品の蓄電池ユニットはリチウムイオン電池を使用しています。そのため、低温時(蓄電池ユニットの周辺温度が約 10℃以下)の特性変化により、蓄電池ユニットの蓄電池容量が少なくなる場合がありますが故障ではありません。

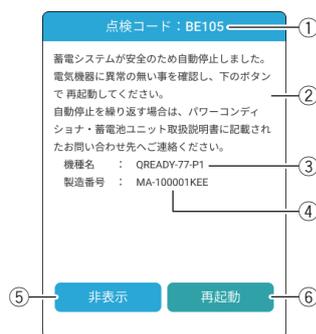
点検コード (BExxx、BFxxx、Blxxx) が表示されたとき

蓄電システムが何らかの原因で一時的に停止したとき、または停止中の状態のときに、点検コード「BExxx」、「BFxxx」、「Blxxx」が表示されます。

点検コードが表示されたときは、「点検コードのメッセージと処置」(106 ページ)に従って処置してください。お買い上げの販売会社または弊社専用ダイヤルにご連絡いただく際は、画面に表示される機種名、製造番号、点検コードを合わせてご連絡ください。(「アフターサービスについて」(124 ページ) 参照)

■ 点検コード画面例

● 専用アプリ



① 点検コード

蓄電システムが何らかの原因で一時的に停止したとき、または停止中の状態のときに「BExxx」、「BFxxx」、「Blxxx」が表示されます。(xxxには3桁の数字が入ります。)

② メッセージ

点検コードの内容を表示します。(106 ページ)

③ 機種名

システム機種名を表示します。(61、63 ページ)

④ 製造番号

システム製造番号を表示します。(61、63 ページ)

⑤ 非表示

タッチすると、30 秒間点検コードを非表示にします。(室内リモコンの場合、「BExxx」、「BFxxx」は 30 秒後に再表示します。)

⑥ 再起動

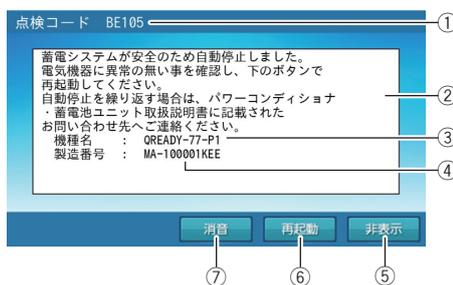
タッチすると、蓄電システムを再起動します。

⑦ 消音

タッチすると、ブザー音が止まります。

- ブザー音は室内リモコンのみ対応です。

● 室内リモコン



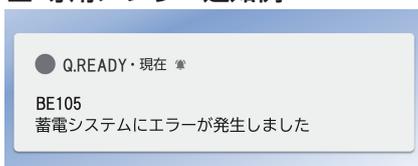
重要

点検コードが表示された状態で放置しないでください。蓄電池が過放電の状態となり、電池交換(有償)となる場合があります。

プッシュ通知で点検コードを受信したとき

- 蓄電システムが何らかの原因で一時的に停止したとき、または停止中の状態のときに、点検コード「BExxx」、「BFxxx」、「Blxxx」が発生したことをスマートフォンにプッシュ通知で表示します。

■ 専用アプリ：通知例



■ 専用アプリ：アプリアイコン例（通知あり）



- プッシュ通知で点検コードが表示されたときは、専用アプリでお知らせメッセージを確認し、「点検コードのメッセージと処置」（106 ページ）に従って処置してください。
 - プッシュ通知からパワーコンディショナの操作を行う場合は、パワーコンディショナに接続できる環境で操作を行ってください。パワーコンディショナに接続できない環境の場合、点検コードを受信してもパワーコンディショナを操作することはできません。
- お買い上げの販売会社または弊社専用ダイヤルにご連絡いただく際は、画面に表示される機種名、製造番号、点検コードを合わせてご連絡ください。（「アフターサービスについて」（124 ページ）参照）

重要

点検コードが表示された場合は、放置しないでください。蓄電池が過放電の状態となり、電池交換（有償）となる場合があります。

メモ

- プッシュ通知は、本製品と接続したすべてのスマートフォンに送信されます。
- 専用アプリは、スマートフォン端末の“通知”機能を「ON」に設定してご利用ください。

点検コードのメッセージと処置

点検コード	メッセージ	処置
BExxx	蓄電システムが安全のため自動停止しました。電気機器に異常の無い事を確認し、下のボタンで再起動してください。	メッセージに従い、蓄電システムを再起動してください。自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BE303 BE304	自動停止を繰り返す場合は、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	自動切替開閉器の復帰ボタンを 1 回短押し ^{※1} し、自動切替開閉器の状態表示 LED が緑点灯または赤点灯した後、室内リモコンの再起動ボタンをタッチしてください。自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BE204	外部 PV の発電電力が上限を超えたため、自動停止しました。下のボタンで再起動してください。自動停止を繰り返す場合は、外部 PV を停止させて再起動を行ってください。	メッセージに従い、蓄電システムを再起動してください。自動停止を繰り返す場合は、外付け太陽光発電を停止して、蓄電システムを再起動してください。
BE417	蓄電池ユニットの蓄電池容量が 50% を下回り、動作寿命を迎えました。安全のため蓄電システムの動作を停止しました。パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	蓄電池ユニットの蓄電池容量が 50% を下回ると、蓄電システムを停止します。お買い上げの販売会社へご連絡ください。蓄電池交換などの処置が必要になります。（122 ページ）
BE456 BE458	ソフトウェアの更新に失敗しました。下のボタンで再起動してください。再度自動停止した場合には、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	メッセージに従い、蓄電システムを再起動してください。再起動後、ソフトウェアの更新を再度行ってください。（123 ページ）再度自動停止した場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BFxxx	蓄電システムが自動停止しました。安全確認後、自動的に復帰します。自動停止を繰り返す場合は、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	蓄電システムは自動的に復帰するため操作の必要はありません。しばらくお待ちください。自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BF306		自動切替開閉器の温度が動作範囲を超えている場合にお知らせします。（109 ページ）
BF405		蓄電池ユニット内の温度センサが指定温度範囲を感知すると表示します。（108 ページ）

※ 1: 停電時以外に自動切替開閉器の復帰ボタンを短押しすると、2 秒程度電気の供給が瞬断します。途中で電源が途切れると不具合を生じる家電製品や機器（医療機器等）は接続しないでください。

点検コード	メッセージ	処置
BF106	接続機器の消費電力がパワーコンディショナの出力をオーバーしたため、放電を停止しました。	特定の電気波形（半波整流）で動作する機器（ドライヤーなど）が接続されていると表示されます。このような機器のご利用はお控えください。
BF201 BF202 BF203	掃除機、電子レンジ、ドライヤー等、消費電力の大きな機器の使用は避けてください。	停電時に本製品からの給電で電力が賄いきれなくなると表示されます。 掃除機、電子レンジ、ドライヤー、ヒーター等、消費電力の大きい機器のご使用はお控えください。
BF404	充電をお願いします。 蓄電池の電圧が低下しています。蓄電池保護のため、運転モードを蓄電池充電に設定し、至急充電してください。	蓄電池の蓄電池残量が0%よりさらに低下している場合にお知らせします。(109 ページ)
BI459	蓄電システムが長期間満充電にならなかったため、一時的に充電上限設定機能を「OFF」にしています。満充電に達すると、充電上限設定機能は元の設定に自動的に戻ります。	長期間満充電されない場合に表示されます。満充電できるよう各種設定を確認してください。(91 ページ)
BI460	蓄電システムが長期間満充電にならなかったため、一時的に充電上限設定機能を「OFF」にしましたが、満充電になったため、充電上限設定機能は元の設定に自動的に戻りました。	非表示をタッチしてメッセージを閉じ、そのままご利用ください。
BI483	蓄電池ユニットの温度が上昇しているため、出力を抑制しています。蓄電池ユニットの周囲に放熱を妨げるものがある場合は、取り除いてください。 表示を繰り返す場合は、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	蓄電池ユニットの温度が上昇している場合に表示されます。 蓄電池ユニットの周囲に放熱を妨げるものがある場合は、取り除いてください。 表示を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI509	パワーコンディショナの温度が上昇しているため、出力を抑制しています。パワーコンディショナの周囲に放熱を妨げるものがある場合は、取り除いてください。 表示を繰り返す場合は、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	パワーコンディショナの温度が上昇している場合に表示されます。 パワーコンディショナの周囲に放熱を妨げるものがある場合は、取り除いてください。 表示を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI670	出力制御に必要なスケジュールデータが喪失したため、出力制御を停止しています。 ネットワークに接続している場合は、データを再取得しますので、しばらくお待ちください。 ネットワークに接続していない場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。	出力制御の固定スケジュールデータが喪失した場合に表示されます。固定スケジュールが喪失している状態では、売電が行われません。ご注意ください。 ● インターネットに接続している場合は、データを再取得しますのでしばらくお待ちください。 ● インターネットに接続していない場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI690	パワーコンディショナと通信できません。 お客様の状況に応じて対応が異なりますので、該当するボタンをタッチして表示される内容に従ってください。 【外出している場合】 【停電が発生した場合】 【それ以外の場合】 おでかけ接続を利用される場合は、『おでかけ接続』をタッチしてください。 【おでかけ接続】	通信圏外の状態が継続されパワーコンディショナとの通信ができなくなった場合に表示されます。 詳しくは、110 ページを参照してください。
ロック中	点検サービス作業中のため、本アプリでの操作が行えません。 上記作業の終了後に再度接続してください。「確認」をタッチすると、本アプリを再接続します。	専用アプリは、サービス対応や施工業者による操作終了後に、再度接続してください。
タイムアウト E1-1	通信圏外になりました。 ご自宅のルータと通信できる圏内に移動してください。 オーナーズ倶楽部を利用される場合は、『オーナーズ倶楽部』をタッチしてください。	スマートフォンが、ご自宅のルーターから離れすぎた場合に表示されます。ご自宅のルーターと通信できる圏内に移動してください。 オーナーズ倶楽部を利用される場合は、『オーナーズ倶楽部』をタッチしてください。

点検コード	メッセージ	処置
タイムアウト E1-6	通信に失敗しました。 以下を確認し、しばらくしてから再度操作してください。 <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンのWi-Fi機能はONになっていますか。 ルータの電源はONになっていますか。 接続するルータは合っていますか。 ルータと通信できる距離で操作していますか。 ルータとパワーコンディショナ間の有線LANは外れていませんか。 この表示を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	スマートフォンが、パワーコンディショナと通信できなくなった場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> メッセージに従い、ネットワーク環境を確認してください。 スマートフォンのパワーコンディショナへの同時接続が5台以上のときは、4台以下にしてください。 表示を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
通信失敗 E1-7 E1-9	通信に失敗しました。 しばらくしてから再度操作してください。 この表示を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	パワーコンディショナとの通信に失敗すると表示されます。しばらくしてから再度操作してください。 表示を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
通信失敗 E1-8	通信に失敗しました。 確認をタッチすると、本アプリを再起動します。 この表示を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	専用アプリを一定時間操作しない状態が続いた後に、専用アプリを操作すると表示されます。専用アプリを再起動してください。 表示を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
設定失敗	設定を変更できませんでした。	専用アプリで各種設定の変更を「確定」できない場合に表示されます。(例：メンテナンスモード実施中に充放電時刻を変更して「確定」をタッチすると表示されます。その場合は、メンテナンスモード完了後に設定してください。)

点検コード「BF405」について

蓄電池ユニット内の温度センサが指定温度範囲(*)を感知すると、点検コード「BF405」を表示しますが、指定の温度条件外(*)になると自動的に復帰するため、エラー解除の操作は必要ありません。

蓄電池ユニットの周りに放熱を妨げる毛布などが覆いかぶさっていないか確認してください。

※：指定温度範囲は以下のとおりです。

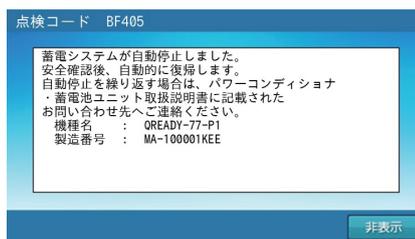
温度範囲	温度検知時の動作
- 19℃以下もしくは56℃以上	「BF405」発報
- 15℃～45℃	「BF405」解除

■ 点検コードの画面例

● 専用アプリ



● 室内リモコン



点検コード「BF404」について

点検コード「BF404」は、蓄電池の蓄電池残量が0%よりさらに低下している場合にお知らせします。蓄電池保護のため、自動運転モードの充電時間帯に関係なく、自動的に「蓄電池充電」に移行して、蓄電池残量が回復するまで充電します。

- 蓄電池残量が回復するまでは、運転モードの変更はできません。
- 「蓄電池充電」に移行している間は、ホーム画面上に「蓄電池充電」を表示します。
- V2Hシステムを併設している場合、「蓄電池充電」に移行している間は、運転モードの変更や車両から充放電することはできません。

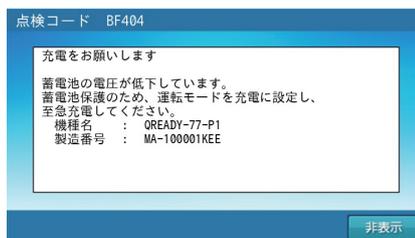
「蓄電池充電」に移行している間であっても、コネクタロックおよびコネクタロック解除は、専用アプリ、室内リモコンまたはV2Hシステムの「操作パネル」で操作することができます。

■ 点検コードの画面例

● 専用アプリ



● 室内リモコン

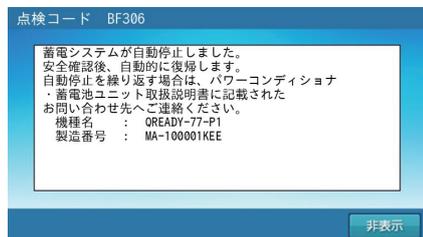


点検コード「BF306」について

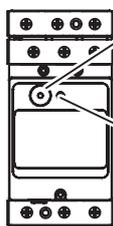
点検コード「BF306」は、自動切替開閉器の温度が動作範囲を超えている場合にお知らせします。温度が動作範囲に戻ると、自動的に復帰します。

10分程度経過しても自動復帰しない場合は、自動切替開閉器の「復帰ボタン」を1回短押し※1してください。

■ 室内リモコン：点検コード画面例



■ 自動切替開閉器



復帰ボタン
10分程度経過しても
自動復帰しない場合は、
1回短押し※1してください。

状態表示LED
緑点灯：系統運転
赤点灯：自立運転
緑赤点滅(0.2秒間隔)：故障※2
緑赤点滅(2秒間隔)：診断中

※1: 復帰ボタンは5秒以上長押ししないでください。なお、本点検コードの処置以外に本ボタンを短押しすると、2秒程度電気の供給が瞬断します。途中で電源が途切れると不具合を生じる家電製品や機器(医療機器等)は接続しないでください。

※2: 点検コード発報中は自動切替開閉器の状態表示LEDが緑赤点滅(0.2秒間隔)します。

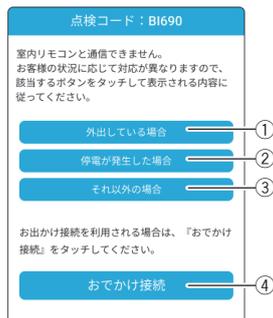
メモ

- 点検コード「BF306」発生時、専用アプリはパワーコンディショナとの通信が遮断されるため、「お知らせリスト」に記録されます。(114、115ページ)

点検コード「BI690」について

専用アプリがパワーコンディショナと通信できない状況が続くと、点検コード「BI690」を表示します。状況に応じて該当するボタンをタッチし、画面に従って対応してください。本点検コードが表示されると、専用アプリで蓄電システムの操作や稼働状態は確認できません。

■ 専用アプリ：点検コード画面例



① 外出している場合

スマートフォンがルーターから離れた場所に移動したことが原因と考えられます。ルーター通信圏外では、専用アプリから蓄電システムを操作できませんので、通信圏内に戻ってから操作してください。

② 停電が発生した場合

以下のいずれかにより、蓄電システムからの給電を停止している可能性があります。内容を確認し、「非表示」をタッチしてください。本システムが停電時運転を開始すると、専用アプリをご利用いただけます。

(A) 接続している家電製品や機器の影響の場合

停電時に下記の家電製品や機器を接続すると、蓄電システムは自立運転を停止し、再起動を繰り返す場合があります。その際はご家庭の照明などが点灯 / 消灯を繰り返す場合があります。接続している家電製品の数を減らしてください。

(「停電時の家電製品の使用について」(85 ページ) 参照)

- ドライヤー、温水洗浄便座、電気カーペット、掃除機、遠赤外線ヒーター、洗濯機、電子レンジ、電気ストーブ、炊飯器、業務用機器等

(B) 停電時に蓄電池ユニットおよび車両からの放電が行えない場合

夜間など太陽光発電電力がない状態で停電になり、停電時に蓄電池ユニットおよび車両からの放電が行えないなど、以下の場合蓄電システムが停止します。その場合は、太陽光発電電力が得られる、もしくは復電するまで本製品を利用することはできません。

- 太陽光発電がなく、蓄電池ユニットおよび V2H システムを併設していない場合
- 太陽光発電がなく、蓄電池ユニットの蓄電池残量がゼロ、および車両の蓄電池残量が車両ごとに定められた「放電可能下限値」を下回っている場合

(A)(B) 以外の場合、故障の可能性があります。お買い上げの販売会社にご連絡ください。

③ それ以外の場合

専用アプリとパワーコンディショナが通信できない状態です。以下の内容を確認し、「非表示」をタッチしてください。

- 専用アプリは、ルーターの通信圏内をご利用ください。ルーターから離れた場所や外出中など、ルーターの通信圏外では専用アプリはご利用できません。
- スマートフォン本体の Wi-Fi 機能が OFF の場合は ON にしてください。
- スマートフォン本体の Wi-Fi の接続先を確認し、ルーターの SSID に接続されているか確認してください。異なる場合は、ルーターの SSID を指定して接続してください。
- ルーターの電源が OFF の場合は ON にしてください。
- ルーターに接続されている LAN ケーブルを確認してください。コネクタ抜けがある場合は、ルーターに接続し直してください。破損している場合は、LAN ケーブルの交換が必要となりますので、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
- 同時接続機能を利用して、専用アプリがパワーコンディショナに 5 台以上接続しているときは、4 台以下にしてください。いずれの操作でも復旧しない場合、故障の可能性があります。お買い上げの販売会社にご連絡ください。

④ おでかけ接続

ニチコンオーナーズ倶楽部に接続し、専用アプリの WebView で蓄電システムの状態を表示します。(80 ページ)

- ニチコン見守りサービスの加入 (無料) が必要です。

メモ

- 専用アプリと室内リモコンを併用して利用している場合は、パワーコンディショナと通信できない状態 (外出時のルーター通信圏外の場合を除く) が長時間続くと、室内リモコンに点検コード「BC651」をお知らせします。(「点検コード「BC651」について」(117 ページ))

V2H システムに関する点検コードが表示されたとき

点検コード	メッセージ	処置
Blxxx	V2H システムが安全のため自動停止しました。 電気機器に異常の無い事を確認し、V2H システム取扱説明書に従って V2H システムの再起動を行ってから、コネクタロックを行ってください。 自動停止を繰り返す場合は、V2H システム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	電気機器に異常の無い事を確認し、V2H システムの再起動を行ってから、コネクタロックを行ってください。 自動停止を繰り返す場合は、EV パワー・ステーション [®] [VSG3-666CN7] をお買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI847 BI849 BI850 BI853 BI858	接続機器の消費電力が V2H システムの出力をオーバーしたため、放電を停止しました。	停電時に V2H システムからの給電で電力が賄いきれなくなると表示されます。
BI859	ご家庭の家電製品の電源をいくつか切って、V2H システム取扱説明書に従って V2H システムの再起動を行ってください。	メッセージに従い家電製品の電源を切り、V2H システムを再起動してください。
BI949	V2H システムが車両接続部の電圧異常を検出したため、充放電コネクタのロックを保持しております。 V2H システム取扱説明書に従って V2H システムの再起動を行ってください。 充放電コネクタのロックを解除できない場合は、V2H システム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	V2H システムを再起動してください。 充放電コネクタのロックを解除できない場合は、感電のおそれがあるため無理に外そうとはせずに V2H システム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。
BI715	V2H システムと車両の通信が確立されませんでした。 充放電コネクタの差し込み状態をご確認ください。 自動停止を繰り返す場合は、V2H システム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	V2H システム充放電コネクタの差し込み状態を確認してください。 自動停止を繰り返す場合は、EV パワー・ステーション [®] [VSG3-666CN7] をお買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI723 BI835 BI842	V2H システムが自動停止しました。 安全確認後、自動的に復帰します。 自動停止を繰り返す場合は、V2H システム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	V2H システムが自動停止した場合に表示されます。 自動停止を繰り返す場合は、EV パワー・ステーション [®] [VSG3-666CN7] をお買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI730 BI845	V2H システムの非常停止ボタンが押されました。 安全を確認の上、再度非常停止ボタンを押してからコネクタロックを行ってください。	安全確認後、再度 V2H システムの非常停止ボタンを押してからコネクタロックを行ってください。
BI851 BI854 BI856	接続機器の消費電力が V2H システムの出力をオーバーしたため、放電を停止しました。 掃除機、電子レンジ、ドライヤー等、消費電力の大きな機器の使用は避けてください。	停電時に V2H システムからの給電で電力が賄いきれなくなると表示されます。 掃除機、電子レンジ、ドライヤー、ヒーター等、消費電力の大きい機器のご使用はお控えください。

本システムは、V2H システムが再起動するまで、V2H システムを切り離して運転します。
V2H システム (EV パワー・ステーション[®][VSG3-666CN7]) を再起動してください。

- V2H システムの点検コード発生中はホーム画面^{*1}の表示が異なります。必ず「お知らせ」を確認してください。
- V2H システムの再起動が必要です。再起動方法は「V2H システムを再起動する場合」(113 ページ) を参照してください。

本システムは、V2H システムが自動復帰するまで、V2H システムを切り離して運転します。

- V2H システムの点検コード発生中はホーム画面^{*1}の表示が異なります。必ず「お知らせ」を確認してください。

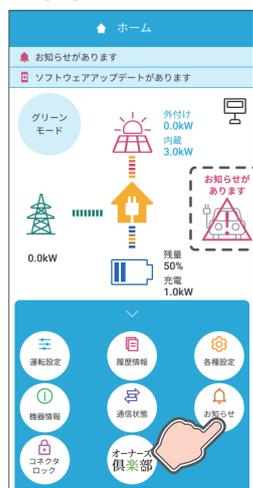
点検コード	メッセージ	処置
BI701 BI846 BI952	V2Hシステムが車両からの停止指示により、自動停止しました。電気機器および車両の状態をご確認ください。自動停止を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	電気機器および車両の状態をご確認ください。自動停止を繰り返す場合は、EVパワー・ステーション®[VSG3-666CN7]をお買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI886 BI887	V2Hシステムの温度が上昇しているため、出力を抑制しています。V2Hシステムの周囲に放熱を妨げるものがある場合は、取り除いてください。表示を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	V2Hシステムの温度が上昇している場合に表示されます。V2Hシステムの周囲に放熱を妨げるものがある場合は、取り除いてください。表示を繰り返す場合は、EVパワー・ステーション®[VSG3-666CN7]をお買い上げの販売会社にご連絡ください。
BI951	V2Hシステムと車両の通信が確立されませんでした。充放電コネクタの差し込み状態をご確認ください。自動停止を繰り返す場合は、V2Hシステム取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	V2Hシステム充放電コネクタの差し込み状態を確認してください。自動停止を繰り返す場合は、EVパワー・ステーション®[VSG3-666CN7]をお買い上げの販売会社にご連絡ください。

V2Hシステムに関する動作や障害が発生したときに表示します。内容を確認してください。

※ 1: V2Hシステムを切り離して本システムを運転しているとき
ホーム画面の車両アイコンに「お知らせがあります」の表示があるときは、必ず「お知らせ」をタッチし点検コードのメッセージを確認してください。V2Hシステムの点検コードが解除されると通常のホーム画面に戻ります。

■ ホーム画面例

● 専用アプリ



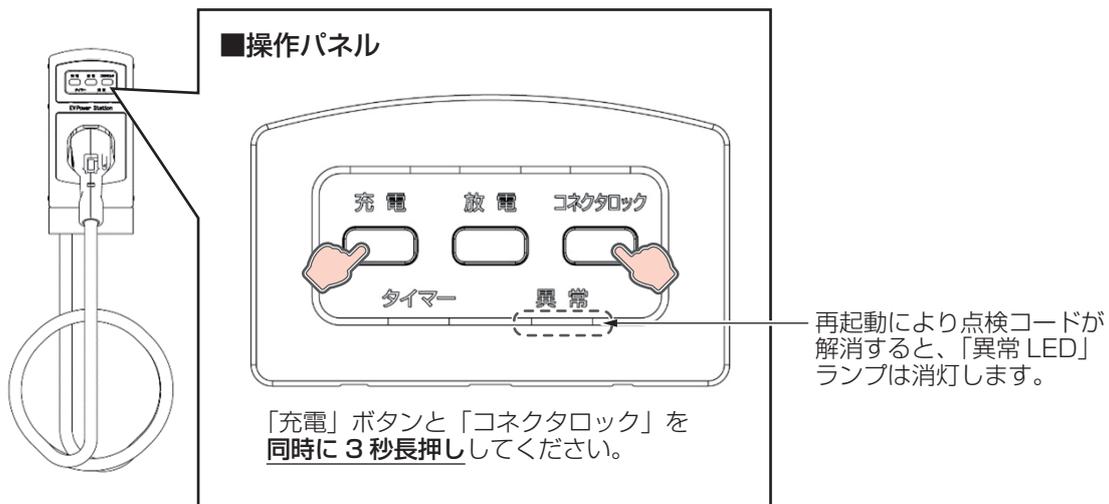
● 室内リモコン



V2H システムを再起動する場合

V2H システムのプラグホルダ側操作パネルで「充電」ボタンと「コネクタロック」ボタンを同時に 3 秒長押ししてください。V2H システムを再起動します。

■ プラグホルダ

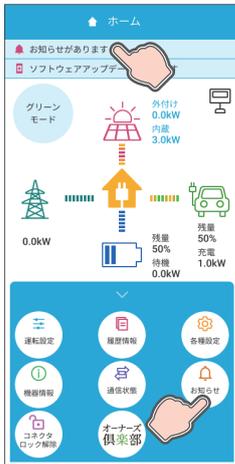


点検コードを表示する

お客様に対し蓄電システムの動作や障害に関するお知らせが発生したとき、点検コードがお知らせリストに記録されます。お知らせリストは、専用アプリまたは室内リモコンで確認することができます。

専用アプリで点検コードを表示する場合

1 「お知らせ情報」またはドローメニューの「お知らせ」をタッチする

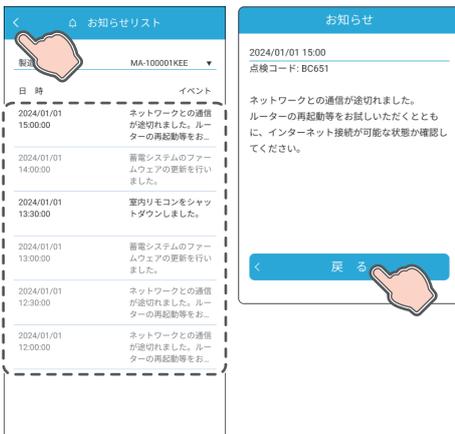


「お知らせリスト」画面に切り替わります。

メモ

- 「xxx」には3桁の数字が入ります。
- 点検コード「BExxx」、「BFxxx」、「Blxxx」が発生した場合は、発生時にスマートフォンにプッシュ通知が送信されます。(106 ページ)

2 お知らせリストから記録された内容を確認する



お知らせリストの「日付」または「イベント」をタッチすると「お知らせ」画面に切り替わります。選択したメッセージと内容を確認し、「戻る」をタッチすると前画面に戻ります。ナビゲーションバーの「<」(戻るボタン)をタッチすると、「ホーム」画面に戻ります。

メモ

- メッセージを表示すると既読となります。未読のお知らせは黒で、既読のお知らせはグレーで表示します。
- お知らせリストは最大100件のお知らせを表示できます。

室内リモコンで点検コードを表示する場合

1 ホーム「お知らせ」ボタンをタッチする

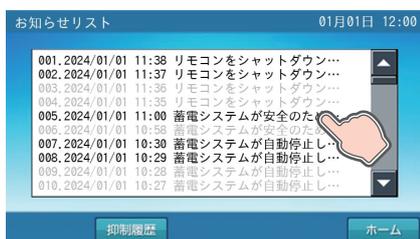


「お知らせリスト」画面に切り替わります。

メモ

- 点検コード「xxx」には3桁の数字が入ります。
- 点検コード「BExxx」、「BFxxx」、「Blxxx」が発生した場合は、画面に点検コードが表示されます。(105ページ)

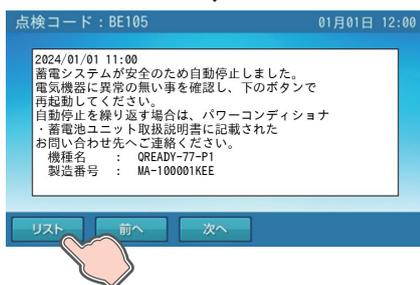
2 お知らせリストから記録された内容を確認する



お知らせリストの各行をタッチすると、点検コード画面に切り替わります。選択したメッセージと内容を確認し、「リスト」をタッチすると前画面に戻ります。

メモ

- メッセージを表示すると既読となります。未読のお知らせは黒で、既読のお知らせはグレーで表示します。
- お知らせリストは最大100件のお知らせを表示できます。お知らせリストが10件を超える場合は、画面右側にスクロールバーを表示します。
- お知らせリストには、発生日時およびメッセージ内容の一部が表示されます。
- 「前へ」をタッチすると、表示しているお知らせより古いお知らせに切り替わります。
- 「次へ」をタッチすると、表示しているお知らせより新しいお知らせに切り替わります。
- 室内リモコンの時刻未設定時は「--/--/--」と表示します。



3 「ホーム」画面に戻る



「ホーム」をタッチすると、「ホーム」画面に戻ります。

お知らせメッセージと内容など

点検コード	メッセージ	内容
BC096	運転停止中 運転が停止されました。	蓄電システムが運転停止した場合に記録されます。運転停止状態で放置されると過放電の状態となり、電池交換（有償）となることがあります。蓄電システムを運転停止した際は、速やかに蓄電システムを起動させ、運転状態にしてください。（101 ページ）
BC554 BC624 BC625 BC626 BC627 BC654	蓄電システムのファームウェアの更新を行いました。	蓄電システムのソフトウェアが更新された場合に記録されます。
BC488 BC525 BC548 BC564 BC664	ソフトウェアの更新に失敗しました。	蓄電システムのソフトウェアの更新に失敗した場合に記録されます。ソフトウェアの更新を再度行ってください。（123 ページ）
BC550	パワーコンディショナと室内リモコンの間で一時的な通信障害が発生しました。 繰り返し表示される場合は、パワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	パワーコンディショナと室内リモコンの間で一時的な通信障害が発生した場合に記録されます。通信障害が繰り返し発生する場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BC556	室内リモコンをシャットダウンしました。	室内リモコンの電源スイッチを「OFF」にした場合に記録されます。
BC651	ネットワークとの通信が途切れました。 ルーターの再起動等をお試しいただくとともに、インターネット接続が可能な状態か確認してください。	ルーターとの通信ができなくなった場合に表示します。（117 ページ）
BC662	（ネットワーク接続が可能な状態か確認してください。）	見守りサーバーとの通信ができなくなった場合に表示します。（118 ページ）
BC665	電力会社サーバ通信に障害が発生しております。ネットワーク配線、ルータ設定等をご確認ください。この点検メッセージが表示された場合はパワーコンディショナ・蓄電池ユニット取扱説明書をご確認ください。	電力会社サーバーへの通信に障害がある場合に記録されます。専用アプリまたは室内リモコンから蓄電システムの「通信状態」画面を確認し、インターネット接続が可能な状態か確認してください。（87、88 ページ）
BC666		電力サーバーの通信が復旧した場合に記録されます。メッセージ表示はありません。
BC668	（メッセージはありません）	ルーターの通信が復旧した場合に記録されます。メッセージ表示はありません。
BC669		見守りサーバーの通信が復旧した場合に記録されます。メッセージ表示はありません。
BC667	日時設定をお願いします 停電のため日時の設定がクリアされました。 非表示を押してメッセージを閉じ、日時の再設定をしてください。	日時設定がクリアされました。メッセージに従い現在時刻の設定を行ってください。（65、69 ページ）
BC675	蓄電システムの性能維持のため定期的な自動メンテナンスを実行しています。 実行中は、通常とは異なる運転を行いますが、終了するまでそのままお待ちください。 メンテナンス中は各種設定の変更ができません。 車両、蓄電池に充電したい場合は「車両充電モード」または「蓄電池充電モード」に設定してください。 その場合メンテナンスは中止され、翌日の午前 1:00 に再度実施されます。	メンテナンスモード開始時に記録されます。完了するまでそのままお待ちください。 ● メンテナンスモードについては 121 ページを参照してください。
BC677	自動メンテナンスが終了しました。 最後に設定した自動運転モードに戻ります。	メンテナンスモード正常完了時に記録されます。メンテナンスモード開始前の自動運転モードに戻ります。

点検コード「BC651」について

室内リモコンをご利用の場合に、パワーコンディショナがルーターと通信できない状況が24時間経過すると発生します。「お知らせ」をタッチしてメッセージを確認してください。

本点検コードが発生すると、ニチコンのネットワークサービスやソフトウェア更新のサービスが利用できません。また、専用アプリも利用できません。

パワーコンディショナにルーターを接続していない場合

本点検コードは、ルーター設置有無を判別して発報するため、ルーター未接続でのご利用環境下でも一度発報いたしますが故障ではありません。そのままご利用ください。

パワーコンディショナにルーターを接続している場合

本点検コードが発生しているとき、「ホーム」画面のネットワーク状態アイコンに「通信なし」のアイコンが表示されます。パワーコンディショナがルーターと通信できない状態であるため、以下の内容を確認してください。

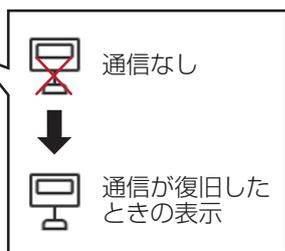
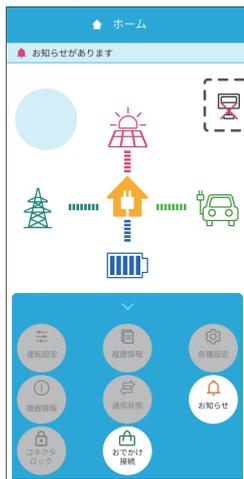
- ルーターの電源がOFFの場合はONにしてください。
- ルーターに接続されているLANケーブルを確認してください。コネクタ抜けがある場合は、ルーターに接続し直してください。破損している場合は、LANケーブルの交換が必要となりますので、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
- ルーターの状態を確認し、再起動してください。詳細はルーターの取扱説明書を参照してください。
- 上記要因でない場合、蓄電システムの故障の可能性があります。お買い上げの販売会社にご連絡ください。

本点検コードが発生しても、蓄電システムは点検コード「BC651」表示前の状態で運転を継続します。

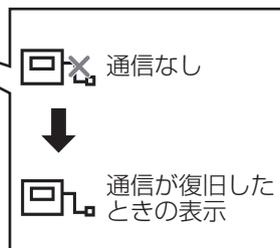
通信が復旧すると、「ホーム」画面のネットワーク状態アイコンに「通信あり」のアイコンが表示されます。また、お知らせリストに復旧が完了したことを示す点検コード「BC668」が記録されます。(116ページ)

■ 点検コード「BC651」発生時と復旧時の画面例

● 専用アプリ



● 室内リモコン



点検コード「BC662」について

蓄電システムがインターネット経由で見守りサーバーに接続できない状況になると発生します。「お知らせ」をタッチしてメッセージを確認してください。

本点検コードが発生すると、ニチコンのネットワークサービスやソフトウェア更新のサービスが利用できません。

- 蓄電システムが見守りサーバーに接続できない状況で専用アプリを起動すると、見守りサーバーとの通信が途切れていることをお知らせする「点検コード：BC662」の画面が表示されます。「OK」をタッチしてください。
- 蓄電システムがインターネット経由で見守りサーバーに接続できない状況が24時間経過したときに発生します。専用アプリもしくは室内リモコンの「お知らせ」をタッチしてメッセージを確認してください。

蓄電システムをインターネットに接続していない場合

インターネット未接続でご利用されているため、本点検コードが一度発生します。お知らせリストで内容を確認してください。本点検コードはインターネット未接続により発生するもので故障ではありません。そのままご利用ください。

蓄電システムをインターネットに接続している場合

本点検コードが発生していると、「通信状態」画面の「見守りサーバ接続」の接続状態に「NG」が表示されます。(87、88ページ)

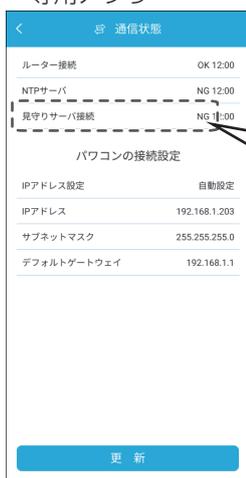
蓄電システムが見守りサーバーに接続できない状態であるため、以下の内容を確認してください。

- インターネットの接続状況やルーターの環境設定、周辺機器の状態を確認してください。
- ネットワーク障害が発生している場合は、障害が回復するまでお待ちください。
- ルーターの状況を確認し、再起動してください。
- 上記要因でない場合、故障の可能性があります。お買い上げの販売会社にご連絡ください。

通信が復旧すると、「通信状態」画面の「見守りサーバ接続」の接続状態に「OK」が表示されます。また、お知らせリストに復旧が完了したことを示す点検コード「BC669」が記録されます。(116ページ)

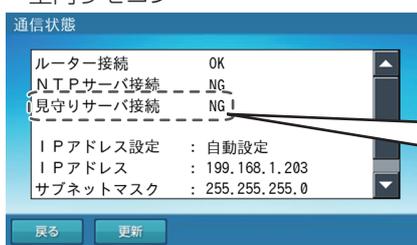
■ 点検コード「BC662」発生時と復旧時の画面例

● 専用アプリ



見守りサーバ接続
NG 接続ができていないときの表示
↓
OK 接続が復旧したときの表示

● 室内リモコン

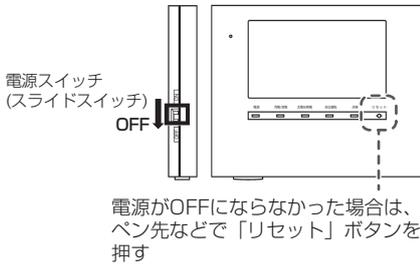


見守りサーバ接続
NG 接続ができていないときの表示
↓
OK 接続が復旧したときの表示

室内リモコンが動かなくなったとき

室内リモコンのマイコンをリセットすることができます。
室内リモコンが動かなくなったときにのみ、以下の手順に従って操作してください。

1 電源スイッチを「OFF」にする

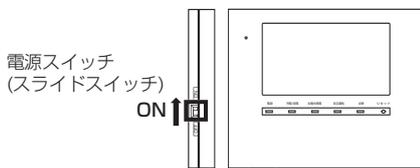


室内リモコンの電源スイッチを「OFF」すると、数秒で室内リモコンがOFF状態になります。

メモ

- 室内リモコンの電源がOFFにならなかった場合は、電源スイッチをOFFにした状態のままでペン先などで「リセット」ボタンを押してください。(26ページ)
- 数秒で室内リモコンがOFF状態になった場合は、「リセット」ボタンは押さないでください。

2 リセット後、電源スイッチを「ON」にする



メモ

- 室内リモコンの電源スイッチが「ON」の状態でも「リセット」ボタンを押しても、室内リモコンのリセットは行いません。

充放電コネクタが取り外せなくなったとき

- 再度、コネクタロック解除操作をしてください。
- 一度充電または放電を実施してください。実施後、再度コネクタロック解除操作をしてください。

冬季の凍結について

冬季には凍結により、充放電コネクタが抜けなくなることがあります。その時は無理に抜こうとせずに充電/放電を停止してからドライヤーの温風を当てて解凍してください。ぬるま湯をかけて解凍することもできますが、充放電コネクタ内部に水分が入り込むと、内部で再凍結することがあります。充放電コネクタの電極部には、ぬるま湯がかからないようにしてください。

緊急離脱について

緊急のときは付属の充放電コネクタ緊急離脱工具を使用すると、充放電コネクタを取り外せます。

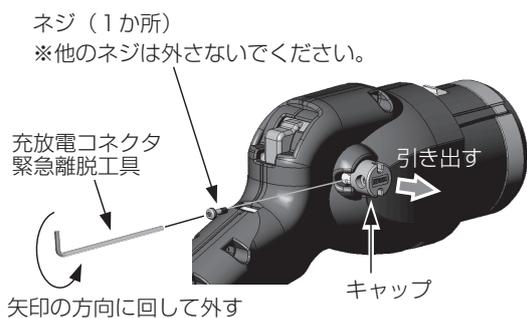
- 緊急離脱をすると充放電コネクタは利用できなくなります。必ずお買い上げの販売会社にご連絡ください。
- 保証期間中であっても、不具合以外の要因で緊急離脱をしたときのサービス対応費用はお客様負担となります。点検コード「BI949」が出ている場合は、緊急離脱工具を使用せず、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
- 本書の「安全上のご注意」(2ページ)を作業前に必ずお読みください。
- 本書の記載内容を熟読して、手順に従って作業してください。
 - 充放電コネクタ緊急離脱工具の入った袋に取扱説明書が同封されています。
 - 【開封前に必ずお読みください】として下記を明示しております。開封された場合は下記内容に同意されたものとみなします。
 - 緊急離脱をした充放電コネクタは使用できなくなります。
 - 緊急離脱をしたときは、弊社による点検と内部スイッチ機能の回復が必要になります。

緊急離脱の手順

作業前に以下を確認してください。

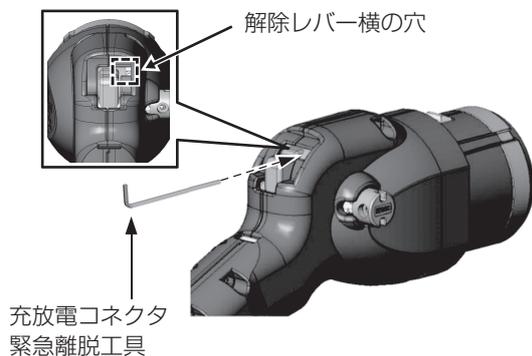
- 充放電が停止していること。
- 操作パネルのLEDランプがすべて消灯していること。
- 12V電源ケーブルが接続されていないこと。

1 充放電コネクタ緊急離脱工具を使用してキャップのネジを外して、キャップを引き出す



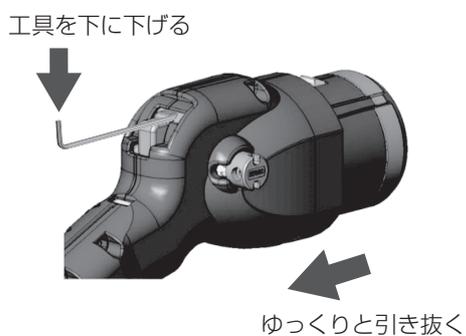
この操作（キャップを引き出す）をすると、充放電コネクタは使用できなくなります。弊社による機能の回復（有償）が必要になります。

2 キャップを引き出した後、解除レバー横の穴に充放電コネクタ緊急離脱工具を差し込む



穴の下面に沿わずよう差し込んでください。
奥まで差し込まないと取り出せないことがあります。

3 充放電コネクタ緊急離脱工具を下げながら、充放電コネクタをゆっくりと充電口から引き抜く



取り外し完了後は、必ずお買い上げの販売会社にご連絡ください。

蓄電池のメンテナンスモードについて

メンテナンスモードとは、蓄電池を自動的に点検するモードです。

自動運転モードの充放電時間帯 (45 ページ) の設定に関係なく、メンテナンスモード実施日の午前 1 時から開始します。メンテナンスモードは、[待機 (A)]^{*1} → [充電]^{*2} → [放電]^{*3} → [待機 (B)]^{*4} で構成されますが、開始時の蓄電池状態に応じて上記 4 動作の一部を省略、または途中で完了することがあります。メンテナンスモード完了後は、メンテナンスモード開始前の自動運転モードに戻ります。

※ 1: 待機 (A) 時間中は充放電することができません。

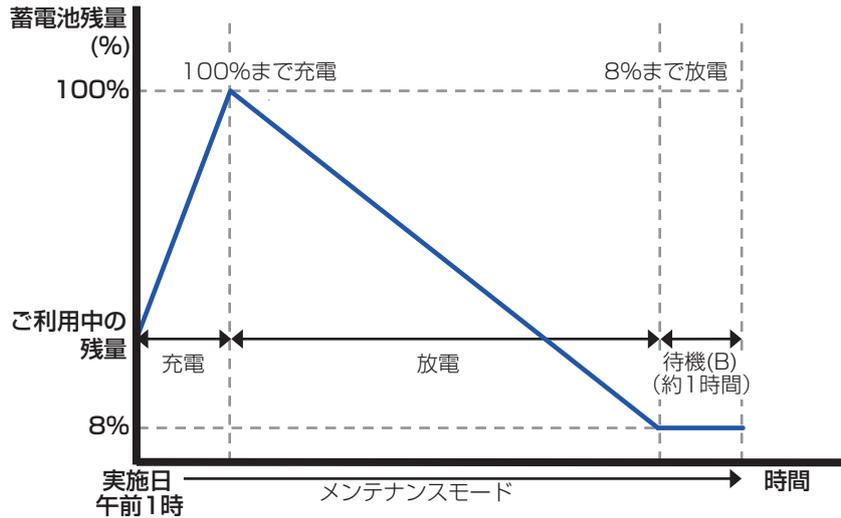
メンテナンスモード開始時の蓄電池残量が 100% の場合のみ、[待機 (A)] を最大 11 時間程度継続することがあります。

※ 2: [充電] 動作は、蓄電池充電上限値 (50 ページ) の設定に関係なく、蓄電池残量 100% まで充電を行います。

※ 3: [放電] 動作は、蓄電池放電下限値 (50 ページ) の設定に関係なく、蓄電池残量 8% まで放電を行います。

※ 4: [待機 (B)] 動作は、約 1 時間の待機を行います。待機 (B) 時間中は充放電することができません。

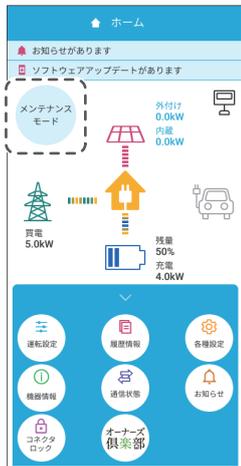
■ メンテナンスモード動作時イメージ (標準例)



● お客様の状況によっては上記イメージと異なる動作で正常終了することがあります。

■ メンテナンスモード運転中のホーム画面例

● 専用アプリ



● 室内リモコン

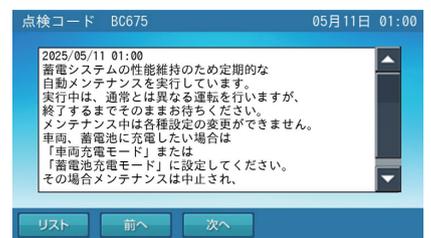


■ お知らせメッセージ画面例

● 専用アプリ



● 室内リモコン



メモ

- 蓄電池性能維持のため、メンテナンスモード実施中は、手動運転モードにしないでください。メンテナンスモード実施中に手動運転モードに変更すると、メンテナンスモードを中止します。
- メンテナンスモード実施中は、各種設定は変更しないでください。変更を確定した場合でも、変更内容は本システムには反映されません。メンテナンスモード完了後に変更してください。なお、メンテナンスモード実施中は、ホーム画面に「メンテナンスモード」もしくは「メンテナンスモード運転中」と表示されます。
- メンテナンスモード実施中も普段と同じように、家電製品をお使いいただけます。
- V2H システムを併設している場合、車両は充放電することができません。太陽光発電がある場合、太陽光発電電力は家庭内負荷に供給し、余剰分を売電します。
- メンテナンスモード実施中は、放電下限値の設定に関わらず、指定の蓄電池残量まで放電を行います。メンテナンスモード実施中に停電が発生した場合はメンテナンスモードを中断するため、蓄電池残量が設定した下限値を下回っている可能性があります。停電中に蓄電池残量がゼロになると、太陽光発電電力が得られない場合、本製品を利用することはできません。
- メンテナンスモード完了直後の蓄電池残量は 8% になることがあります。蓄電池ユニットへ直ちに充電したい場合は、運転モードを「蓄電池充電」に設定することで蓄電池ユニットに早く電気を貯めることができます。なお、メンテナンスモード完了直後の蓄電池残量は、メンテナンスモードの動作状況に応じて異なる場合があります。
- メンテナンスモード完了のためには、家庭内で最低 200 W (推奨) 以上の電力消費が必要です。ご家庭内の消費電力が少ない場合は、メンテナンスモードが終了しないことがあります。
- メンテナンスモード実施中に「お知らせ」をタッチすると、「お知らせリスト」にメンテナンスモードのメッセージが表示されます。メンテナンスモードが完了すると、「お知らせリスト」に点検コード「BC677」を記録します。

メンテナンスモードと実施期限

- 蓄電システムの性能維持のために、年 1 回 (5 月) 自動でメンテナンスモードを実施します。
- メンテナンスモードは、実施期間 (5 月 11 日～ 20 日) 内で、実施日を設定することができます (「機器情報について」(62、64 ページ) 参照)。「実施希望日」を設定しない場合は、パワーコンディショナ製造番号の数字部分下 1 桁目の数字と同じ日付で実行します。
- メンテナンスモードが何らかの要因によって中止された場合やメンテナンスモード開始時に蓄電システムが運転を停止している場合は、翌日の午前 1 時に再度実施します。実施期限内にはメンテナンスモードが完了するまで再実施を繰り返します。
- メンテナンスモードの実施期限は、メンテナンスモード実施日から 30 日間です。実施期限内にメンテナンスモードが完了しなかった場合は、メンテナンスモードを中止し、同年の 9 月にリトライされます。
- リトライする 9 月の実施日は、9 月 21 日～ 30 日内です。5 月と同様に実施日を設定することができます。「実施希望日」を設定しない場合は、パワーコンディショナ製造番号の数字部分下 1 桁目の数字と同じ日付で実行します。
- メンテナンスモードを実施する年の 5 月 9 日もしくは 10 日 (9 月の場合は 9 月 19 日もしくは 20 日) に、メンテナンスモード実施日をお知らせします。実施日を変更したい場合は、メンテナンスモードの「実施希望日」(65、68 ページ) を変更してください。自動設定される実施日例は以下のとおりです。

パワーコンディショナ製造番号*1 例	自動設定される実施日例	
	5月の場合	リトライで9月に実施する場合
MC-112487KED	5月17日に実行	9月27日に実行
MC-113000KED	5月20日に実行	9月30日に実行

*1：パワーコンディショナの製造番号は、「機器情報について」(61 ページ) を参照してください。

メモ

- 蓄電システム設置初年はメンテナンスモードの実施はありません。

メンテナンスモード停止条件

以下の条件となった場合、メンテナンスモードは停止します。

- 蓄電システムを手動運転モードで運転している場合
- 蓄電システムの運転モードを手動運転モードに変更した場合
- 点検コードが発報した場合 (BExxx または BFxxx)
- 停電が発生した場合
- 蓄電システムを手動で運転停止した場合
- 蓄電池温度が指定条件温度 (55℃以上または 10℃未満) を満たした場合
- メンテナンスモードの [放電] 動作開始から 72 時間で完了しない場合

メンテナンスモードが完了しない場合、蓄電池残量の表示が正しく表示されない場合があります。

点検コード「BE417」について

蓄電池ユニットの蓄電池容量が 50% を下回ると、点検コード「BE417」を表示して蓄電システムを停止します。

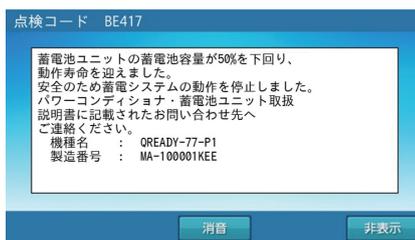
点検コード「BE417」が表示された場合は、蓄電池交換などの処置が必要です。お買い上げの販売会社へご連絡ください。(105 ページ参照)

■ お知らせメッセージ画面例

- 専用アプリ



- 室内リモコン



ソフトウェアの更新と更新方法

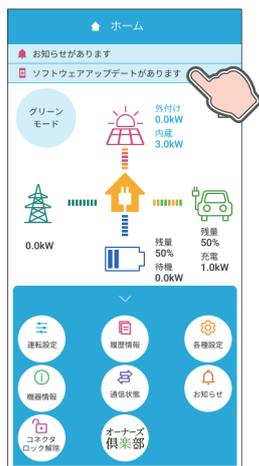
ソフトウェアの更新が必要な場合は、専用アプリのホーム画面にインフォメーションバーを表示します。下記に従って必ず更新してください。

- 本機能は本製品をインターネットに接続している場合のみ有効です。
- 本製品をインターネットに接続していないお客様が、新機能追加等でソフトウェアの更新が必要な場合は、有償での訪問対応作業が必要となります。

メモ

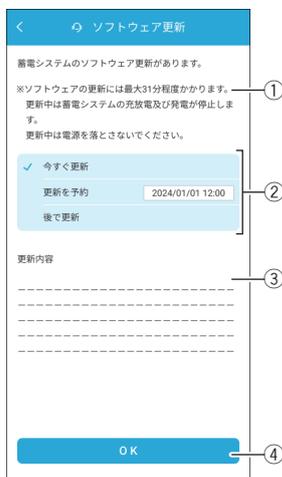
- ソフトウェア更新中は、本システムの充放電および太陽光発電を停止します。
- 更新内容によっては、自動的に更新を開始する場合があります。
- 本機能は、専用アプリでのみ操作可能です。

1 インフォメーションバーをタッチする



ソフトウェアの更新が必要な場合は、インフォメーションバーに表示されます。タッチして必ず更新してください。

2 ソフトウェアの更新タイミングを設定する



① 所要時間予測

ソフトウェア更新にかかる目安時間を表示します。

② 更新タイミング

今すぐ更新

今すぐ更新する場合に選択します。

更新を予約

更新を予約して実施する場合に選択します。

選択後、予約日時を設定します。

- 表示されているパワーコンディショナの現在時刻から1週間後まで予約可能です。

後で更新

後で更新する場合に選択します。

- 12時間後に再通知されます。続けて「後で更新」を選択すると更新できなくなりますので再通知された際は「今すぐ更新」もしくは「更新を予約」を選択してください。

③ 更新内容

更新するソフトウェア更新の内容を表示します。

④ OK

更新タイミングを確定します。

「今すぐ更新」を選択された場合はソフトウェアの更新を開始します。

メモ

- ナビゲーションバーの「<」(戻るボタン)をタッチすると「ホーム」画面に戻ります。

更新を実施した場合

ソフトウェアの更新中は、更新終了のメッセージが表示されるまでパワーコンディショナの電源を落とさないでください。ソフトウェアの更新完了後、システムを再起動し、「ホーム」画面に戻ります。

メモ

- システムを再起動しても、運転モードや充放電時刻などの設定項目は再起動前の状態を維持しますので、再設定の必要はありません。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証については、保証書の内容をよくお読みになり大切に保管してください。必ず販売会社名、お引渡日等の記入をお確かめください。記載がない場合には無効となることがあります。
- パワーコンディショナ、蓄電池ユニット、室内リモコンの保証に関して詳しくは、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。
- V2Hシステムの保証書については、EVパワー・ステーション[®][VSG3-666CN7]の保証書をご確認ください。

アフターサービスについて

ご不明点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。
また、機器や設置した建物の所有者の変更による機器の取り扱いについては、事前に販売会社にお問い合わせください。

修理を依頼される時

- 修理を依頼される場合は、次のことをご確認ください。
- お買い上げ時期
 - 装置の型番と製造番号（装置側面の定格ラベルに表示）
 - 故障の状況（点検コード、故障発生時の時間と天候など）

補修用性能部品の最低保有期間 / 修理対応期間

- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 装置の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後、保証書記載の保証期間相当年数となります。
- 修理対応期間は、保証期間と同一期間とさせていただきますが、保証期間を過ぎていても修理可能な製品については、有料にて修理いたします。

移設などで機器を一時保管される場合は屋内（湿気の少ないところ）に保管してください

お客様ご自身では移設を行わないでください。

故障した場合の連絡先	電話番号： 0120-801-170 受付時間： 09:00～17:00 • 12:00～13:00を除く • 土・日・祝日および年末年始を除く
製品の使用方法などに関するお問い合わせ先	お客様ご相談センター 電話番号： 0120-322-001 受付時間： 09:00～17:00 • 12:00～13:00を除く • 土・日・祝日および年末年始を除く

補助金に関するご注意

購入時に補助金を申請する場合

- 補助金の支給を受けるには、各機器の製造番号が記載された保証書が必要です。補助金に関して詳しくは、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。
- 補助金の支給を受けて本製品を購入した場合は、設置時から法定耐用年数^{*1}の一定期間は、本製品を適正にご使用していただく必要があります。設置時から期間内に修理が必要になった場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

※ 1: 蓄電池ユニット併設の場合の法定耐用年数は、6年です。

遠隔出力制御ルールに関するご注意

本製品は、2015年1月22日公布の再生可能エネルギー特別措置法施行規制の一部を改正する省令と関連告示に対応する機器です

再生可能エネルギーを最大限導入するために、電力会社の求めがあった場合は、遠隔出力制御を行う機器の設置が義務づけられました。省令改正に関して詳しくは、経済産業省のホームページをご参照ください。(https://www.meti.go.jp)
なお、遠隔出力制御は地域により対応が異なります。また、遠隔出力制御は電力会社の要請により実施されますので、詳しくは、各電力会社にお問い合わせください。

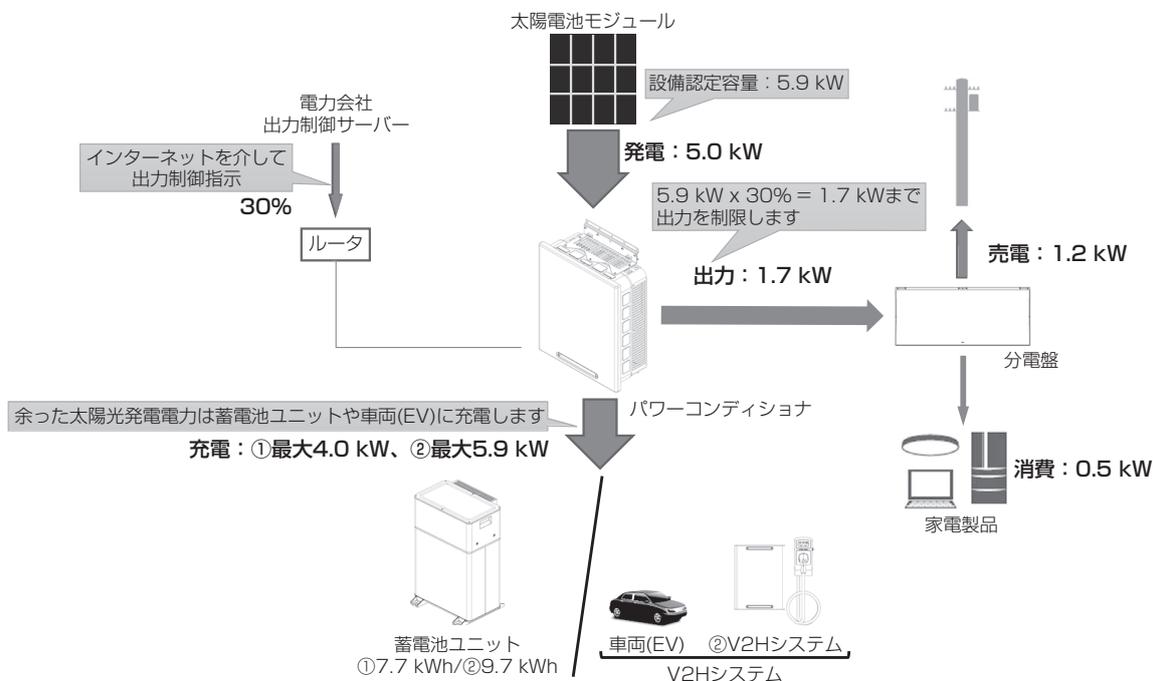
本製品は、電力会社の遠隔出力制御を有効にするために、インターネットへの接続が必要です

インターネットへの接続はお客様のネットワーク環境を利用します。インターネット回線契約・利用に伴う費用はお客様のご負担となります。なお、インターネットへ接続されない場合は、有償での訪問対応作業が必要となりますのでご注意ください。発電停止による損失は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

また、今後正式発表される遠隔出力制御の仕様によっては、機器のソフトウェア更新の他に、有償での対応作業が必要となる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

■ 例：出力制御が30%の場合

本製品の設備認定容量の30%まで、パワーコンディショナの出力が制限されます。本製品の設備認定容量については「太陽光発電設定を確認する」(70ページ)を参照してください。



重要 太陽光発電の電圧上昇抑制や遠隔出力制御について

システムの様々な状況による電圧上昇抑制や、電力会社による出力制御要請により、太陽光発電の余剰電力の一部を売電できない場合があります。売電できない余剰電力は、お客様が設定した充放電時間内であれば蓄電池へ充電を行います。満充電の場合は充電しません。

パワーコンディショナ

 R005-101763

型番	QREADY-R59-1	QREADY-R59-2
外形寸法	W444 × H530 × D192 mm(取付金具、突起部含まず)	
本体質量	20 kg(取付金具含まず)	
系統連系出力	電気方式	単相 2 線式 (接続は単相 3 線式)
	定格出力 ^{*1}	5.9 kW
	定格出力 ^{*1} (蓄電池ユニットのみの場合)	4.0 kW (QREADY-B77-1 接続時) 5.9 kW (QREADY-B97-1 接続時)
	定格出力電圧	AC 202 V ± 12 V
	定格周波数	50 Hz または 60 Hz
	定格力率	0.95 (標準値)
	電流歪率	総合電流歪率 : 5 % 以下 (定格出力時) 各次電流歪率 : 3 % 以下 (定格出力時)
自立出力	電気方式	単相 3 線式
	定格出力 ^{*1}	5.9 kVA (片相 : 2.95 kVA)
	定格出力 ^{*1} (蓄電池ユニットのみの場合)	4.0 kVA (QREADY-B77-1 接続時) 5.9 kVA (QREADY-B97-1 接続時)
	定格出力電圧	AC 202 V ± 12 V / AC 101 V ± 6 V
	定格周波数	50 Hz または 60 Hz
インバータ	変換方式	連系運転時 : 自励式電圧型電流制御方式 自立運転時 : 自励式電圧型電圧制御方式
	スイッチング方式	正弦波 PWM 方式
太陽光発電入力	接続方式	マルチストリング方式
	制御方式	最大電力点追従 (MPPT) 方式
	入力回路数	3 回路
	定格電圧	DC 330 V / 1 回路 ^{*2}
	最大入力電圧 (許容最大開放電圧)	DC 450 V / 1 回路 ^{*2}
	最大入力電流 (許容最大短絡電流)	16 A / 1 回路 ^{*2}
	運転可能電圧範囲	DC 25 V ~ 450 V / 1 回路
	太陽光発電起動 / 停止電圧	起動 : 25 V / 停止 : 20 V
定格出力電力	2.2 kW / 1 回路、6.6 kW / 3 回路	
変換効率 (系統連系時)	太陽光	96 % ^{*3}
	蓄電池 (7.7 kWh)	93.5 %
	蓄電池 (9.7 kWh)	94%
定格出力可能時間	系統連系時 (7.7 kWh)	110 分
	自立出力時 (7.7 kWh)	105 分
	系統連系時 (9.7 kWh)	95 分
	自立出力時 (9.7 kWh)	90 分
絶縁方式	非絶縁トランスレス方式	
冷却方式	自然空冷方式 (内部攪拌ファンあり) ^{*4}	
不要輻射	JET 規格 7.1.2 放射妨害波試験適合 JET GR0002-1-16.0(2023) ^{*5}	
運転時騒音	40 dB 以下 ^{*6}	
防水 / 防塵 保護等級	IP 55 相当 (水抜き穴を除く)	
設置環境	設置条件 ^{*7}	屋外、標高 2,000 m 以下、重塩害非対応 (- 30℃ ~ + 45℃)
	動作温度 ^{*8}	- 20℃ ~ + 40℃

※ 1: パワーコンディショナの温度が高いときは、保護機能により蓄電システムの出力を一時的に抑制することがあります。

※ 2: モジュールの温度特性および接続状態 (直並列) も含めて満足するようにしてください。これらを満足しない太陽電池モジュールは本製品に接続できません。

※ 3: JIS C 8961 に基づく効率測定方法による定格負荷効率を示します。

※ 4: 動作中はパワーコンディショナ内蔵ファンの動作音が発生します。壁との距離等、設置環境により音の間こえ方が異なることがあります。

※ 5: 電波障害となる場合がありますので、ラジオ・テレビ等の電波を利用する機器とは 3m 以上離してください。受信している電波の弱い場所では電波障害を受ける可能性があります。

※ 6: JIS C 1509-1 で規定する A 特性サウンドレベルを示します。製品正面中央から 1m、高さ 1m の距離での測定値です。

※ 7: パワーコンディショナを直射日光が当たる場所へ設置する場合は、オプションの日除け板 (ES-E1H1) が必要です。

※ 8: JISC62477-1 で規程する高温高湿試験 (定常) における最高湿度 85% の動作温度を示します。

蓄電池ユニット

型番	QREADY-B77-1	QREADY-B97-1
外形寸法 (突起部含まず)	W458 × H608 × D268 mm	W458 × H700 × D268 mm
本体質量	73 kg	87 kg
蓄電池公称容量	7.7 kWh	9.7 kWh
蓄電池初期実効容量	6.8 kWh (QREADY-R59-1 接続時) (JEM 1511 による)	8.6 kWh (QREADY-R59-1 接続時) (JEM 1511 による)
	6.8 kWh (QREADY-R59-2 接続時) (JIS C 4413 による)	8.6 kWh (QREADY-R59-2 接続時) (JIS C 4413 による)
電池種類	リチウムイオン蓄電池	
電池構成	1 モジュール構成 32 直列 1 並列	1 モジュール構成 48 直列 1 並列
蓄電池定格電圧	DC 102.4 V	DC 153.6 V
蓄電池定格入力動作電圧範囲	DC 96.0 V ~ DC 113.6 V	DC 144.0 V ~ DC 170.4 V
防水 / 防塵 保護等級	IP55 相当	
設置環境	設置条件 ^{*1}	屋外専用、標高 2000 m 以下、重塩害非対応 (- 20℃ ~ + 40℃)
	動作温度 ^{*2, *3}	- 10℃ ~ + 40℃

※ 1: 日光が当たる場所には設置できません。

※ 2: 動作温度範囲の上限もしくは下限付近になると、充放電電力が低下します。また、- 20℃ ~ - 10℃ の範囲は充電電力が大幅に低下します。(1 kW 未満)

※ 3: JISC62477-1 で規程する高温高湿試験 (定常) における最高湿度 85% の動作温度を示します。

自動切替開閉器

型番	ES-B8E	
外形寸法	W76 × H160 × D71 mm	
本体質量	865 g	
設置環境	設置条件	室内 (- 5℃ ~ +40℃、結露無きこと)
	動作温度	- 5℃ ~ +40℃

室内リモコン

型番	QREADY-RM-1 ^{*1}	
外形寸法	W170 × H140 × D23 mm	
本体質量	320 g (取付金具含まず)	
設置環境	設置条件	室内 (0℃ ~ +40℃、結露無きこと)
	動作温度	0℃ ~ +40℃

※ 1: 別売のオプション品です。

		パワーユニット (壁掛、据置)	プラグホルダ (壁掛、ポール)
型番		VSG3-666CN7	
ケーブル		7.5 m	
外形寸法 (横幅: W×高さ: H×奥行: D)		W 470 mm × H 620 mm × D 200 mm (突起部除く)	W 160 mm × H 355 mm × D 160 mm (突起部除く)
重量		壁掛時合計: 29.4 kg 据置時合計: 30.5 kg	壁掛時合計: 8.5 kg ポール時合計: 12.2 kg
		パワーユニット: 26.2 kg 壁掛金具: 3.2 kg 据置金具: 4.3 kg	プラグホルダ: 7.9 kg 壁掛金具: 0.6 kg ポール: 4.3 kg
充電部 (系統連系時)	電気方式	単相 2 線式 (接続は単相 3 線式)	
	定格電圧	AC 202 V ± 12 V	
	定格周波数	50 または 60 Hz	
	出力電力	6 kW 未満 ^{*1}	
放電部 家庭への放電 (給電) (系統連系時)	電気方式	単相 2 線式 (接続は単相 3 線式)	
	定格電圧	AC 202 V/AC 101 V	
	定格周波数	50 または 60 Hz	
	AC 出力電力	6 kW 未満 ^{*2}	
放電部 家庭への放電 (給電) (自立出力時)	電気方式	単相 3 線式	
	定格電圧	AC 202 V/AC 101 V	
	定格周波数	50 または 60 Hz	
	AC 出力電力	6 kVA 未満 (片相 3 kVA 未満) ^{*2}	
待機電力		15 W 以下	
EV 側電圧範囲		DC 150 V ~ DC 450 V	
不要輻射		VCCI Class B 準拠 ^{*3}	
IP 等級		IP55 相当	
設置環境	設置条件	屋外、標高 2000 m 以下 / - 20°C ~ +50°C	
	動作温度	- 20°C ~ +50°C ^{*4}	
周囲湿度		30% ~ 90% (結露なきこと)	
冷却方式		自然空冷	
運転時騒音		40 dBA 以下 ^{*5}	

※ 1: 機器の入力値であり、実際の充電出力を保証している数値ではありません。契約電力や家庭での使用状況および車両の充電率によって異なります。

※ 2: 車両の状況により電力が低下することがあります。

※ 3: 受信障害になることがありますので、ラジオ、テレビ等の電波を利用する機器とはパワーユニットから 3 m 以上離して設置してください。受信している電波の弱い場所では電波障害を受ける可能性があります。

※ 4: 直射日光などの高温時、充放電電力量が抑制されることがあります。

※ 5: JIS C1509-1 で規定する A 特性サウンドレベルを示します。製品正面中央から 1 m、高さ 1 m の距離での測定値です。

接続対応車両

- 今後発売される、すべての車両接続をお約束するものではありません。
- 対応車種の最新情報は、ニチコンのホームページをご確認ください。接続確認ができた車両については、順次公開します。
(対応車種一覧 <https://www.nichicon.co.jp/products/v2h/vsg3/model/>)
- V2H システムをご使用になる前に、接続する車両の取扱説明書をご確認ください。
- 自立運転を行う際に V2H システムを起動するための電源供給は、付属の 12V 電源ケーブルを使用する車両と充放電コネクタから直接供給される車両があります。車両の操作を含め、接続する車両の取扱説明書をご確認ください。

車両についての注意事項

- 放電非対応車は、V2H システムを使用できません。
- ニチコンのホームページに掲載している車種以外の動作は確認できていません。
- 充放電時間帯中は、充放電を行っていない場合でも車両と V2H システム間の通信維持のため、車両の蓄電池が電力を消費します。
- 車両側にも各種設定（充電の上限設定など）や機能（タイマー充電など）がありますが、V2H システムをご使用のときは、V2H システム側の設定機能を使用してください。
- 車両によってはバッテリー性能維持のため、定期的な普通充電の使用が推奨されていることがあります。
- 車両からの指示で V2H システムの充電電力が抑制されたり、充放電が設定値より早く停止することがあります。

蓄電システムの使用温度範囲について

蓄電システムを安全に動作させるため、パワーコンディショナ、蓄電池ユニット、V2H システム内の温度センサがそれぞれ指定の値を検知した場合、蓄電システムの動作に制限がかかります。

	温度範囲	制限内容
パワーコンディショナ	- 20℃～+40℃	温度が使用範囲外になると待機状態もしくは点検コードを発報し停止しますが、範囲内に戻ると自動的に復帰します。
蓄電池ユニット	- 10℃～+40℃	温度が使用範囲外になると待機状態もしくは点検コードを発報し停止しますが、範囲内に戻ると自動的に復帰します。 なお、温度範囲の上限もしくは下限付近になると、蓄電池保護のため、充放電電力が低下します。特に、温度が低い時は、充電電力が低下します。
V2H システム	- 20℃～+50℃	温度範囲の上限付近になると、充放電電力が低下します。

増設設置の可能期間

パワーコンディショナ設置後の蓄電池ユニット、V2H システムの追加設置は、2033 年 12 月まで可能です。（同等品の商品ご提供となる場合があります。）

- 保証期間は、各製品の保証期間となります。
- 蓄電池ユニット増設設置後は、製品の組み合わせによりシステム機種名^{*1}が自動的に切り替わります。

	システム機種名 ^{*1} (変更前)	システム機種名 ^{*1} (変更後)
蓄電池ユニット (7.7 kWh) を増設設置した場合	QREADY-NB-P1	QREADY-77-P1
	QREADY-NB-P2	QREADY-77-P2
蓄電池ユニット (9.7 kWh) を増設設置した場合	QREADY-NB-P1	QREADY-97-P1
	QREADY-NB-P2	QREADY-97-P2

※ 1: システム機種名は、「機器情報について」(61 ページ) を参照してください。

ソフトウェアライセンスについて

Ubiquitous ECHONET Lite ライセンス

本製品は、株式会社ユビキタス AI コーポレーションが権利を保有するソフトウェアプログラム Ubiquitous ECHONET Lite を使用しております。

Ubiquitous ECHONET Lite
Copyright© Ubiquitous Corp. All rights reserved.

GPL/LGPL のライセンス

本製品は、一部に GPL/LGPL の適用オープンソースを使用しており、これらのオープンソースに限っては、GPL/LGPL の定めに従い、入手、改変、再配布の権利がお客様にあることをお知らせします。

オープンソースとしての性格上、著作権による保証はなされておませんが、本製品については保証書記載の条件により、弊社による保証がなされています。

詳しくはニチコンユーザーサポートをご参照ください。

https://www.nichicon.co.jp/products/ess/user_support.html#anc01

販売元：

ハンファジャパン 株式会社

東京都港区芝四丁目 10 番 1 号 ハンファビル 〒 108-0014

<https://www.q-cells.jp>



ハンファジャパンホームページ [取り扱い説明書]

https://www.q-cells.jp/service_support/torisetsu



- 取扱説明書は「QREADY-□□-P1」を検索してください。

製造元：

nichicon

京都市中京区烏丸通御池上る 〒 604-0845

<https://www.nichicon.co.jp>



ニチコンオーナーズ倶楽部

<https://owners.nichicon.co.jp>



ニチコンネットワークサービスについて

https://www.nichicon.co.jp/products/ess/pdf/network_service_manual.pdf



V2H システム接続対応車種について

<https://www.nichicon.co.jp/products/v2h/vsg3/model/>

